

平成24年度
鳥取県産業廃棄物実態調査報告書
(平成23年度実績)

平成25年3月

鳥 取 県

目 次

第1章 調査の概要	1
第1節 調査の目的	1
第2節 調査に関する基本的事項	1
1. 調査対象期間	1
2. 調査対象廃棄物	1
3. 調査対象業種	2
4. 調査対象区域	4
5. 発生及び処理・処分状況	5
第3節 調査の方法	7
1. 調査方法の概要	7
2. 標本調査について	8
第4節 調査結果の利用上の留意事項	11
1. 産業廃棄物の種類の区分について	11
2. 委託中間処理後の残さ量について	11
3. 建設業の地域別発生量について	11
4. 単位と数値に関する処理	11
第5節 標本抽出・回収結果	12
第2章 調査結果	13
第1節 第1次産業を除く調査結果の概要	13
第2節 発生・排出状況（第1次産業を除く）	14
1. 種類別の発生・排出状況	14
2. 業種別の発生・排出状況	15
3. 地域別の発生・排出状況	16
第3節 処理・処分状況（第1次産業を除く）	17
1. 処理・処分状況の概要	17
2. 自己中間処理状況（物質変換を考慮しない）	19
3. 委託処理状況	20
4. 資源化、再生利用状況	21
5. 最終処分状況	24
第4節 第1次産業を含む調査結果の概要	25
1. 種類別の発生・排出状況	25
2. 業種別の発生・排出状況	26
第5節 業種別の発生及び処理・処分状況	27
1. 農業、林業	27
2. 鉱業	29
3. 建設業	31

4.	製造業	33
5.	電気・水道業	36
6.	情報通信業	38
7.	卸売，小売業	40
8.	医療，福祉	42
9.	サービス業	44
10.	その他の業種	46
第3章	産業廃棄物の推移	48
第1節	前回調査との比較（第1次産業を除く）	48
1.	種類別発生・排出状況の比較	48
2.	業種別発生・排出状況の比較	50
3.	地域別発生・排出状況の比較	52
4.	処理・処分状況の比較	54
第2節	排出及び処理・処分状況の将来予測（第1次産業を除く）	55
1.	将来予測の方法	55
2.	排出量の将来予測	57
3.	処理・処分状況の将来予測	59
第4章	その他の調査結果	60
第1節	産業廃棄物の移動状況（第1次産業を除く）	60
1.	産業廃棄物の搬出状況	60
第2節	特別管理産業廃棄物	63
1.	種類別発生・排出状況	63
2.	業種別発生・排出状況	64
3.	処理・処分状況	65

巻末資料

統計表 1 業種別種類別発生量

統計表 2 業種別処理状況

統計表 3 種類別処理状況

統計表 4 特別管理産業廃棄物種類別処理状況

統計表 5 地域別処理状況

多量排出事業者実施状況報告様式・記載例

廃棄物管理票交付状況報告書様式・記載例

第 1 章 調査の概要

第 1 節 調査の目的

本調査は、平成 23 年度の鳥取県内における産業廃棄物の発生、処理状況等の実態を把握するとともに、鳥取県における産業廃棄物適正処理対策等の推進に必要な基礎資料を得ることを目的とした。

第 2 節 調査に関する基本的事項

1. 調査対象期間

平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日までの 1 年間

2. 調査対象廃棄物

調査対象廃棄物は、廃棄物処理法及び同法施行令に規定する産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を含む）とし、表 1-2-1 に示す分類に区分した。なお、これら産業廃棄物のうち、汚泥、廃油、廃プラスチック類、がれき類については、廃棄物の性状に応じて細区分し、感染性産業廃棄物と分類が困難な廃棄物（混合・複合物等）については、「その他産業廃棄物」として捉えた。

また、調査に当たって、有償物・副産物、発生時の廃棄物の種類等については、下記に示す取り扱いをした。

- (1) 法令上は廃棄物とされていないもの、いわゆる有償物（事業場内等で生じたものであって、中間処理されることなく、他者に有償で売却したもの）については、今後の社会情勢等の変化によっては産業廃棄物となる可能性があるため、調査対象とした。
- (2) 汚泥については、事業所内で脱水処理している場合には、脱水処理後の汚泥を発生時の産業廃棄物（汚泥）として捉えた。
- (3) 紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物は、廃棄物処理法で産業廃棄物となる業種（動物系固形不要物は、と畜場及び食鳥処理場に限り）が指定されており、指定された業種以外で生じた上記廃棄物については、事業系一般廃棄物となるため、調査対象から除外した。
- (4) 下水道または公共用水域へ直接放流することを目的として事業場内で、酸性またはアルカリ性を呈する廃水を中和処理（一般の廃水処理）している場合は、中和処理後に生じた沈殿物（汚泥）を発生時の産業廃棄物として捉え、中和処理前の酸性またはアルカリ性廃水は、調査対象から除外した。
- (5) 事業場内で産業廃棄物を焼却処理した後に生じる燃え殻、ばいじんについては、焼却処理前の産業廃棄物の種類（発生時の種類）で捉えた。
- (6) 含油廃水であって、事業所内で油水分離によって分離している場合は、油水分離後生じた浮遊物（廃油）と沈殿物（汚泥）とに分けて、それぞれ廃油と汚泥を調査対象として捉えた。

表 1-2-1 調査対象廃棄物

産業廃棄物の分類 ()内は、細区分。
①燃え殻 ②汚泥（有機性汚泥、無機性汚泥） ③廃油（一般廃油、廃溶剤、固形油、油でい、油付着物） ④廃酸 ⑤廃アルカリ ⑥廃プラスチック類（廃プラスチック、廃タイヤ） [注：本報告書図表では「廃プラ類」と略した] ⑦紙くず ⑧木くず ⑨繊維くず ⑩動植物性残さ ⑪動物系固形不要物 ⑫ゴムくず ⑬金属くず ⑭ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず [注：本報告書図表では「ガラスくず等」と略した] ⑮鉱さい ⑯がれき類（コンクリート片、廃アスファルト、その他の建設廃材） ⑰動物のふん尿 ⑱動物の死体 ⑲ばいじん ⑳産業廃棄物を処分するために処理したもの [注：本報告書では「コンクリート固型化物」と略した] ※上記の種類に分類できない廃棄物等は「その他産業廃棄物」とした。
特別管理産業廃棄物の分類
①廃油（揮発油類、灯油類、軽油類） ②廃酸（pHが2.0以下の廃酸） ③廃アルカリ（pHが12.5以上の廃アルカリ） ④感染性産業廃棄物 ⑤特定有害廃棄物

3. 調査対象業種

調査対象業種は、「日本標準産業分類（総務省）」（平成19年11月改訂）の業種区分を基本とし、表1-2-2に示す業種を調査対象とした。

また、調査対象業種の名称については、本報告書では略称で統一し表記し、発生量の少ない業種についてはまとめて集計した。

なお、統計表については、巻末の統計資料に示すとおりである。

表 1-2-2 調査対象業種

業種名	本文中の標記(略称)
農業, 林業	農業, 林業
漁業	漁業
鉱業, 採石業, 砂利採取業	鉱業
建設業	建設業
製造業	製造業
食料品製造業	食料品
飲料・たばこ・飼料製造業	飲料・飼料
繊維工業	繊維
木材・木製品製造業(家具を除く)	木材
家具・装備品製造業	家具
パルプ・紙・紙加工品製造業	パルプ・紙
印刷・同関連業	印刷
化学工業	化学
石油製品・石炭製品製造業	石油・石炭
プラスチック製品製造業(別掲を除く)	プラスチック
ゴム製品製造業	ゴム
なめし革・同製品・毛皮製造業	皮革
窯業・土石製品製造業	窯業・土石
鉄鋼業	鉄鋼
非鉄金属製造業	非鉄金属
金属製品製造業	金属
はん用機械器具製造業	はん用機器
生産用機械器具製造業	生産用機器
業務用機械器具製造業	業務用機器
電子部品・デバイス・電子回路製造業	電子部品
電気機械器具製造業	電気機器
情報通信機械器具製造業	情報機器
輸送用機械器具製造業	輸送機器
その他の製造業	その他
電気・ガス・熱供給・水道業	電気・水道業
電気業(火力発電所)	電気業
ガス業(ガス製造所)	ガス業
熱供給業	熱供給業
上水道業(浄水場)	上水道業
下水道業(下水処理業)	下水道業
情報通信業	情報通信業
卸売業, 小売業	卸売, 小売業
医療, 福祉	医療, 福祉
サービス業	サービス業
運輸業, 郵便業	運輸業
金融, 保険業	金融, 保険業
不動産業, 物品賃貸業	不動産業
学術研究, 専門・技術サービス業	専門サービス
宿泊業, 飲食サービス業	宿泊, 飲食業
生活関連サービス業, 娯楽業	生活サービス
教育, 学習支援業	教育, 学習業
複合サービス事業	複合サービス
公務	公務

「その他の業種」
として、まとめて集計

4. 調査対象区域

調査対象区域は、鳥取県全域とした。なお、本調査では産業廃棄物の発生等の地域特性を把握するため、県内を表 1-2-3 に示す 3 地域に区分した。

表 1-2-3 調査対象地域区分表（平成 23 年 4 月現在）

地域名	市・郡	市町村名
東部地域	鳥取市	鳥取市
	岩美郡	岩美町
	八頭郡	若桜町、智頭町、八頭町
中部地域	倉吉市	倉吉市
	東伯郡	三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町
西部地域	米子市	米子市
	境港市	境港市
	西伯郡	日吉津村、大山町、南部町、伯耆町
	日野郡	日南町、日野町、江府町

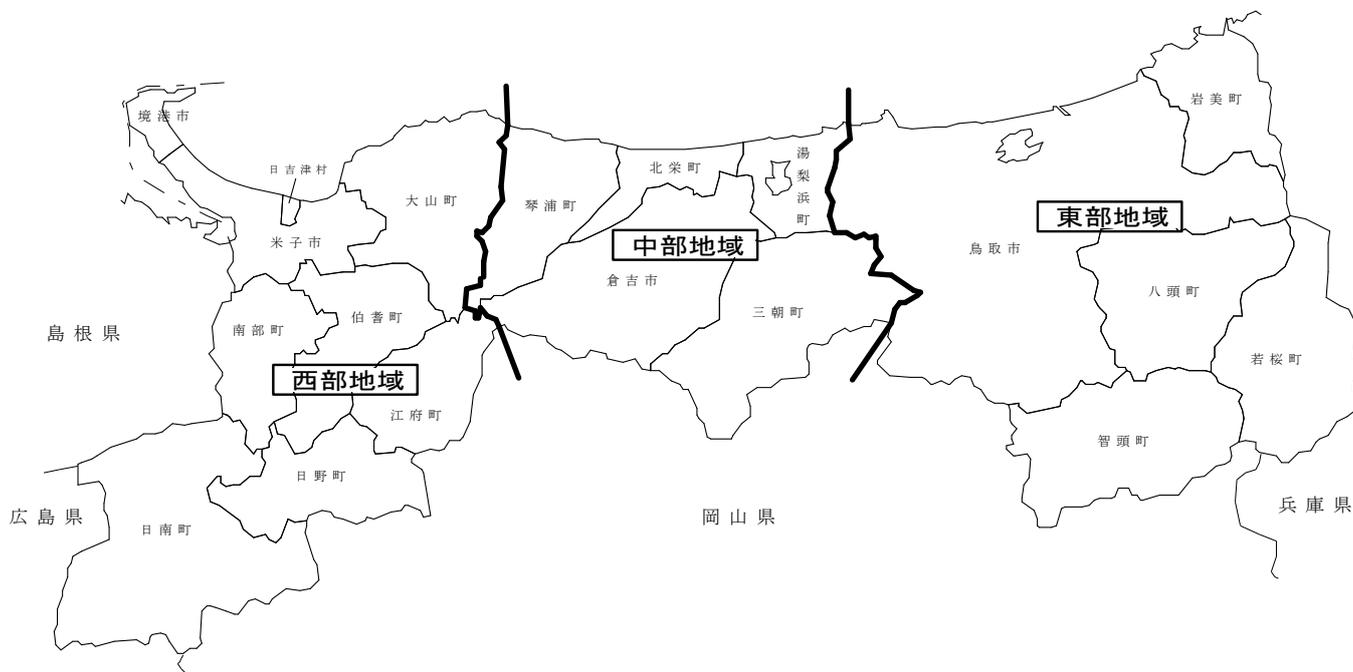


図 1-2-1 調査対象地域区分

5. 発生及び処理・処分状況

調査の集計・推計結果は、図 1-2-2 に示す発生及び処理・処分状況の流れ図にとりまとめた。

なお、この流れ図に用いた各項目の定義については、表 1-2-4 に示すとおりである。

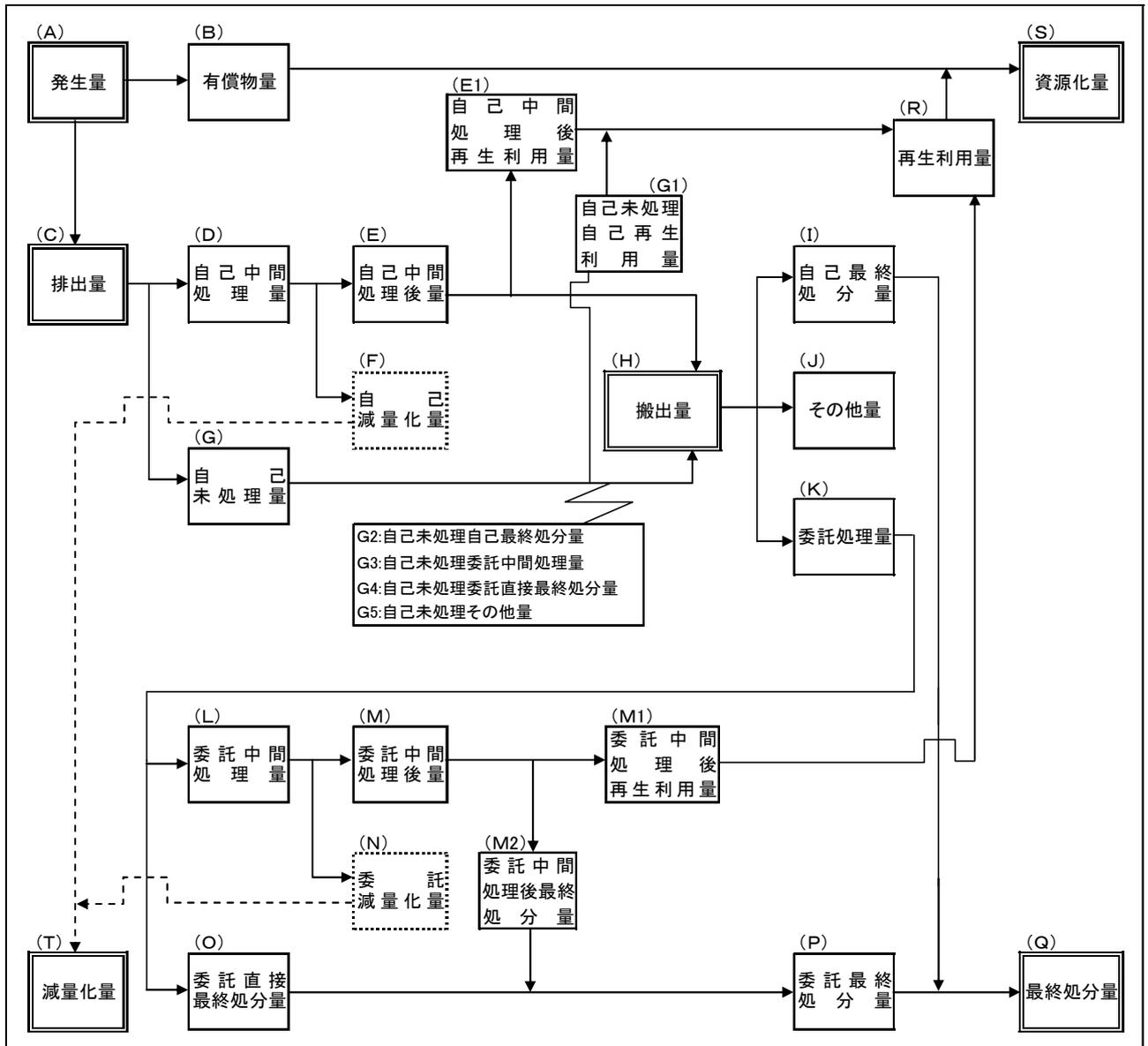


図 1-2-2 発生及び処理・処分状況の流れ図

表 1-2-4 発生及び処理・処分状況の流れ図に関する用語の定義

項 目	定 義
(A) 発生量	事業場内等で生じた産業廃棄物量及び有償物量
(B) 有償物量	発生量のうち、中間処理されることなく、他者に有償で売却した量
(C) 排出量	発生量のうち、有償物量を除いた量
(D) 自己中間処理量	排出量のうち、排出事業者自らが中間処理した廃棄物量で処理前の量
(G) 自己未処理量	排出量のうち、自己中間処理されなかった量
(G1) 自己未処理自己再生利用量	自己未処理量のうち、他者に有償売却できないものを自ら利用した量
(G2) 自己未処理自己最終処分量	自己最終処分量のうち、自己未処理で自己最終処分した量
(G3) 自己未処理委託中間処理量	委託中間処理量のうち、自己未処理で委託中間処理した量
(G4) 自己未処理委託直接最終処分量	委託直接最終処分量のうち、自己未処理で委託直接最終処分された量
(G5) 自己未処理その他量	その他量のうち、自己未処理のその他量
(E) 自己中間処理後量	自己で中間処理した後の廃棄物量
(E1) 自己中間処理後再生利用量	自己中間処理後量のうち、自ら利用し、または他者に有償で売却した量
(F) 自己減量化量	自己中間処理量から自己中間処理後量を差し引いた量
(H) 搬出量	自己最終処分量、その他量及び委託処理量の合計
(I) 自己最終処分量	自己の埋立地に処分した量
(J) その他量	事業場内等に保管されている量等
(K) 委託処理量	中間処理及び最終処分を他者に委託した量
(L) 委託中間処理量	委託処理量のうち、処理業者等で中間処理された量
(M) 委託中間処理後量	委託中間処理された後の廃棄物量
(M1) 委託中間処理後再生利用量	委託中間処理後量のうち、処理業者等で自ら利用しまたは他者に有償で売却した量
(M2) 委託中間処理後最終処分量	委託中間処理後量のうち、最終処分された量
(N) 委託減量化量	委託中間処理量から委託中間処理後量を差し引いた量
(O) 委託直接最終処分量	委託処理量のうち、処理業者等で中間処理されることなく最終処分された量
(P) 委託最終処分量	処理業者等で最終処分された量
(Q) 最終処分量	排出事業者と処理業者等の最終処分量の合計
(R) 再生利用量	排出事業者または処理業者等で再生利用された量
(S) 資源化量	有償物量と再生利用量の合計
(T) 減量化量	排出事業者または処理業者等の中間処理により減量された量

第2章 調査の方法

第1節 調査方法の概要

本調査は、多量排出事業者処理計画実施状況報告（以下、多量報告と言う。）と産業廃棄物管理票（マニフェスト）交付等状況報告書（県独自の様式。以下、アンケートと言う。）及び県関係部局の既存資料を基に行う調査（資料調査）を基本としており、多量報告とアンケートによって回答を得た産業廃棄物の発生及び処理状況に関する内容（集計値）と産業廃棄物の発生量に関連した指標（活動量指標：従業者数、製造品出荷額等）を基に、県内における産業廃棄物の発生量等の推計を行うものである。

表 2-1-1 調査方法

業種	調査方法			備 考
	全数調査	標本調査	資料調査	
農業		○	○	動物のふん尿、農業用廃プラスチック類を調査対象廃棄物とし、既存資料を用いて調査を行う。
鉱業		○		
建設業		○		
製造業		○		
電気・水道業	○			関係部局の名簿等を基に、ガス製造所、浄水場、下水処理場すべての施設の回答を利用する。 このため、拡大推計は行わず、アンケートで集計した発生量及び処理状況の実績量をそのまま用いる。
情報通信業		○		
卸売、小売業		○		
医療、福祉		○		
サービス業		○		
その他の業種		○		

注 1)全数調査とは、産業廃棄物の発生量及び処理状況の実態をより正確に把握するため、特定の業種あるいは事業所等を調査対象として全数を抽出・回収し、その発生量及び処理状況の実績量を把握する方法。

注 2)標本調査とは、標本調査対象業種に分類される事業所から一部の調査事業所を抽出し、抽出された排出事業所からのアンケート調査に基づいて産業廃棄物の実態を把握する方法。本調査では、平成 24 年度に報告されたマニフェスト交付等状況報告書（県独自の様式）の電子データを標本とし、不足する情報については、多量排出事業者の実施状況報告（平成 23 年度実績）や平成 20 年度鳥取県産業廃棄物実態調査データ等で補完した。

注 3)資料調査とは、関係部局等が調査した発生原単位等の資料を用いて発生量等の実績量を把握する方法。

注 4)その他の業種とは、「運輸業」「金融、保険業」「不動産業」「専門サービス」「宿泊、飲食業」「生活サービス」「教育、学習業」「複合サービス」「公務」である。

1. 標本調査について

(1) アンケート調査項目

調査票の項目や形式は、巻末の参考資料に示すとおりである。

(2) 発生原単位の作成と調査対象全体の発生量の推計方法

1) 発生原単位の算出

発生原単位は、アンケート調査によって得られた標本の業種別、種類別の集計産業廃棄物量と、業種別の集計活動量指標から、図 2-1-1 の A 式により活動量指標単位当たりの産業廃棄物発生量（発生原単位）を算出した。

なお、発生原単位は、図 2-1-2 に示すとおり特異値以外の標本を用いて算出した。

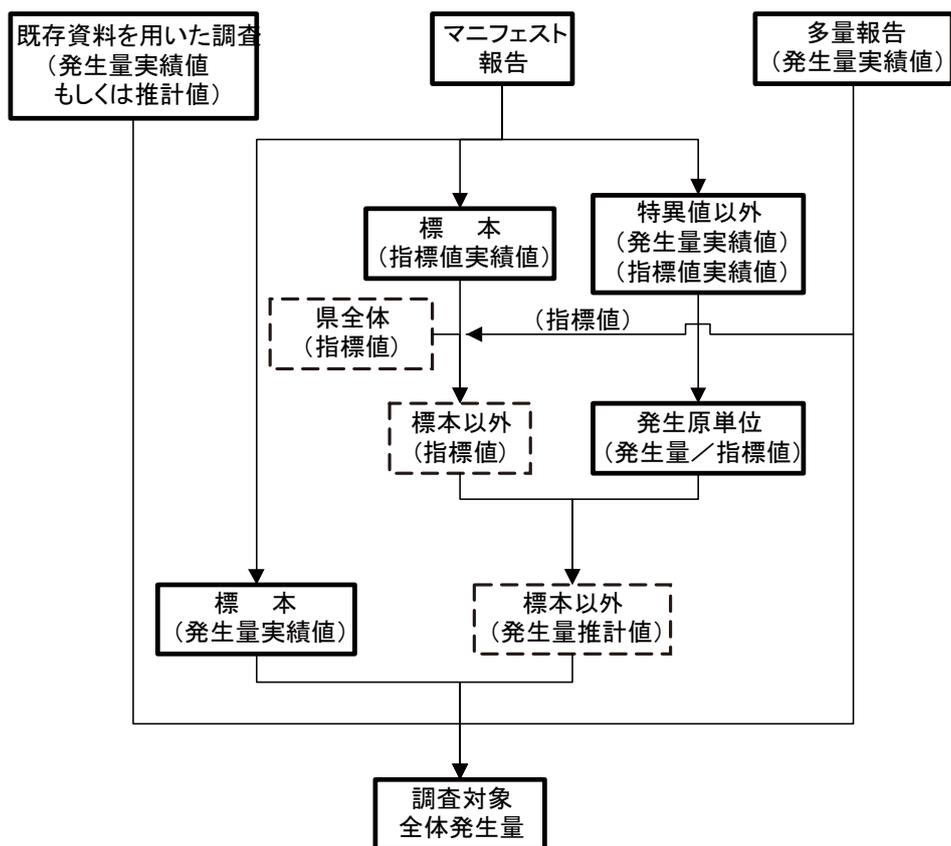
① 発生原単位の算出	
A 式 $\alpha = W / O$	α : 産業廃棄物の発生原単位 W : 標本に基づく集計産業廃棄物発生量 O : 標本に基づく集計活動量指標
② 調査対象全体の発生量の推計方法	
B 式 $W' = \alpha \times O'$	W' : 調査当該年度の推計産業廃棄物発生量 O' : 調査当該年度の母集団の活動量指標

図 2-1-1 産業廃棄物発生量の推計式

2) 調査対象全体の発生量の推計方法

調査対象全体の発生量は、特異値以外の標本の業種別・産業廃棄物種類別の集計産業廃棄物発生量と集計活動量指標値から、次式により業種別・産業廃棄物種類別にそれぞれ算出する。

特異値とは、1) で示したとおり、多量排出事業者や同業他社と比較し排出状況が大きく異なる等、特殊な標本のことを示す。



注) 特異値とは、多量排出事業者や同業他社と比較し発生・排出状況が大きく異なる等、特殊な標本のことを示す。

図 2-1-2 発生原単位と発生量の推計方法

3) 活動量指標

母集団（県全体）の推計に用いた活動量指標は、表 2-1-2 に示すとおりである。

表 2-1-2 業種別の活動量指標

業 種	活 動 量 指 標	出 典
鉱業	従業者数	経済センサス基礎調査
建設業	元請完成工事高	建設工事施工統計調査報告
製造業	製造品出荷額等	工業統計調査報告
情報通信業	従業者数	経済センサス基礎調査
卸売、小売業		
医療、福祉		
サービス業		
その他の業種		
病院	病床数	医療施設（動態）調査・病院報告

(2) 有償物量の推計方法

今回の調査では、実績値として多量報告を、アンケート調査票として、マニフェス

ト交付等状況報告書を利用した。このため、有償物量については報告対象で無く、回答を得ることが出来ないことから、平成 19 年度に実施した実態調査結果を用いて、平成 23 年度の有償物量を推計した。

(3) 処理状況の推計方法

各処理量は、アンケート調査によって得られた標本の業種別種類別の処理比率を、(2) 2) で求めた業種別種類別の発生量に乗じて求めた。

なお、委託中間処理後の残さ量については、第 4 節 2. で示すように、種類別委託中間処理方法別の残さ率に乗じて求めた。

第2節 調査結果の利用上の留意事項

本調査結果を利用する際の留意事項については、以下のとおりである。

1. 産業廃棄物の種類の区分について

本報告書では、産業廃棄物の種類を次に示す3段階で捉えており、中間処理後の種類については変化した処理後の種類で表記している。

なお、解析等の都合上、中間処理後も廃棄物の種類を変化させずに集計した場合（例：発生時の種類のまま；木くず→（焼却）→木くず）は、図表中に「種類別：無変換」と表記した。

発生時の種類	1段階	発生・排出時点の種類（未処理）
処理後の種類	2段階 （自己処理後）	排出事業場で中間処理され、変化した処理後の種類 例1；汚泥、廃油、廃プラスチック、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず→（焼却処理）→〔燃え殻〕 例2；廃酸、廃アルカリ→（中和処理）→〔汚泥〕
	3段階 （委託処理後）	委託中間処理により、変化した処理後の種類（同上）

2. 委託中間処理後の残さ量について

委託中間処理後の残さ量については、産業廃棄物の種類ごとに「産業廃棄物排出・処理実態調査指針」に準じた委託中間処理方法による残さ率から算出した。

3. 建設業の地域別発生量について

建設業における地域別の産業廃棄物の発生量については、アンケートで得られた工事現場ごとの発生量を基に、県全体の推計値を按分することにより算出した。

4. 単位と数値に関する処理

（1）単位に関する表示

本報告書の調査結果表においては、すべて1年間の量であることを明らかにするため、図表の単位は「t/年」、「千t/年」で表示しているが、文章中においては、原則として「トン」、「千トン」で記述している。

（2）報告書における数値の処理

本文に記載されている千トン表示及び構成比（%）は、トン単位で算出しているため、合計と個々の計とが一致しない場合がある。

なお、本文の図表及び別冊統計資料の「空欄」は該当値がないものを示し、「0」は単位未満のものを示す。

第3節 標本抽出・回収結果

平成24年度に報告徴収された多量排出事業者の実績報告件数と、マニフェスト交付等状況報告書（県独自の様式：アンケート調査票）のうち、活動量指標等の記載のない調査票を除いた有効調査票（標本）は、3,372件となっている。参考までに県内における調査対象事業所数34,768件（平成21年経済センサス基礎調査）に対する回収率でみると9.7%となっている。

標本の抽出及び回収結果は、表2-3-1に示すとおりである。

表2-3-1 標本抽出・回収結果

業種	区分	総事業所数 (件)	有効 回答件数 (件)	有効 回答率 (%)	集計 廃棄物量 (t/年)	推計 廃棄物量 (t/年)	補足率 (%)
合計		34,786	3,372	9.7	783,951	1,279,547	61.3
農業, 林業		241	—	—	692,493	693,030	100.0
漁業		49	—	—	—	—	—
鉱業		13	1	7.7	0	6,846	—
建設業		2,918	1757	60.2	32,256	333,391	9.7
製造業		1,843	635	34.5	55,041	194,650	28.3
電気・水道業		60	60	100.0	26,485	26,485	100.0
情報通信業		284	46	16.2	87	2,172	4.0
運輸業		572	121	21.2	1,103	3,449	32.0
卸売, 小売業		9,744	139	1.4	870	11,030	7.9
金融, 保険業		610	52	8.5	20	88	22.7
不動産業		1,529	8	0.5	27	887	3.0
専門サービス		1,560	54	3.5	63	565	11.2
宿泊, 飲食業		4,476	38	0.8	149	1,245	12.0
生活サービス		3,525	13	0.4	68	68	100.0
教育, 学習業		1,705	14	0.8	37	37	100.0
医療, 福祉		2,722	240	8.8	428	4,641	9.2
複合サービス		361	—	—	—	—	—
サービス業		2,187	170	7.8	932	932	100.0
公務		387	24	6.2	31	31	100.0

第3章 調査結果

平成23年度の鳥取県内における産業廃棄物の発生・排出及び処理・処分状況は、次のとおりである。

第1節 第1次産業を除く調査結果の概要

平成23年度の1年間に鳥取県内で生じた産業廃棄物の発生量(第1次産業を除く)は587千トンであり、有償物量の19千トン(発生量の3.2%)を除いた産業廃棄物の排出量は568千トン(同96.8%)となっている。

排出量のうち、中間処理された量は561千トン(排出量の98.9%)、未処理のまま直接最終処分された量は0.4千トン(同0.1%)となっており、中間処理による減量化量は116千トン(同20.5%)、中間処理後の残さ量は445千トン(同78.3%)となっている。

また、中間処理後の残さ量について処理・処分状況を見ると、再生利用量が429千トン(同75.5%)、中間処理後最終処分量が22千トン(同3.9%)となっている。

一方、中間処理後最終処分量と未処理の直接最終処分量を合わせた最終処分量は23千トン(同4.0%)となっている。

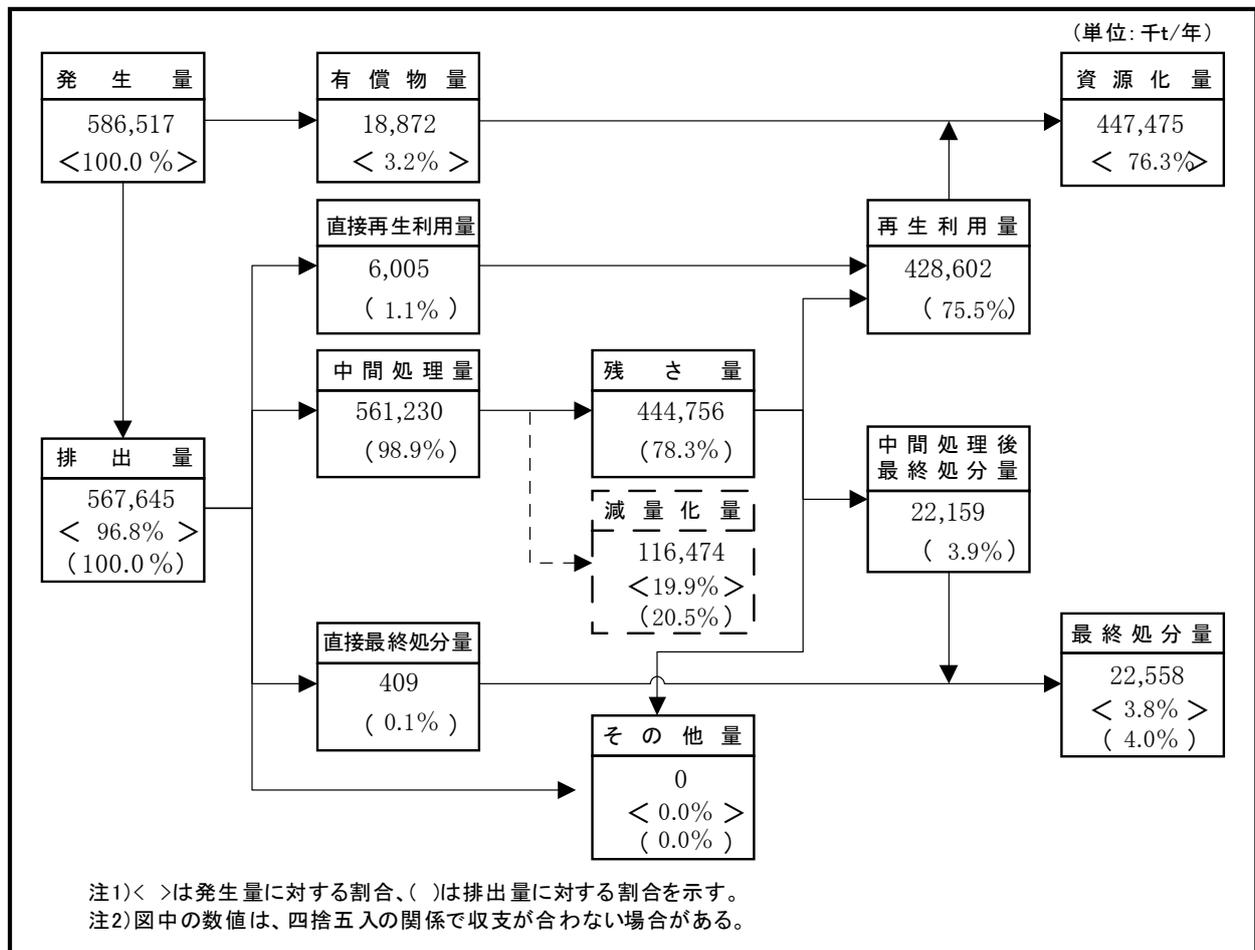


図3-1-1 発生及び処理・処分の状況(第1次産業を除く)

第2節 発生・排出状況（第1次産業を除く）

1. 種類別の発生・排出状況

種類別の発生・排出状況は、図3-2-1～3に示すとおりである。

発生量(587千トン)を種類別にみると、がれき類が249千トン(発生量の42.5%)で最も多く、次いで、汚泥が146千トン(同24.9%)、木くずが56千トン(同9.5%)、金属くずが29千トン(同4.9%)、ばいじんが29千トン(同4.9%)、ガラスくず等が24千トン(同4.0%)となっており、これら6種類で発生量の90.8%を占めている。

排出量(568千トン)を種類別にみると、がれき類が249千トン(排出量の44.0%)で最も多く、次いで、汚泥が146千トン(同25.7%)、木くずが56千トン(同9.8%)、ばいじんが29千トン(同5.0%)、ガラスくず等が24千トン(同4.2%)となっており、これら5種類で排出量の88.7%を占めている。

なお、金属くずは有償物量が多いため、発生量に比べ排出量の割合が少なくなっている。

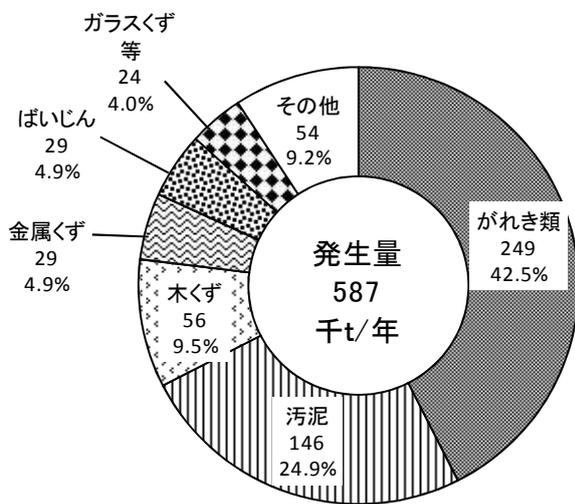


図3-2-1 種類別の発生量

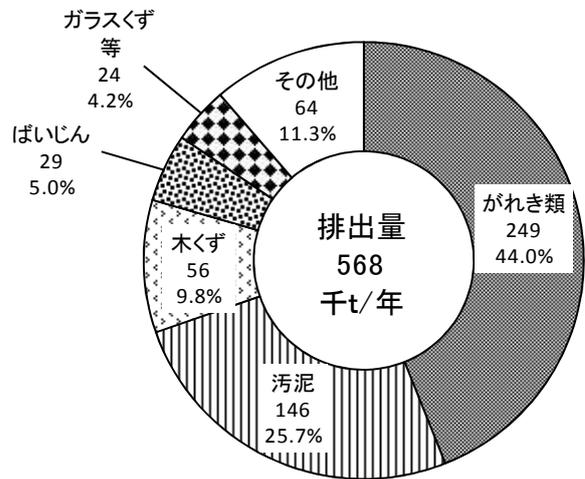


図3-2-2 種類別の排出量

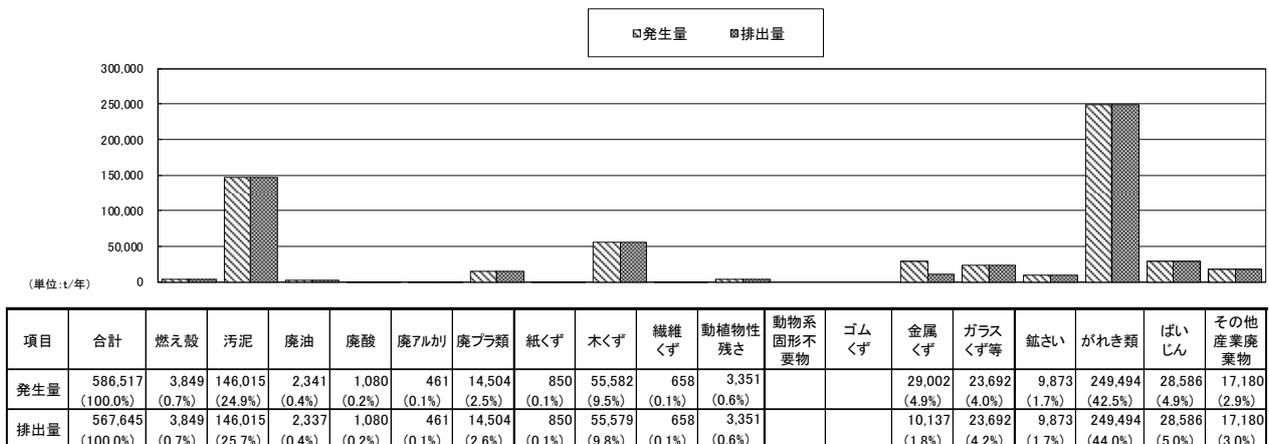


図3-2-3 種類別の発生量、排出量

2. 業種別の発生・排出状況

業種別の発生・排出状況は、図 3-2-4～6 に示すとおりである。

発生量(587千トン)を業種別にみると、建設業が333千トン(発生量の56.8%)で最も多く、次いで製造業195千トン(同33.2%)、電気・水道業が26千トン(同4.5%)となっており、これら3業種で発生量の94.5%を占めている。

排出量(568千トン)を業種別にみると、建設業が333千トン(排出量の58.7%)で最も多く、次いで製造業が176千トン(同31.0%)、電気・水道業が26千トン(同4.6%)となっており、これら3業種で排出量の94.4%を占めている。

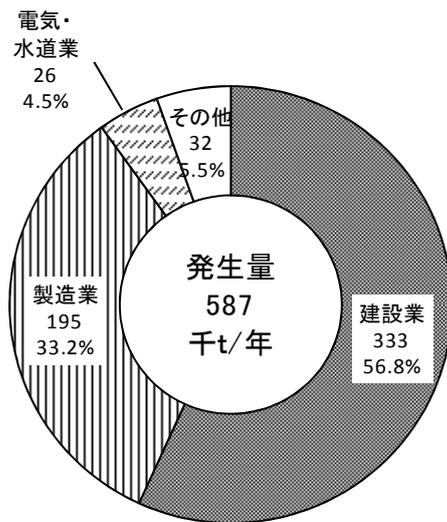


図 3-2-4 業種別の発生量

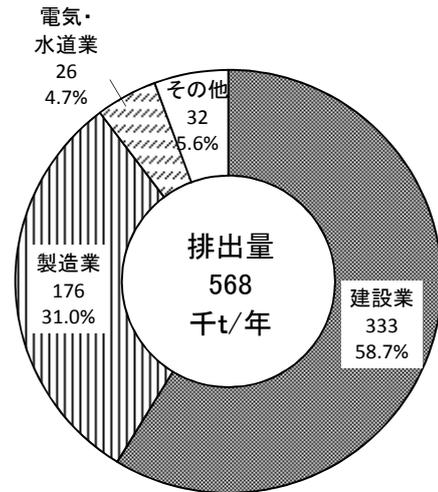
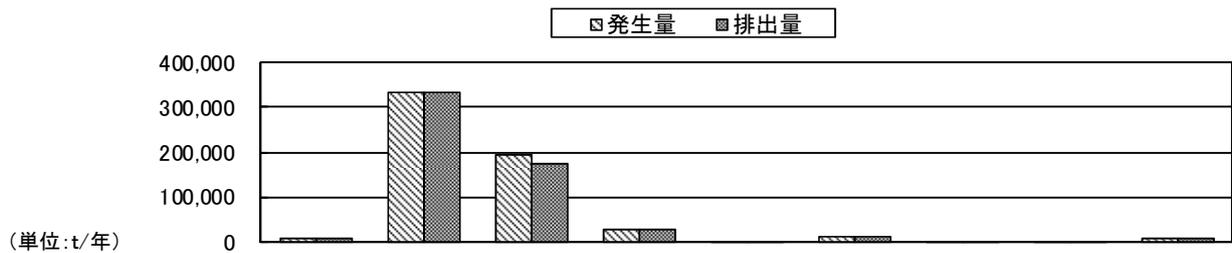


図 3-2-5 業種別の排出量



項目	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	卸・小売業	医療、福祉	サービス業	その他の業種
発生量	586,517 (100.0%)	6,846 (1.2%)	333,391 (56.8%)	194,650 (33.2%)	26,485 (4.5%)	2,172 (0.4%)	11,030 (1.9%)	4,641 (0.8%)	932 (0.2%)	6,370 (1.1%)
排出量	567,645 (100.0%)	6,846 (1.2%)	333,386 (58.7%)	175,783 (31.0%)	26,485 (4.7%)	2,172 (0.4%)	11,030 (1.9%)	4,641 (0.8%)	932 (0.2%)	6,370 (1.1%)

図 3-2-6 業種別の発生量、排出量

3. 地域別の発生・排出状況

地域別の発生・排出状況は、図 3-2-7～9 に示すとおりである。

発生量(587 千トン)を地域別にみると、西部地域が 281 千トン(同 47.9%)で最も多く、次いで東部地域が 193 千トン(発生量の 33.0%)、中部地域が 112 千トン(同 19.1%)となっている。

排出量(568 千トン)を地域別にみると、西部地域が 275 千トン(同 48.4%)で最も多く、次いで東部地域が 190 千トン(排出量の 33.4%)、中部地域が 103 千トン(同 18.2%)となっている。

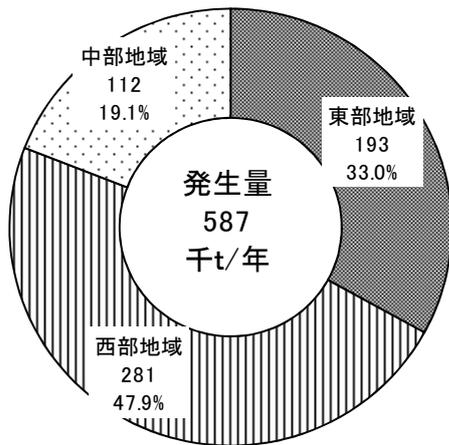


図 3-2-7 地域別の発生量

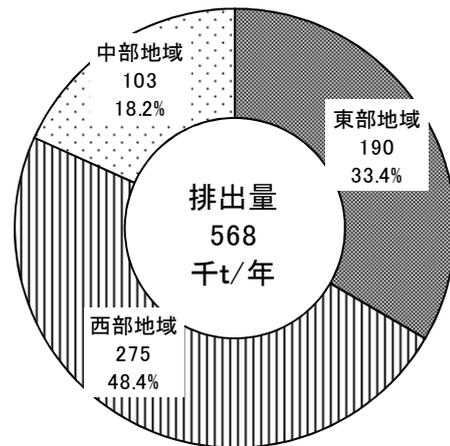
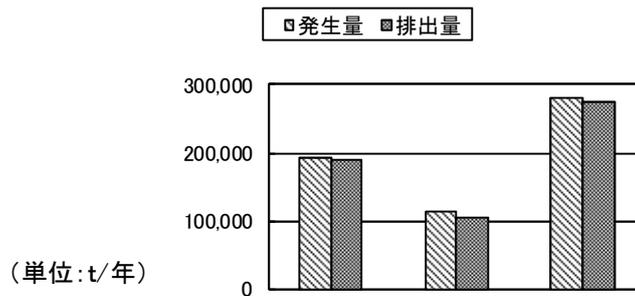


図 3-2-8 地域別の排出量



項目	合計	東部地域	中部地域	西部地域
発生量	586,517 (100.0%)	193,481 (33.0%)	112,120 (19.1%)	280,916 (47.9%)
排出量	567,645 (100.0%)	189,719 (33.4%)	103,355 (18.2%)	274,571 (48.4%)

図 3-2-9 地域別の発生量、排出量

第3節 処理・処分状況（第1次産業を除く）

1. 処理・処分状況の概要

産業廃棄物の発生から処理・処分の流れは、図3-3-1に示すとおりである。産業廃棄物の発生量587千トンのうち、有償物量は19千トンであり、産業廃棄物の排出量は568千トンとなっている。

排出量568千トンのうち、再生利用量は428千トン（排出量の75.4%）、減量化量は116千トン（同20.5%）、最終処分量は23千トン（同4.0%）等となっている。

排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の割合を種類別、業種別にみると、図3-3-2、3に示すとおりである。

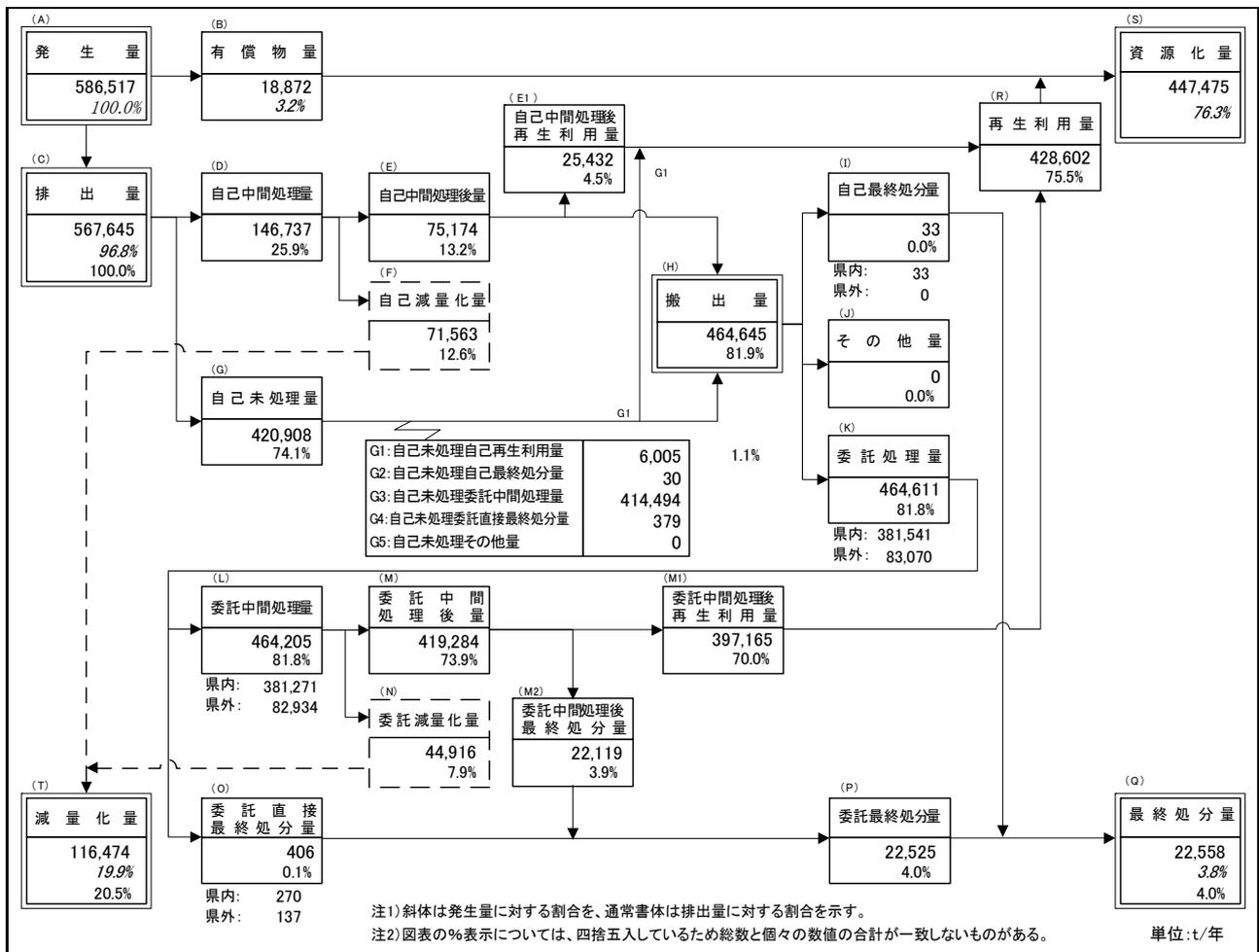
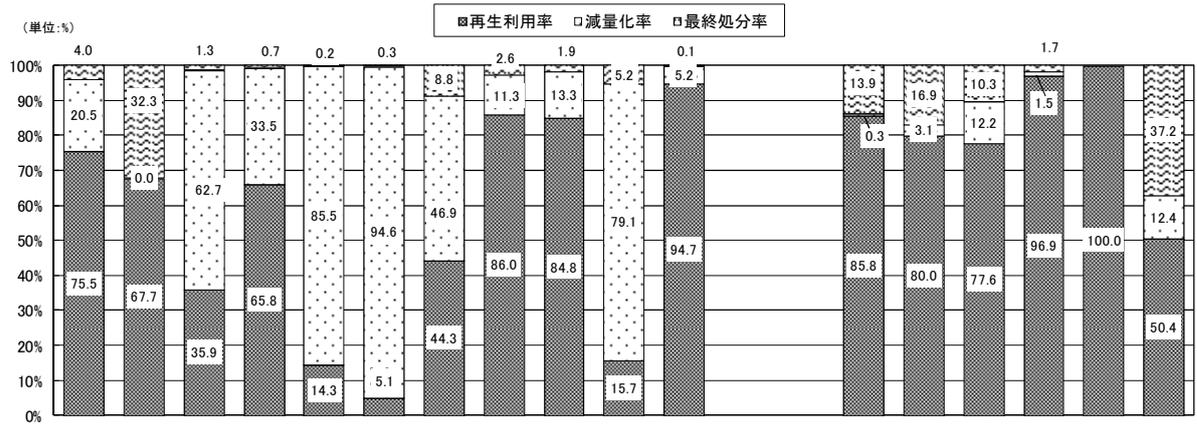


図3-3-1 発生及び処理・処分状況の流れ図

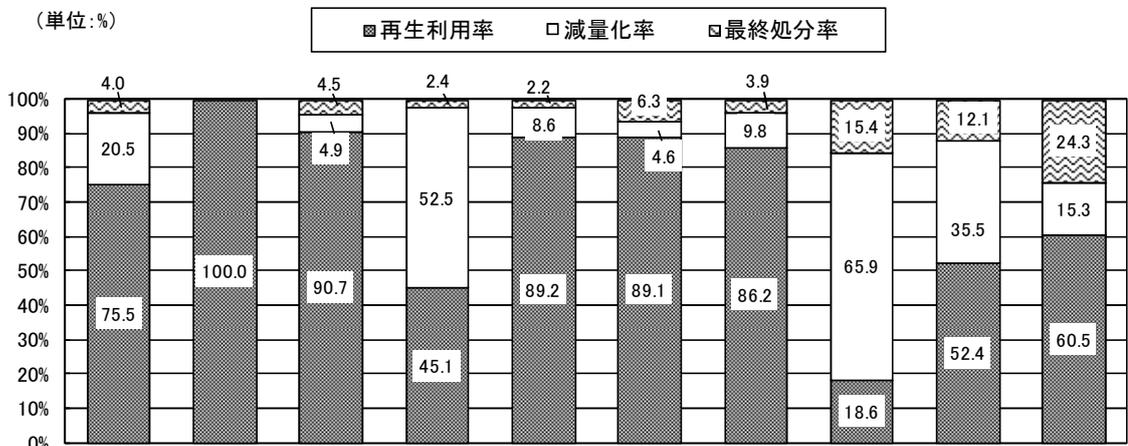


項目	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他産業廃棄物
排出量	567,645	3,849	146,015	2,337	1,080	461	14,504	850	55,579	658	3,351			10,137	23,692	9,873	249,494	28,586	17,180
再生利用量	428,602	2,607	52,491	1,539	155	23	6,423	731	47,146	103	3,174			8,693	18,963	7,659	241,643	28,586	8,667
減量化量	116,474		91,620	783	923	436	6,799	96	7,379	520	175			34	728	1,200	3,655		2,125
最終処分量	22,558	1,242	1,899	15	2	1	1,277	22	1,054	34	2			1,410	4,001	1,013	4,195		6,388

注1) 図表中の廃棄物の種類は、発生量に対する処理の割合を示すために、中間処理により種類が変わった場合であっても、発生時の種類でとらえている。【種類別：無変換】

注2) 表中の数値は、四捨五入の関係で合計と個々の計が一致しない場合がある。

図 3-3-2 種類別の排出量に対する処理・処分量の割合



項目	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	卸・小売業	医療、福祉	サービス業	その他の業種
排出量	567,645	6,846	333,386	175,783	26,485	2,172	11,030	4,641	932	6,370
再生利用量	428,602	6,846	302,231	79,257	23,616	1,935	9,512	865	488	3,851
減量化量	116,474		16,309	92,346	2,274	100	1,083	3,060	331	972
最終処分量	22,558		14,842	4,179	590	137	435	716	113	1,547

注1) 表中の数値は、四捨五入の関係で合計と個々の計が一致しない場合がある。

注2) その他の業種とは、「運輸業」、「金融、保険業」、「不動産業」、「専門サービス」、「宿泊、飲食業」、「生活サービス」、「教育・学習業」、「複合サービス」、「公務」の合計である。

図 3-3-3 業種別の排出量に対する処理・処分量の割合

2. 自己中間処理状況（物質変換を考慮しない）

排出事業者自らが中間処理を行った自己中間処理量は、147千トンであり、排出量の25.9%を占めている。

自己中間処理量を種類別にみると、図3-3-4に示すとおり、汚泥が121千トン（自己中間処理量の82.4%）で最も多く、次いで、がれき類が17千トン（同11.7%）となっている。

また、排出量に対する自己中間処理量の割合（自己中間処理率）及び自己中間処理量に対する自己減量化量の割合（自己減量化率）についてみると、図3-3-5に示すとおりである。

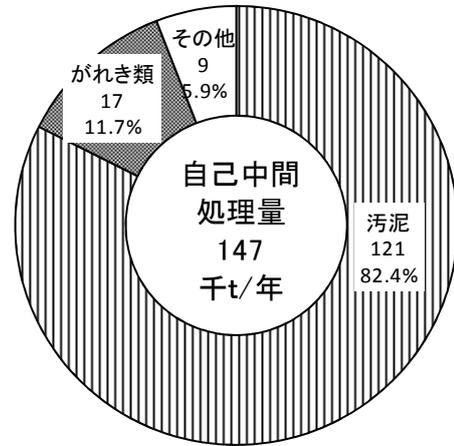


図 3-3-4 種類別の自己中間処理量

自己中間処理率が高い種類は、汚泥(82.8%)、鉱さい(45.1%)となっており、自己減量化率が高い種類では、紙くず(100%)、金属くず(80.0%)、ガラスくず等(58.1%)、汚泥(53.7%)となっている。

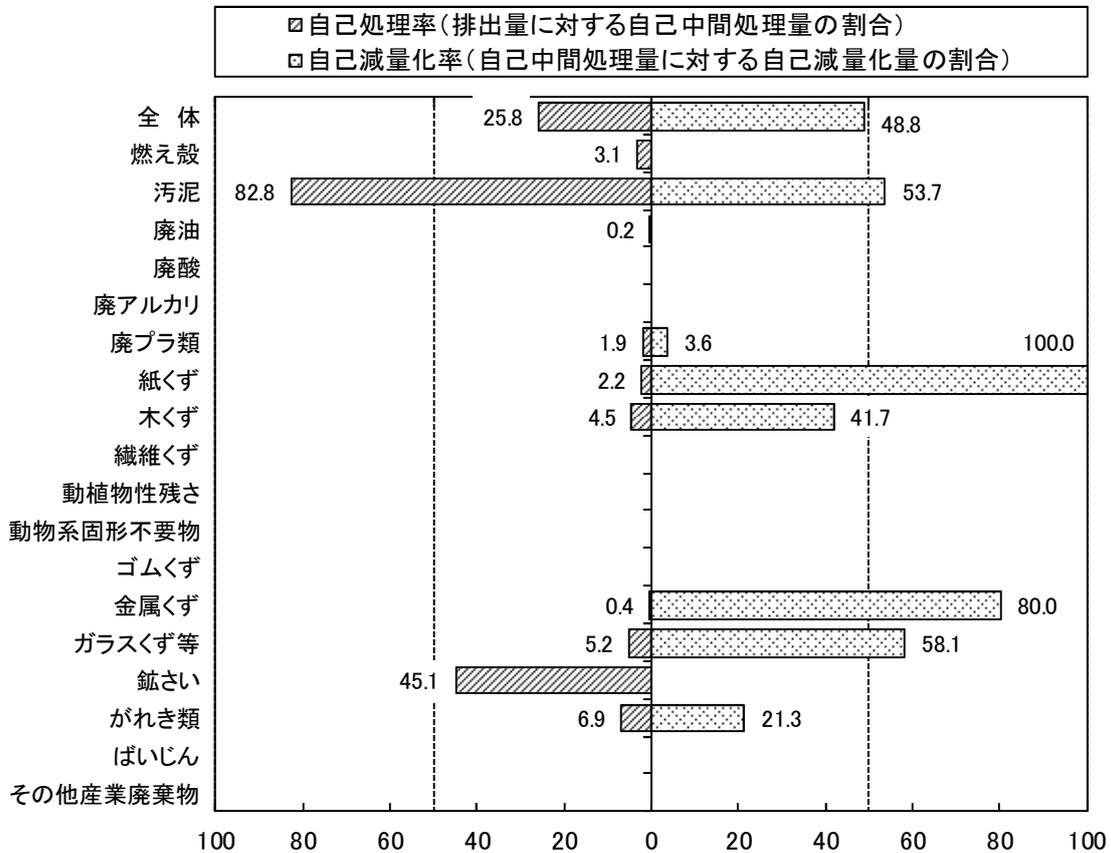


図 3-3-5 種類別の自己中間処理率、自己減量化率

3. 委託処理状況

処理業者等によって処理(中間処理、最終処分を含む)された委託処理量は、468 千トンであり、排出量の81.8%を占めている。

委託処理量を種類別にみると、図 3-3-6、7 に示すとおり、がれき類が234 千トン(委託処理量の50.4%)で最も多く、次いで、汚泥が67 千トン(同14.5%)、木くずが53 千トン(同11.4%)、ばいじんが29 千トン(同6.2%)等となっている。

また、委託処理量を処理方法別にみると、中間処理量は464 千トン(委託処理量の99.6%)で大部分を占めており、直接最終処分量は0.4 千トン(同0.1%)となっている。

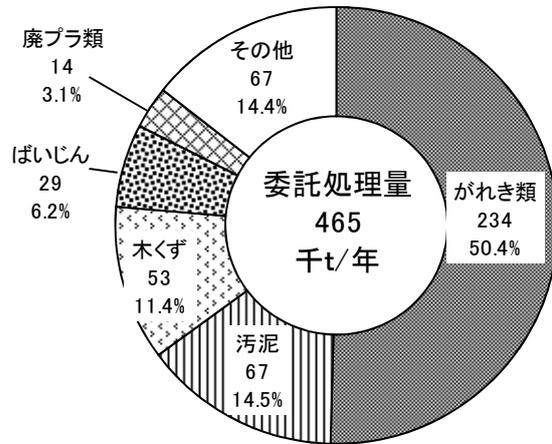


図 3-3-6 種類別の委託処理量

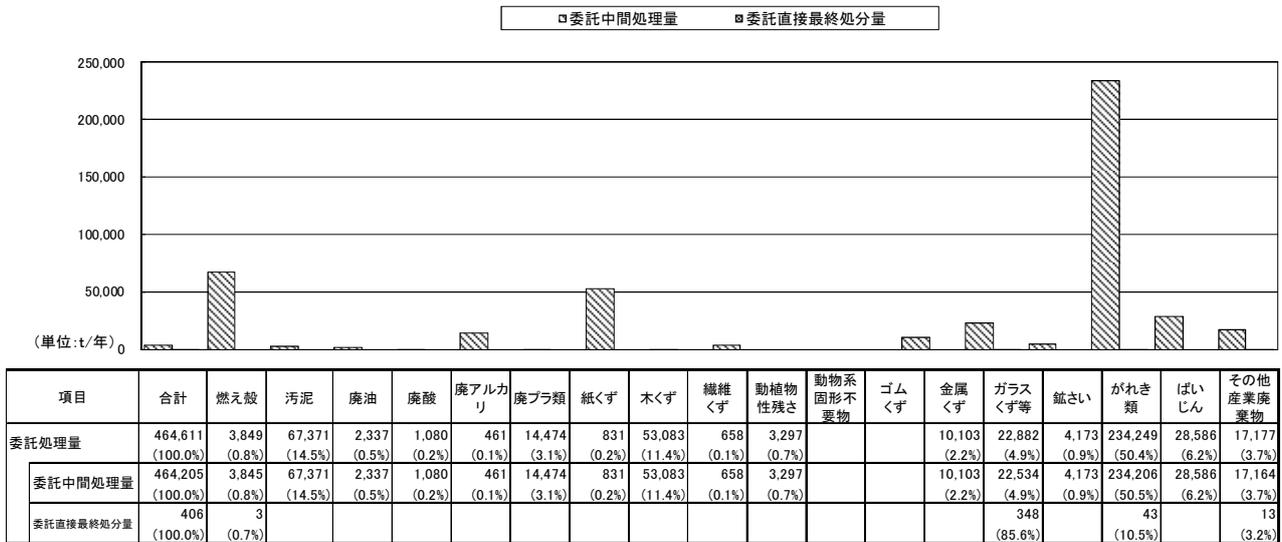


図 3-3-7 種類別委託処理量の内訳

4. 資源化、再生利用状況

(1) 資源化状況

資源化量（有償物量を含む）は、447千トンであり、発生量の76.2%を占めている。

資源化量を種類別にみると、図3-3-8,9に示すとおり、がれき類が242千トン（資源化量の54.1%）で最も多く、次いで、汚泥が52千トン（同11.7%）、木くずが47千トン（同10.5%）、ばいじんが29千トン（同6.4%）、金属くずが28千トン（6.2%）、ガラスくず等が19千トン（同4.2%）となっている。

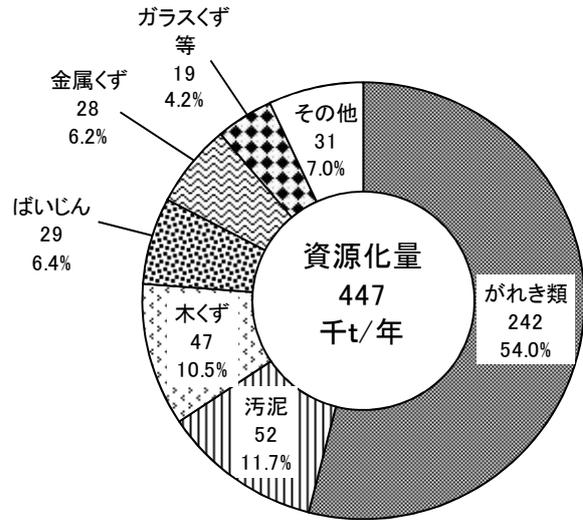


図 3-3-8 種類別の資源化量

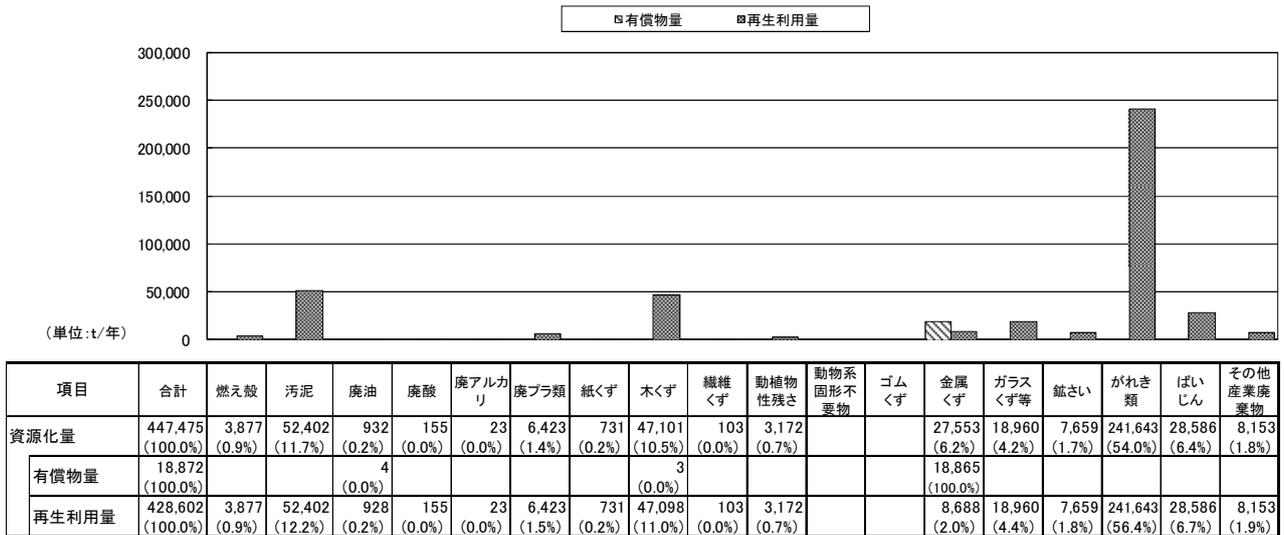


図 3-3-9 種類別資源化量の内訳

(2) 再生利用状況

資源化量のうち有償物量を除く再生利用量は 429 千トンであり、排出量の 75.5% を占めている。

再生利用量を種類別にみると、図 3-3-10 に示すとおり、がれき類が 242 千トン(再生利用量の 56.4%)で最も多く、次いで、汚泥が 52 千トン(同 12.2%)、木くずが 47 千トン(同 11.0%)、ばいじんが 29 千トン(同 6.7%)、ガラスくず等が 19 千トン(同 4.4%)となっている。

なお、用途別にみた再生利用状況は、図 3-3-11、表 3-3-1 に示すとおりであり、土木・建設資材・再生骨材が 284 千トン(同 66.2%)で最も多く、次いで、燃料が 33 千トン(同 7.7%)、飼料・肥料・土壌改良材が 23 千トン(同 5.3%)、パルプ・紙原材料が 20 千トン(同 4.8%)、金属資源が 17 千トン(同 3.9%)となっている。

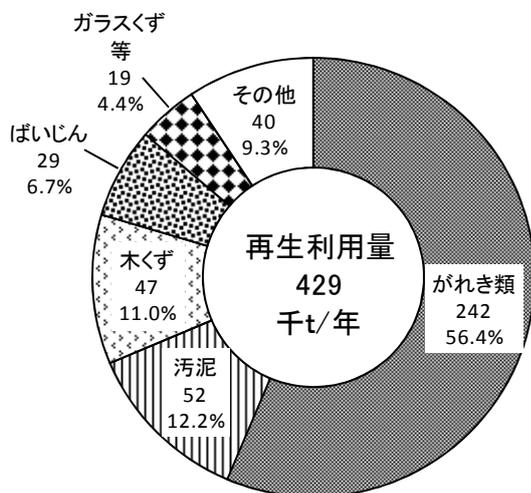


図 3-3-10 再生利用量 (種類別)

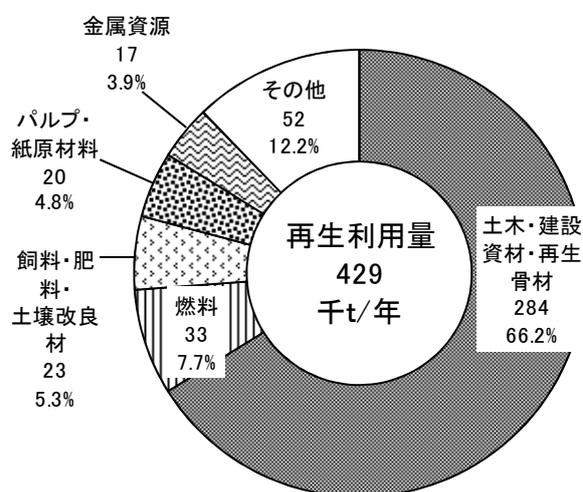


図 3-3-11 再生利用量 (用途別)

表 3-3-1 用途別再生利用状況

(単位：t/年)

用途 種類	合計	金属資源	燃料	再生土木・建設資材	セメント原材料	飼料・肥料・土壌改良材	紙パルプ・原材料	ガラス原材料	プラスチック原材料	再生油・再生溶剤	再生タイヤ	高炉還元(製鉄用コークス代替材)	その他・不明
合計	428,602	16,831	33,363	283,535	14,064	22,700	20,481	626	962	516	212	0	35,314
燃え殻	3,877	4	581	107	61	20	0	0	0	30	0	0	3,076
汚泥	52,402	1,178	1	19,334	13,859	17,792	0	0	0	96	0	0	142
有機性汚泥	31,576	0	0	0	13,859	17,716	0	0	0	0	0	0	0
無機性汚泥	20,827	1,178	1	19,334	0	76	0	0	0	96	0	0	142
廃油	928	0	516	0	0	8	0	0	0	379	0	0	25
一般廃油	922	0	510	0	0	8	0	0	0	379	0	0	25
廃溶剤	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固形油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
油でい	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
油付着物	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	155	0	0	139	0	0	0	0	0	7	0	0	8
廃アルカリ	23	0	10	0	1	0	0	0	0	3	0	0	10
廃プラスチック類	6,423	10	3,766	47	93	0	0	0	948	0	212	0	1,347
廃プラスチック	6,205	10	3,760	47	93	0	0	0	948	0	0	0	1,347
廃タイヤ	217	0	6	0	0	0	0	0	0	0	212	0	0
紙くず	731	0	44	31	0	0	656	0	0	0	0	0	0
木くず	47,098	379	26,575	364	0	20	19,751	0	4	0	0	0	6
繊維くず	103	0	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	66
動植物性残さ	3,172	0	0	0	0	3,172	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物													
ゴムくず													
金属くず	8,688	8,352	43	23	0	0	0	0	3	0	0	0	267
ガラスくず等	18,960	2	30	16,587	0	1,688	0	617	7	0	0	0	29
鋳さい	7,659	0	0	7,659	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき類	241,643	375	1,749	239,175	49	0	74	2	0	0	0	0	219
コンクリート片	147,345	375	427	146,415	49	0	74	2	0	0	0	0	4
廃アスファルト	76,834	0	1,229	75,391	0	0	0	0	0	0	0	0	215
その他の建設廃材	17,463	0	93	17,369	0	0	0	0	0	0	0	0	1
動物のふん尿													
動物の死体													
ばいじん	28,586	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28,586
その他廃棄物	8,153	6,530	13	70	0	0	0	7	0	0	0	0	1,533
感染性廃棄物	332	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	332
混合廃棄物	7,821	6,530	13	70	0	0	0	7	0	0	0	0	1,202

5. 最終処分状況

最終処分量は、23千トンであり、排出量の4.0%を占めている。

最終処分量を種類別にみると、図3-3-12、13に示すとおり、がれき類が4千トン(同18.2%)で最も多く、次いで、燃え殻が4千トン(同18.2%)、その他産業廃棄物が4千トン(最終処分量の17.6%) ガラスくず等が4千トン(同17.3%)、汚泥が2千トン(同7.3%)、木くずが1千トン(同4.4%)、廃プラ類が1千トン(同4.1%)となっている。

また、最終処分量を処分主体別にみると、処理業者が23千トンと大部分を占めている。

なお、その他産業廃棄物とは、主に混合廃棄物の事である。

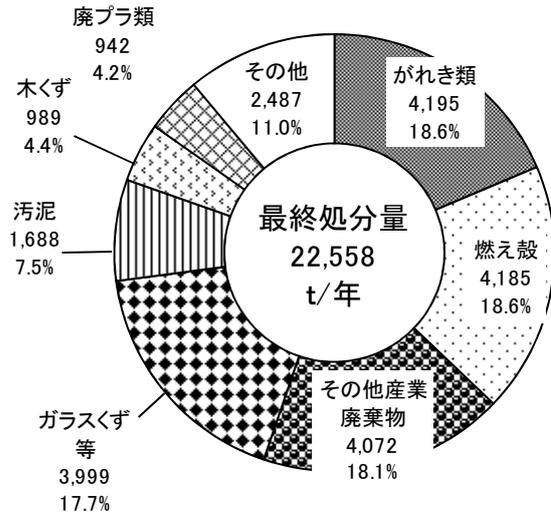


図 3-3-12 最終処分量

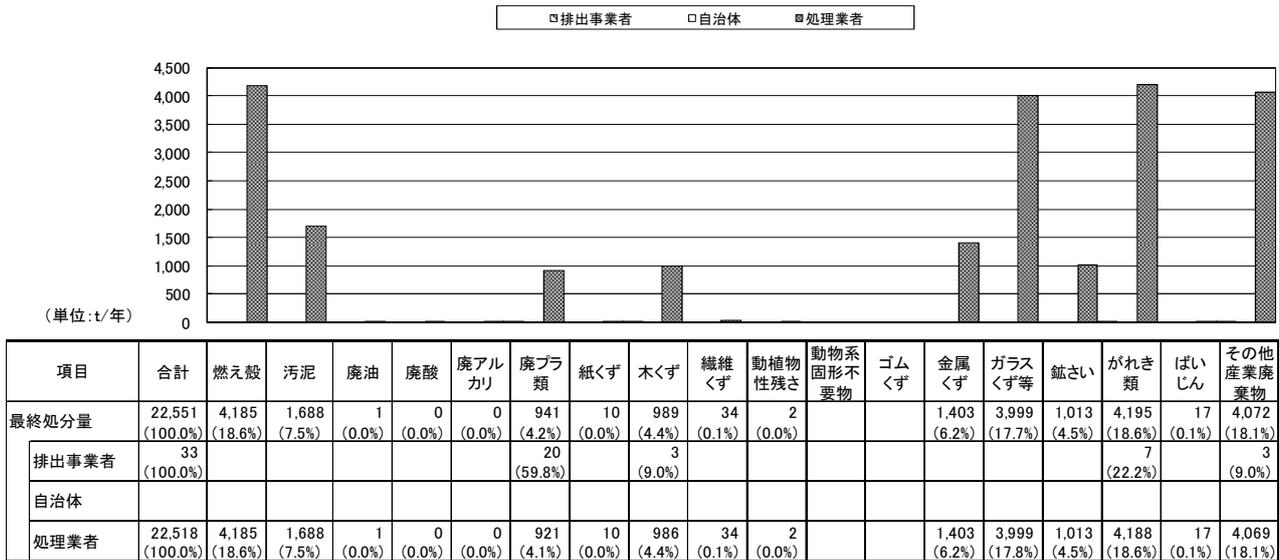


図 3-3-13 処分主体別の最終処分量

第4節 第1次産業を含む調査結果の概要

1. 種類別の発生・排出状況

種類別の発生・排出状況は、図3-4-1～3に示すとおりである。

発生量(1,280千トン)を種類別にみると、動物のふん尿が693千トン(発生量の53.0%)で最も多く、次いで、がれき類が249千トン(同19.5%)、汚泥が146千トン(同11.4%)、木くずが56千トン(同4.3%)となっており、これら4種類で発生量の89.4%を占めている。

排出量(1,108千トン)を種類別にみると、動物のふん尿が540千トン(排出量の48.1%)で最も多く、次いで、がれき類が249千トン(同22.5%)、汚泥が146千トン(同13.2%)、木くずが56千トン(同5.0%)となっており、これら4種類で排出量の89.5%を占めている。

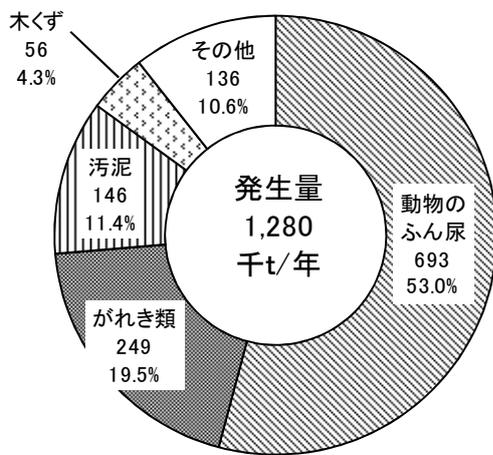


図3-4-1 種類別の発生量

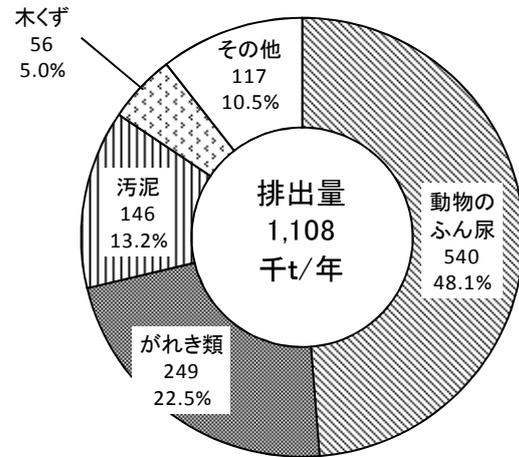


図3-4-2 種類別の排出量

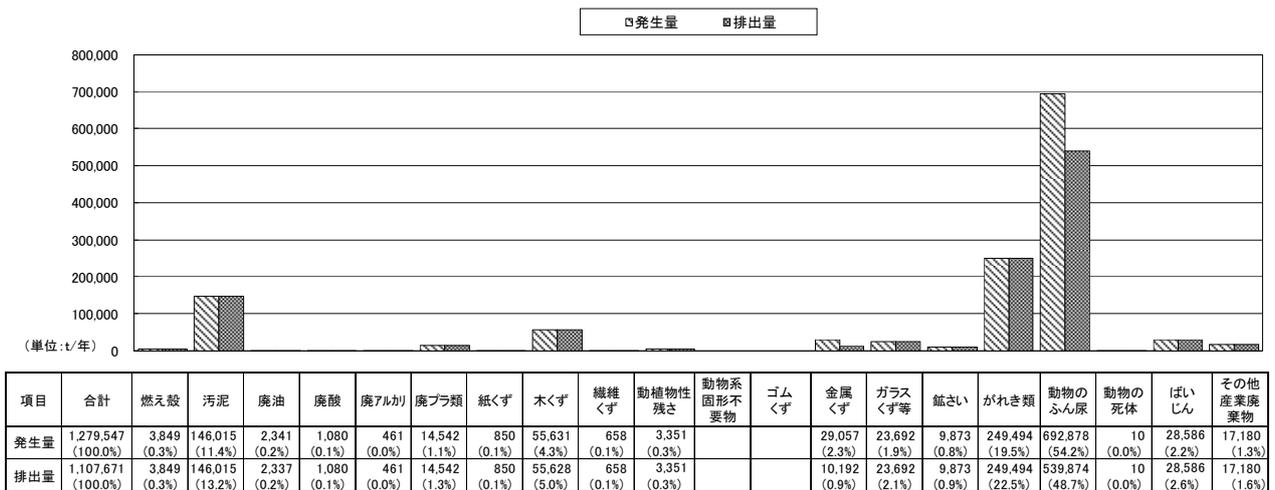


図3-4-3 種類別の発生量、排出量

2. 業種別の発生・排出状況

業種別の発生・排出状況は、図 3-4-4～6 に示すとおりである。

発生量(1,280千トン)を業種別にみると、農業、林業が693千トン(発生量の54.2%)で最も多く、次いで建設業が333千トン(同26.1%)、製造業が195千トン(同15.2%)、電気・水道業が26千トン(同2.1%)となっており、これら4業種で発生量の97.5%を占めている。

排出量(1,108千トン)を業種別にみると、農業、林業が540千トン(排出量の48.8%)で最も多く、次いで建設業が333千トン(同30.1%)、製造業が176千トン(同15.9%)、電気・水道業が26千トン(同2.4%)となっており、これら4業種で排出量の97.1%を占めている。

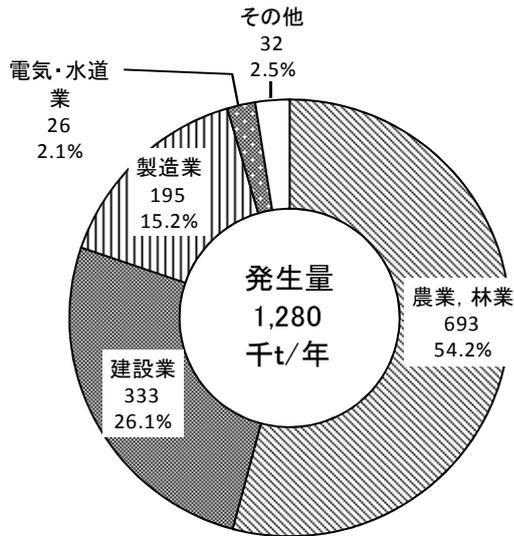


図 3-4-4 業種別の発生量

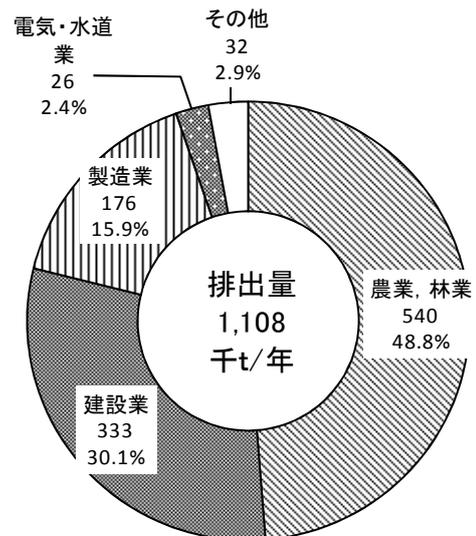


図 3-4-5 業種別の排出量

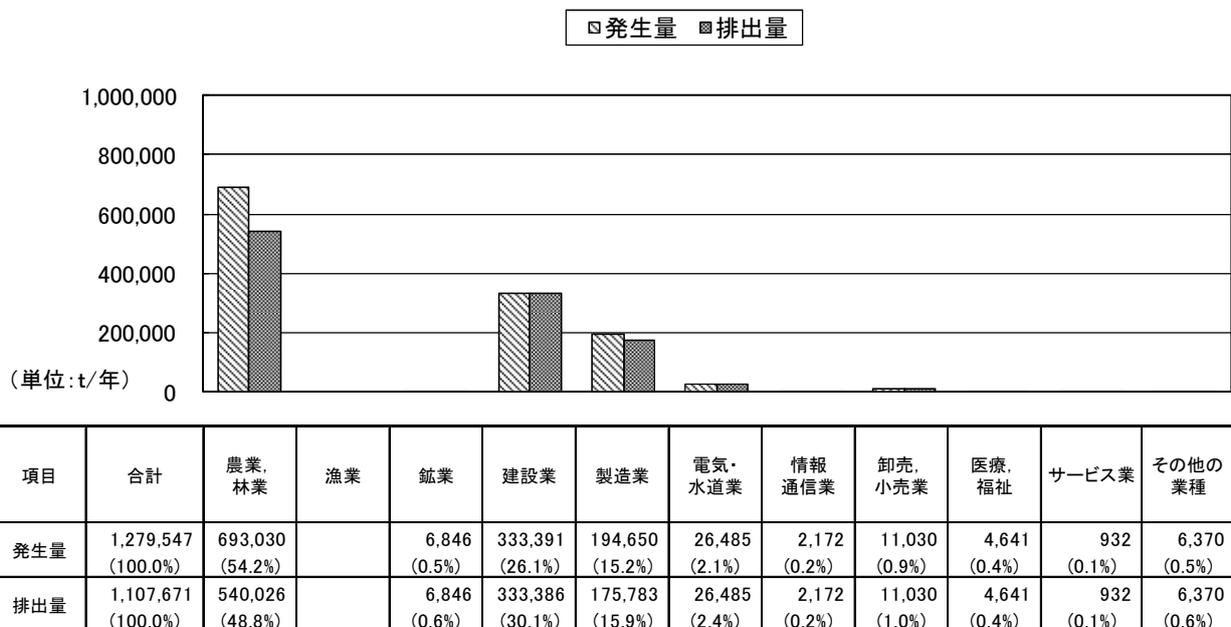


図 3-4-6 業種別の発生量、排出量

第5節 業種別の発生及び処理・処分状況

1. 農業，林業

(1) 種類別の発生・排出状況

農業，林業からの発生量は693千トンで、図3-5-1に示すように、動物のふん尿が大部分(693千トン)を占めている

また、排出量は540千トンで、図3-5-2に示すように、動物のふん尿が大部分(540千トン)を占めている。

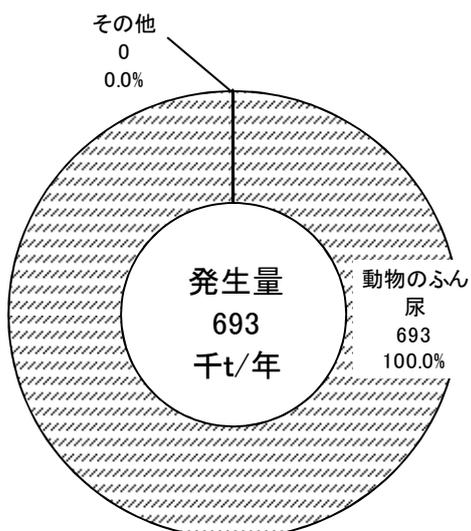


図3-5-1 種類別の発生量
＜農業，林業＞

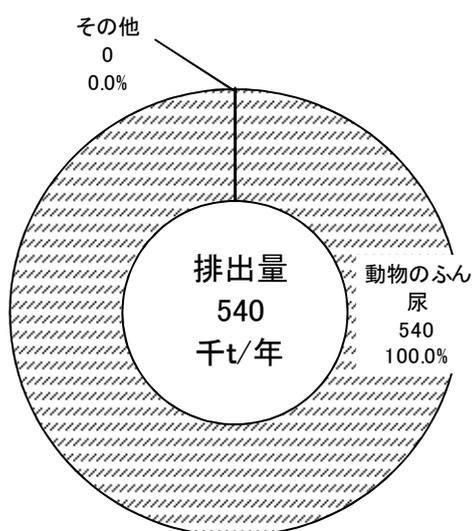


図3-5-2 種類別の排出量
＜農業，林業＞

(2) 処理・処分状況

発生・排出から処理・処分の流れは、図 3-5-3 に示すとおりである。

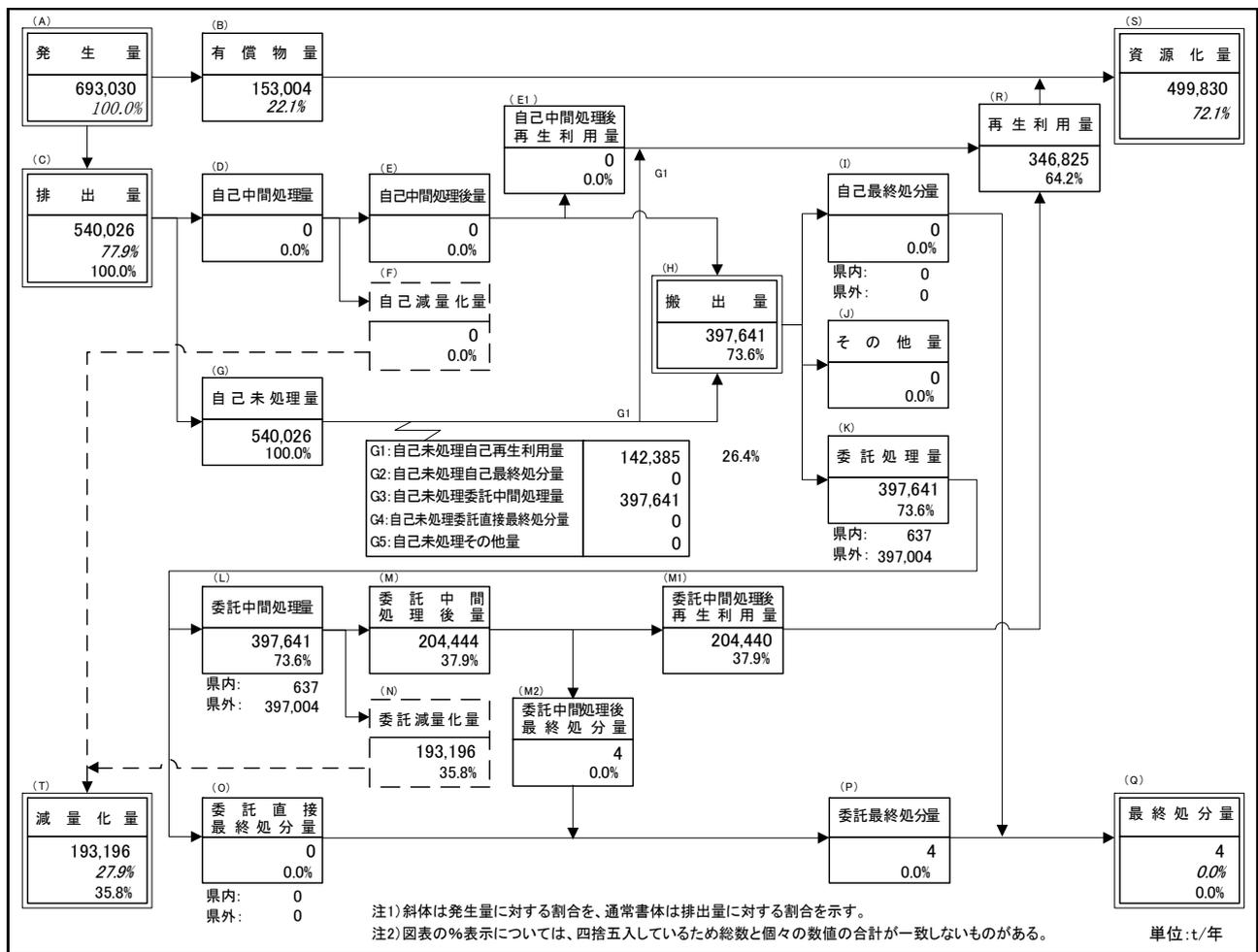


図 3-5-3 発生及び処理・処分状況の流れ図<農業、林業>

2. 鉱業

(1) 種類別の発生・排出状況

鉱業からの発生・排出量は7千トンで、図3-5-4に示すように、全て汚泥が占めている。

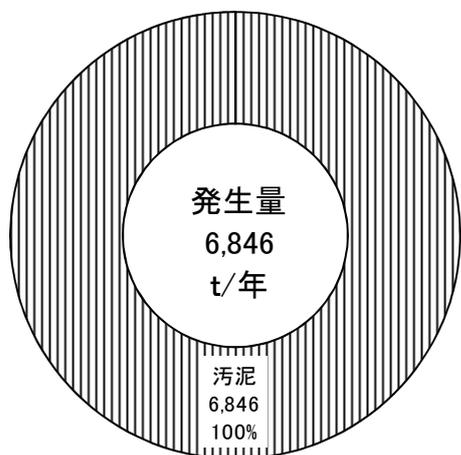


図 3-5-4 種類別の発生量<鉱業>

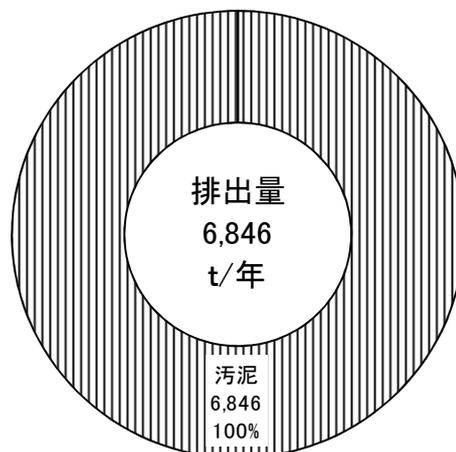


図 3-5-5 種類別の排出量<鉱業>

(2) 処理・処分状況

発生・排出から処理・処分の流れは、図 3-5-6 に示すとおりである。

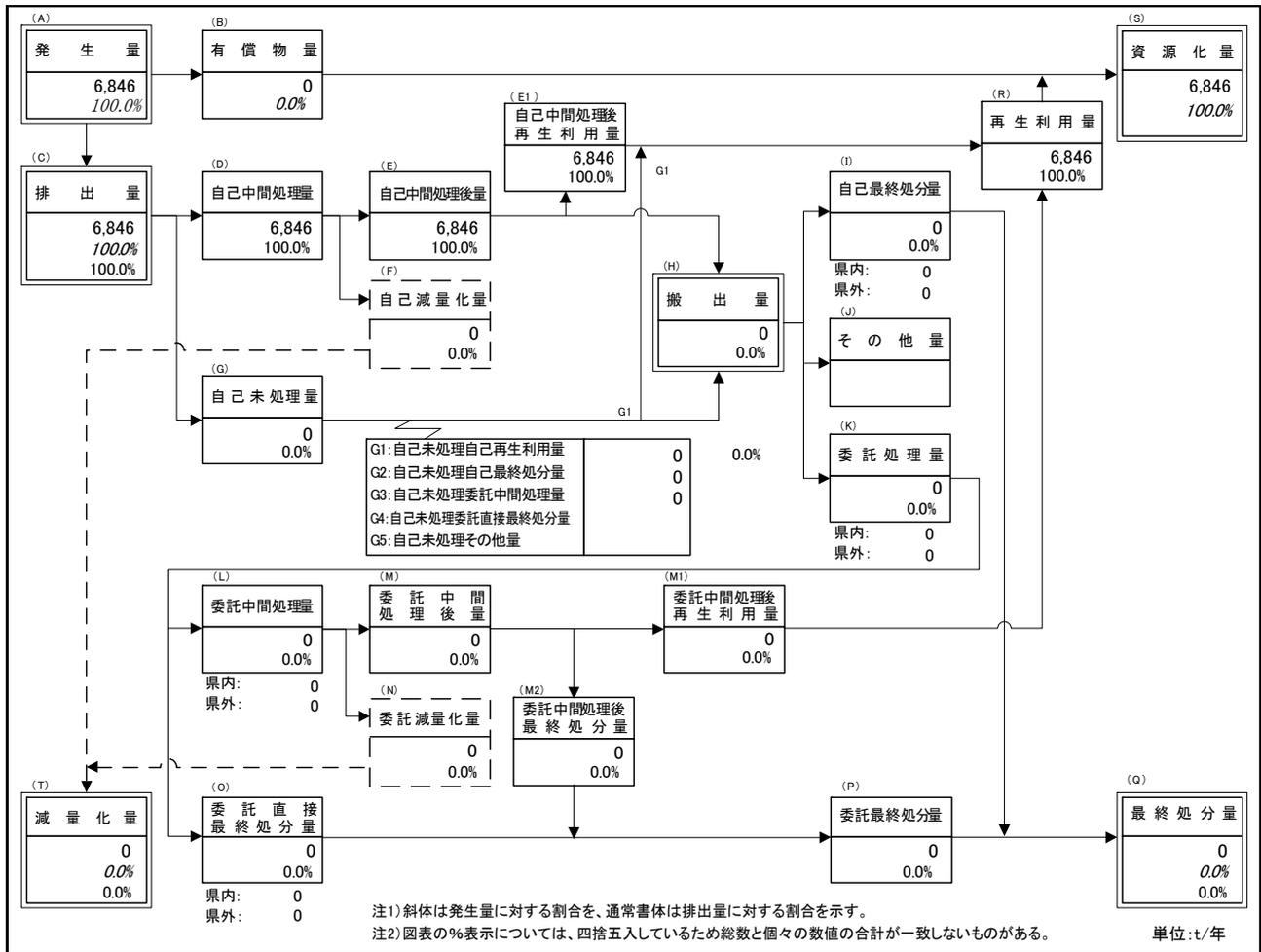


図 3-5-6 発生及び処理・処分状況の流れ図<鉱業>

3. 建設業

(1) 種類別の発生・排出状況

建設業からの発生量は333千トンで、図3-5-7に示すように、がれき類が237千トン(建設業の発生量の71.2%)で最も多く、次いで、木くずが39千トン(同11.8%)、ガラスくず等が22千トン(同6.5%)、金属くずが8千トン(同2.3%)、廃プラ類が5千トン(同1.5%)となっており、これら5種類で発生量の93.4%を占めている。

また、排出量は333千トンで、図3-5-8に示すように、がれき類が237千トン(建設業の排出量の71.2%)で最も多く、次いで、木くずが39千トン(同11.8%)、ガラスくず等が22千トン(同6.5%)、金属くずが8千トン(同2.3%)、廃プラ類が5千トン(同1.5%)となっており、これら5種類で発生量の93.4%を占めている。

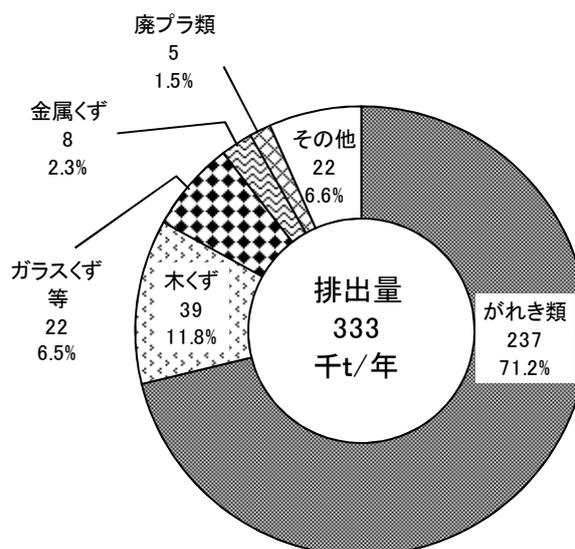
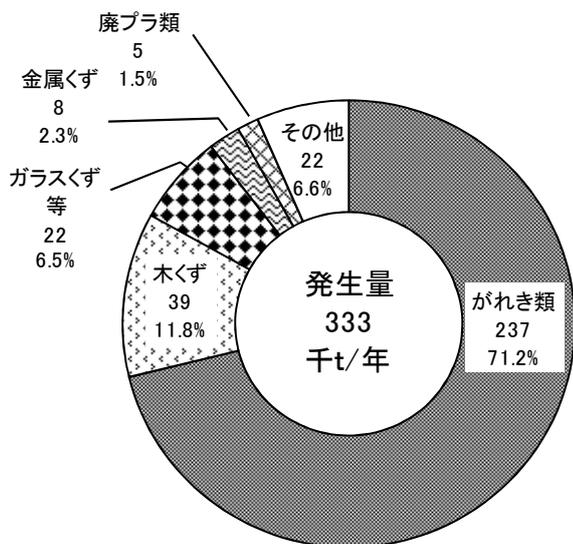
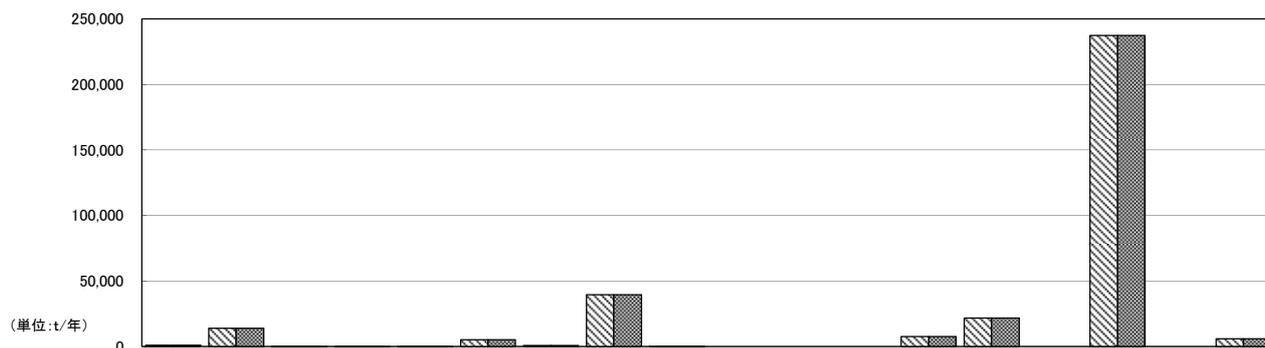


図3-5-7 種類別の発生量<建設業>

図3-5-8 種類別の排出量<建設業>

□発生量 ■排出量



項目	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	鉢さい	がれき類	ばいじん	その他産業廃棄物
発生量	333,391 (100.0%)	954 (0.3%)	13,936 (4.2%)	232 (0.1%)	4 (0.0%)	227 (0.1%)	5,106 (1.5%)	831 (0.2%)	39,473 (11.8%)	151 (0.0%)				7,641 (2.3%)	21,721 (6.5%)		237,350 (71.2%)		5,764 (1.7%)
排出量	333,386 (100.0%)	954 (0.3%)	13,936 (4.2%)	232 (0.1%)	4 (0.0%)	227 (0.1%)	5,106 (1.5%)	831 (0.2%)	39,473 (11.8%)	151 (0.0%)				7,636 (2.3%)	21,721 (6.5%)		237,350 (71.2%)		5,764 (1.7%)

図3-5-9 種類別の発生量及び排出量<建設業>

(2) 処理・処分状況

発生・排出から処理・処分の流れは、図 3-5-10 に示すとおりである。

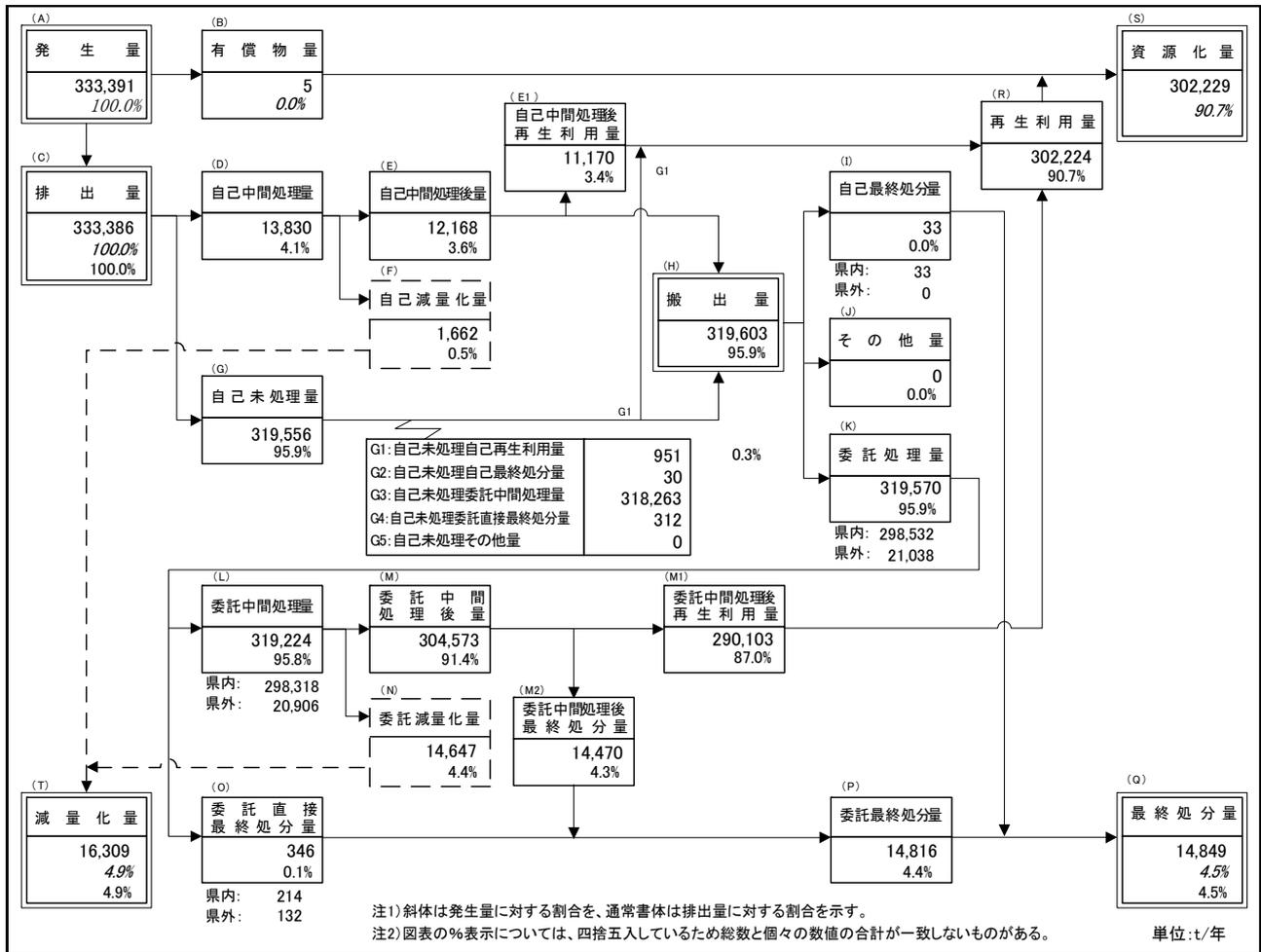


図 3-5-10 発生及び処理・処分状況の流れ図<建設業>

4. 製造業

(1) 種類別の発生・排出状況

製造業からの発生量は195千トンで、図3-5-11に示すように、汚泥が97千トン（製造業の発生量の49.9%）で最も多く、次いでばいじんが29千トン（同14.7%）、金属くずが19千トン（同10.0%）、木くずが13千トン（同6.4%）、がれき類が10千トン（同5.2%）、鉱さいが10千トン（5.1%）となっており、これら6種類で発生量の91.3%を占めている。

また、排出量は176千トンで、図3-5-12に示すように、汚泥が97千トン（製造業の排出量の55.3%）で最も多く、次いでばいじんが29千トン（同16.3%）、木くずが13千トン（同7.1%）、がれき類が10千トン（同5.7%）、鉱さいが10千トン（5.6%）となっており、これら6種類で排出量の90.0%を占めている。

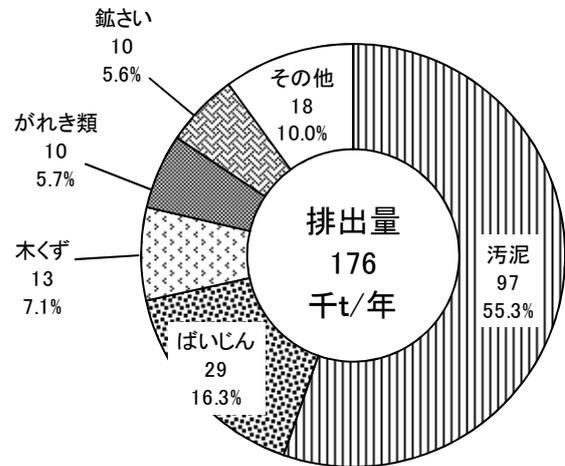
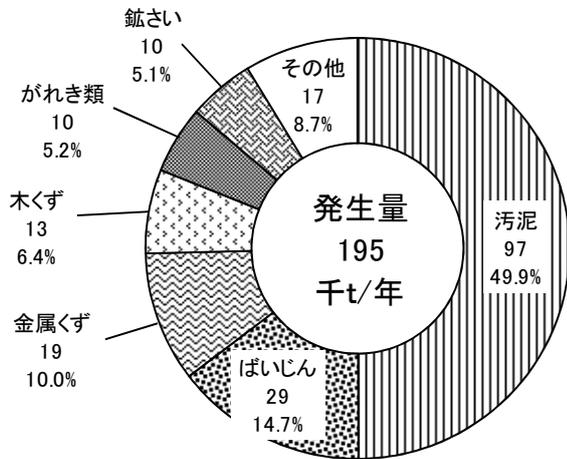


図 3-5-11 種類別の発生量＜製造業＞

図 3-5-12 種類別の排出量＜製造業＞

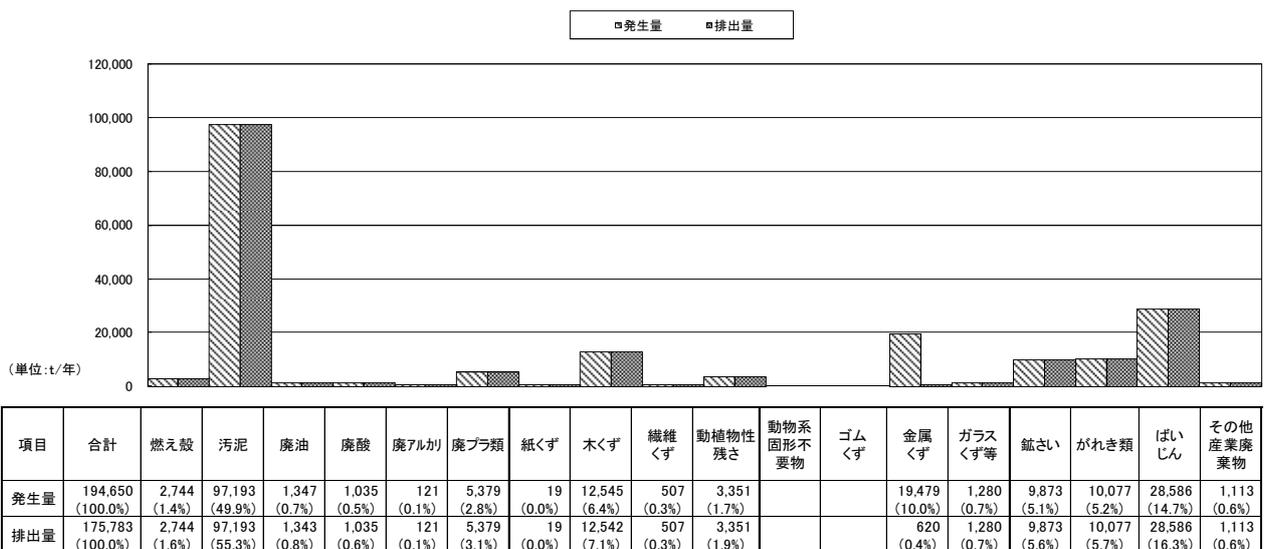


図 3-5-13 種類別の発生量及び排出量＜製造業＞

(2) 業種中分類別の発生・排出状況

製造業における発生量を業種中分類別にみると、図 3-5-14 に示すように、パルプ・紙が 100 千トン(製造業の発生量の 51.6%)で最も多く、次いで、窯業・土石が 24 千トン(同 12.3%)、鉄鋼が 13 千トン(同 6.8%)、食料品が 13 千トン(同 6.6%)、木材が 12 千トン(同 6.4%)、電気機器が 12 千トン(同 6.0%)、輸送機器が 8 千トン(同 3.9%) 等となっており、これら 6 業種で発生量の 93.6%を占めている。

また、排出量を業種中分類別にみると、図 3-5-15 に示すように、パルプ・紙が 94 千トン(製造業の排出量の 53.6%)で最も多く、次いで窯業・土石が 24 千トン(同 13.6%)、食料品が 13 千トン(同 7.3%)、木材が 12 千トン(同 7.1%)、電気機器が 10 千トン(同 5.9%)、鉄鋼が 10 千トン(同 5.7%) 等となっており、これら 6 業種で排出量の 93.2%を占めている。

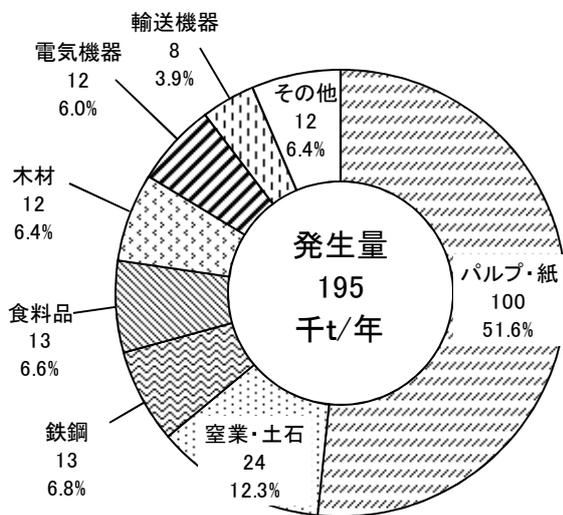


図 3-5-14 業種別の発生量<製造業>

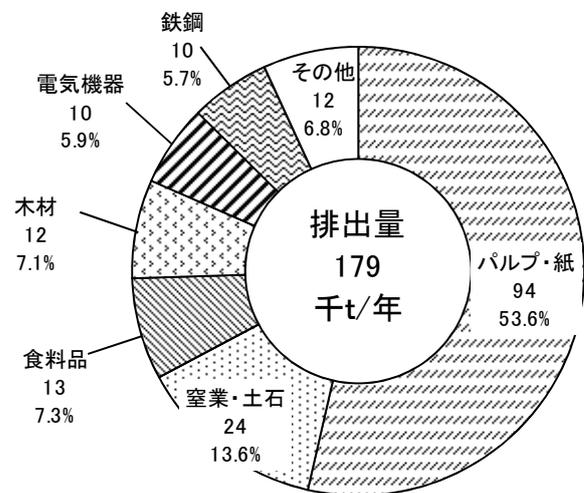


図 3-5-15 業種別の排出量<製造業>

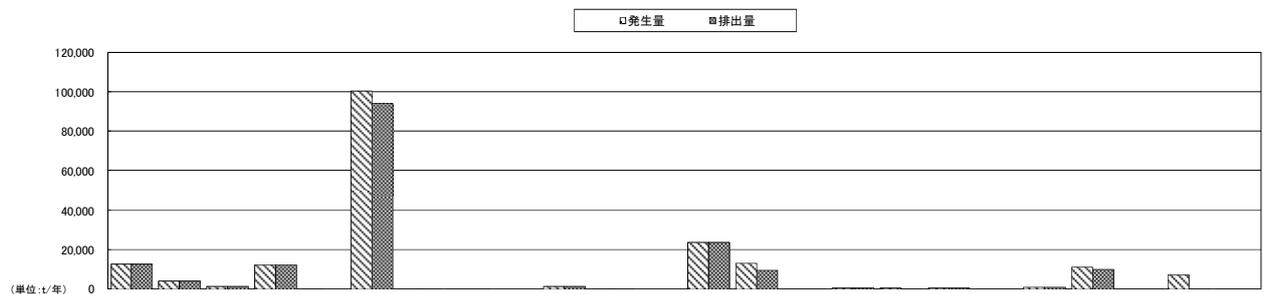


図 3-5-16 業種中分類別の発生量及び排出量<製造業>

(3) 処理・処分状況

発生・排出から処理・処分の流れは、図 3-5-17 に示すとおりである。

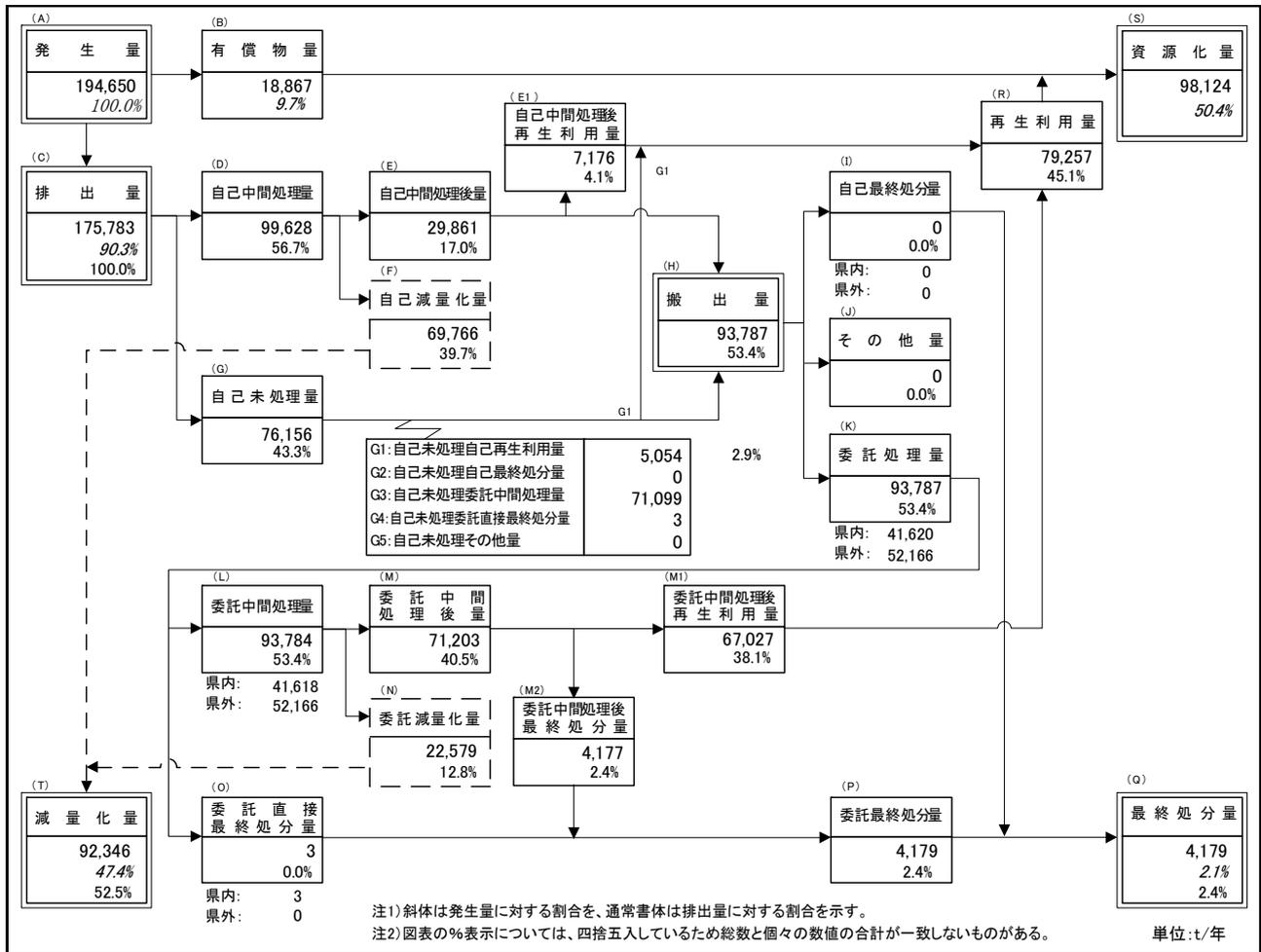


図 3-5-17 発生及び処理・処分状況の流れ図<製造業>

5. 電気・水道業

(1) 種類別の発生・排出状況

電気・水道業からの発生量・排出量は26千トンで、図3-5-18に示すように、汚泥が26千トンで最も多く、大部分（電気水道業の発生量・排出量の98.5%）を占めている。

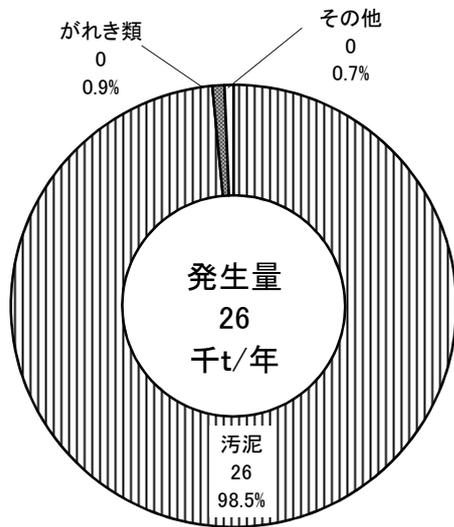


図 3-5-18 種類別の発生量
＜電気・水道業＞

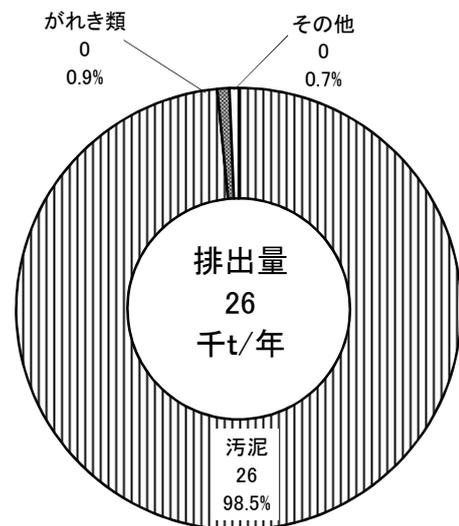


図 3-5-19 種類別の排出量
＜電気・水道業＞

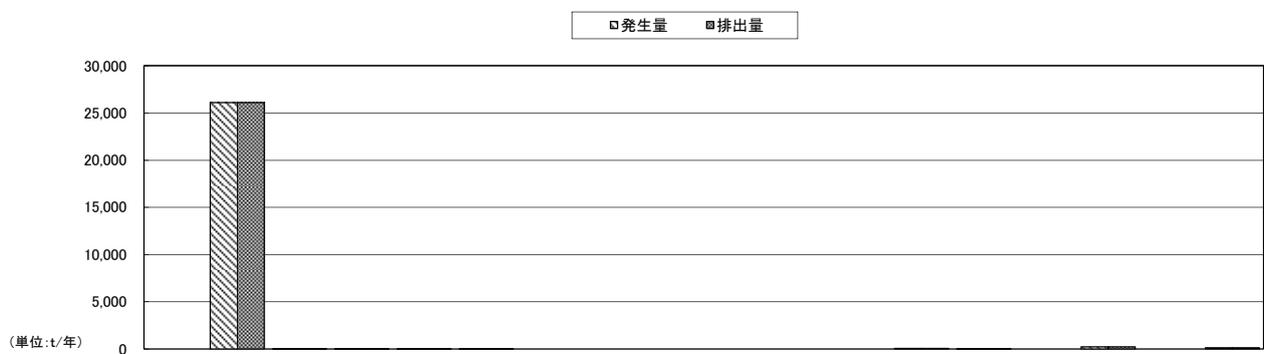


図 3-5-20 種類別の発生量及び排出量＜電気・水道業＞

6. 情報通信業

(1) 種類別の発生・排出状況

情報通信業からの発生量・排出量は2,172トンで、図3-5-22、23に示すように、がれき類が1,667トン（情報通信業の発生量・排出量の76.8%）で最も多く、次いで、廃プラ類が134トン（同6.1%）、となっており、これら2種類で82.9%を占めている。

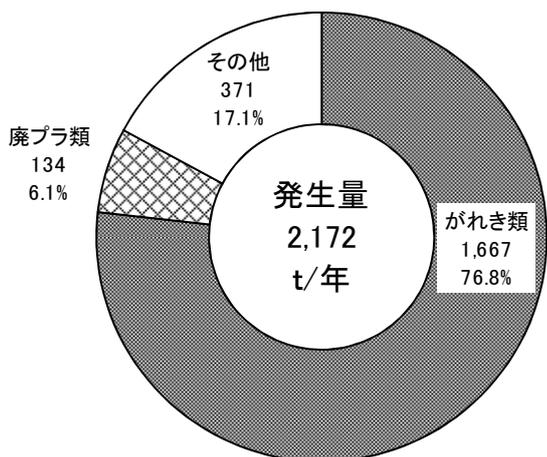


図 3-5-22 種類別の発生量
＜情報通信業＞

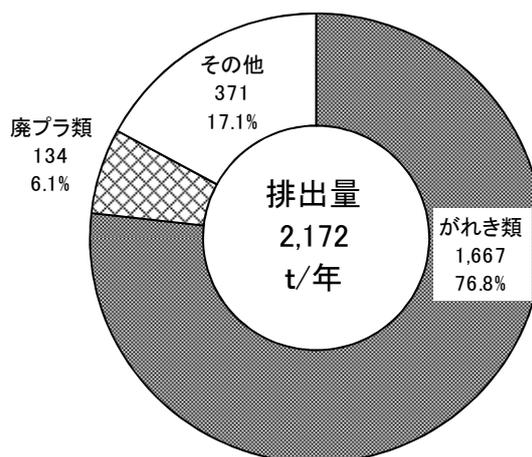


図 3-5-23 種類別の排出量
＜情報通信業＞

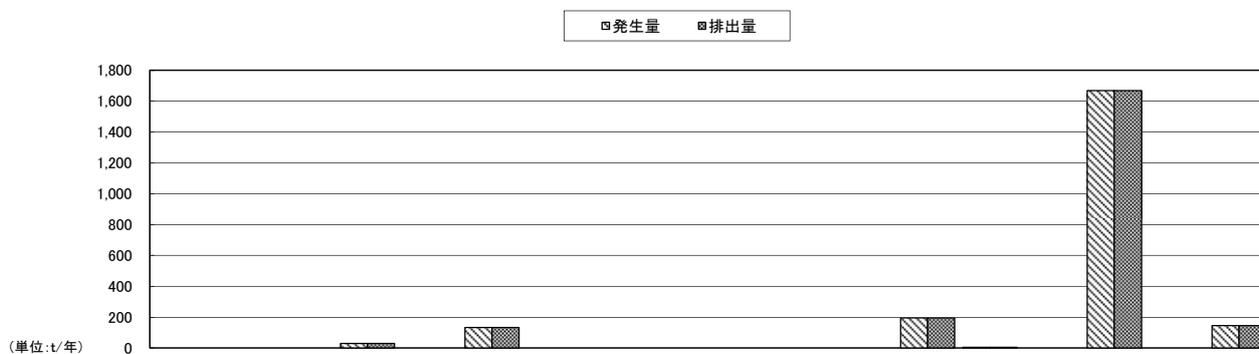


図 3-5-24 種類別の発生量及び排出量＜情報通信業＞

(2) 処理・処分状況

発生・排出から処理・処分の流れは、図 3-5-25 に示すとおりである。

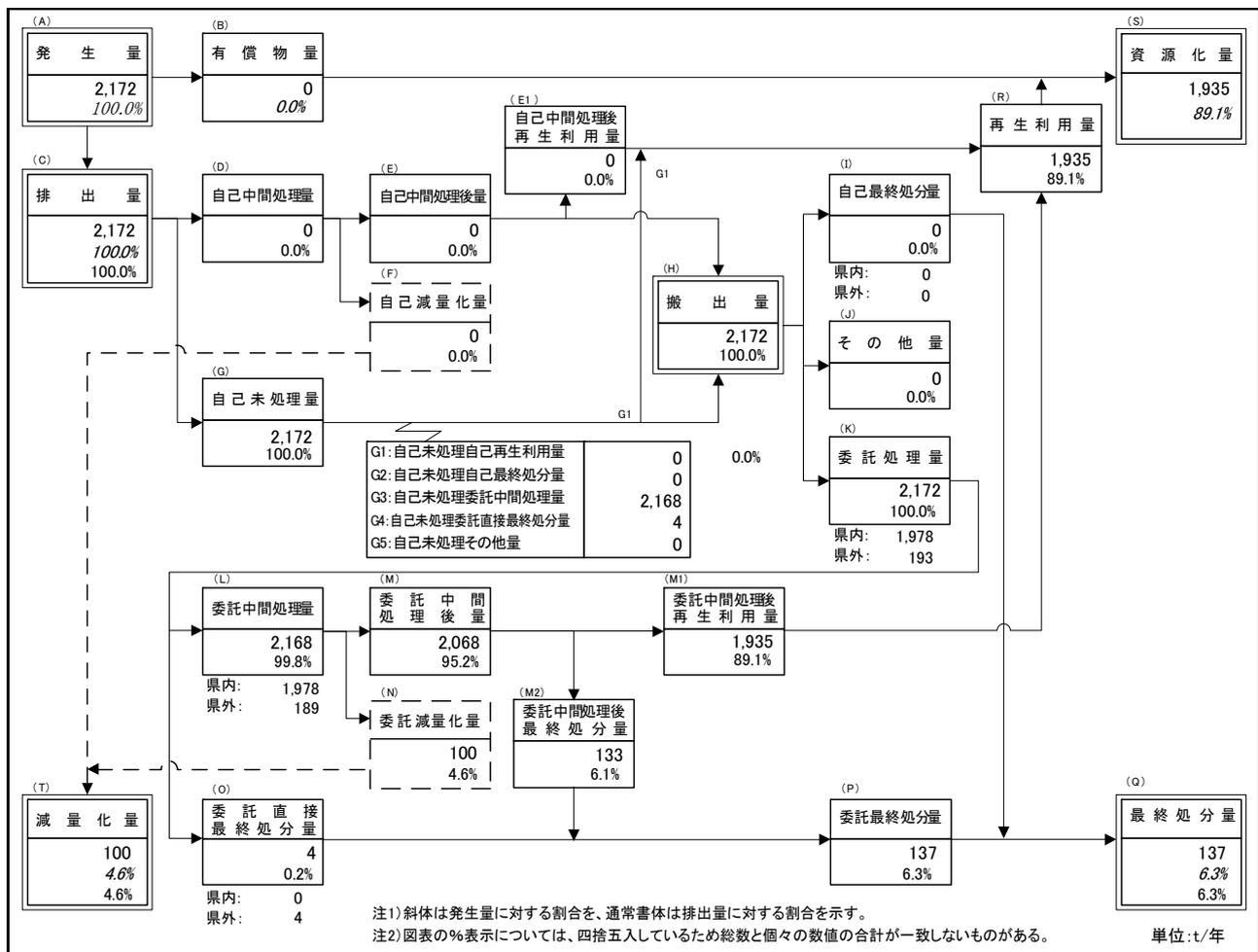


図 3-5-25 発生及び処理・処分状況の流れ図<情報通信業>

7. 卸売、小売業

(1) 種類別の発生・排出状況

卸売、小売業からの発生・排出量は11,030トンで、図3-5-26に示すように、その他産業廃棄物が6,778トン(卸売、小売業の発生量の61.4%)で最も多く、次いで木くずが2,497トン(同22.6%)、廃プラ類が1,347トン(同12.2%)となっており、これら3種類で発生量の96.3%を占めている。

なお、その他産業廃棄物とは、主に混合廃棄物の事である。

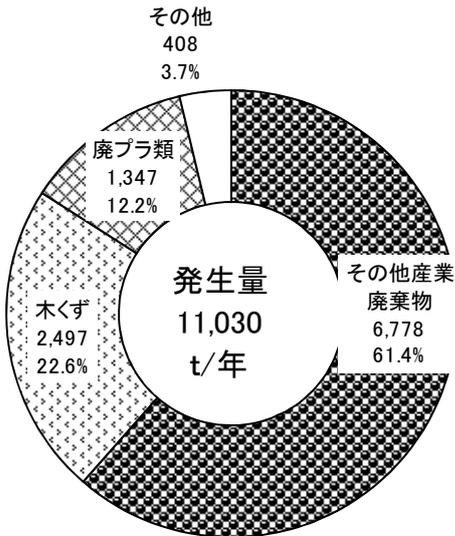


図 3-5-26 種類別の発生量
＜卸売、小売業＞

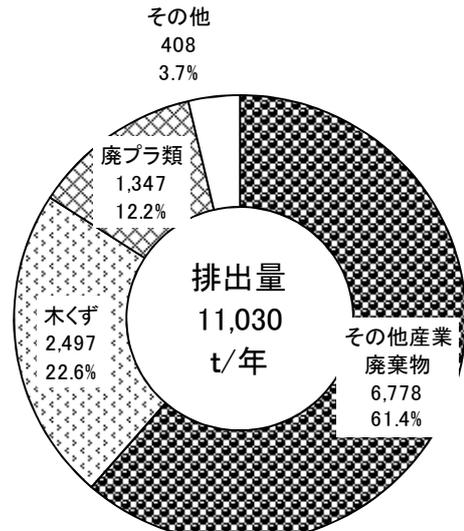


図 3-5-27 種類別の排出量
＜卸売、小売業＞

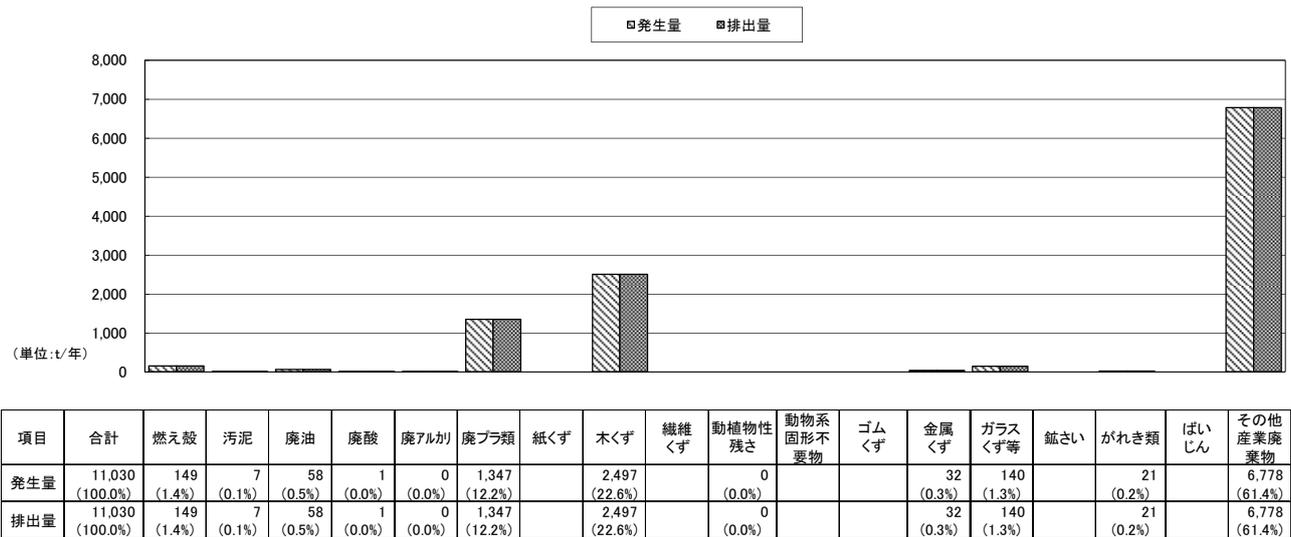


図 3-5-28 種類別の発生量及び排出量＜卸売、小売業＞

(2) 処理・処分状況

発生・排出から処理・処分の流れは、図 3-5-29 に示すとおりである。

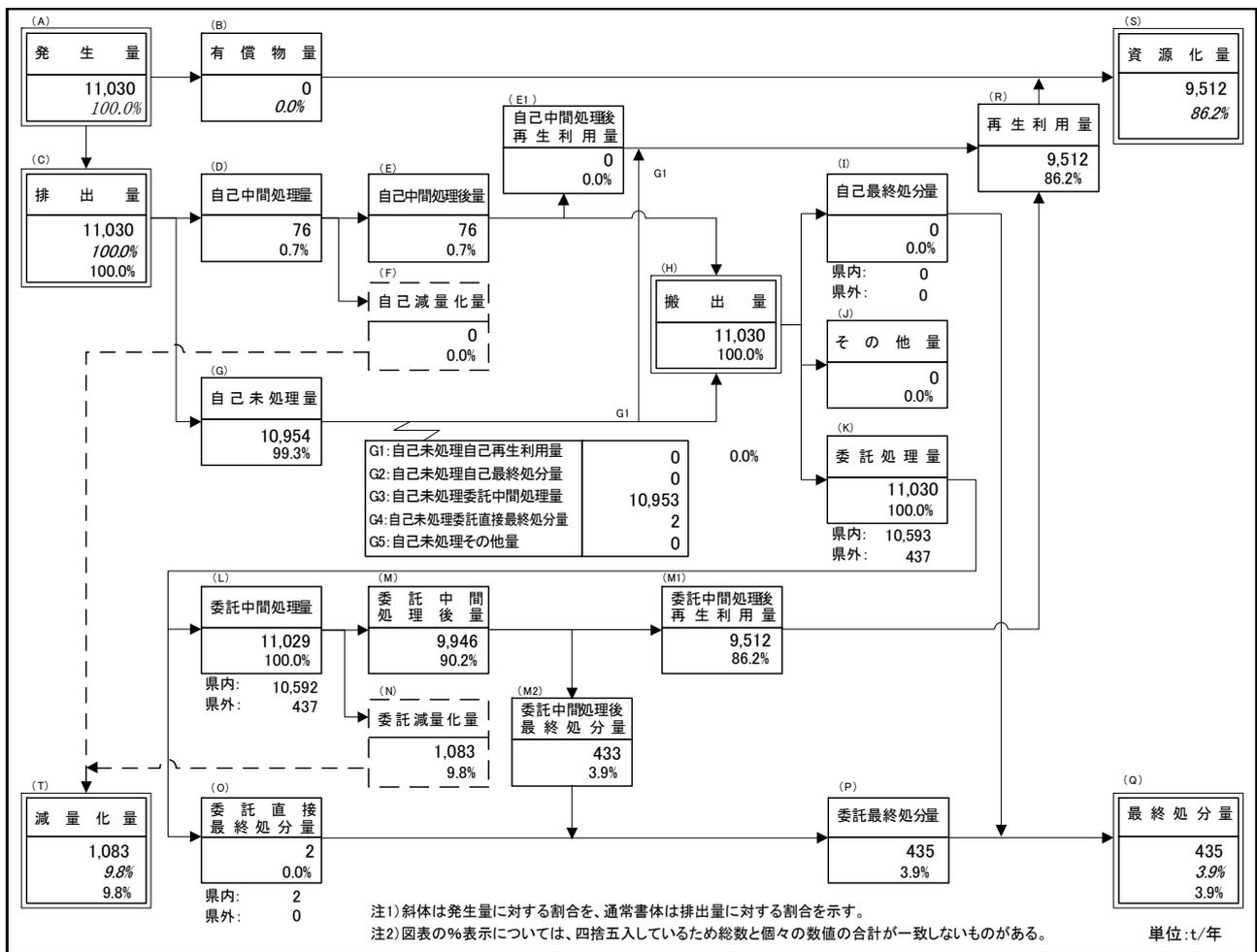


図 3-5-29 発生及び処理・処分状況の流れ図<卸売, 小売業>

8. 医療、福祉

(1) 種類別の発生・排出状況

医療、福祉からの発生量・排出量は4,641トンで、図3-5-30、31に示すように、その他産業廃棄物が2,915トン(医療、福祉の発生量・排出量の62.8%)で最も多く、次いで、廃プラ類が1,243トン(同26.8%)となっており、これら2種類で89.6%を占めている。

なお、その他産業廃棄物とは、主に病院等から排出される感染性産業廃棄物である。

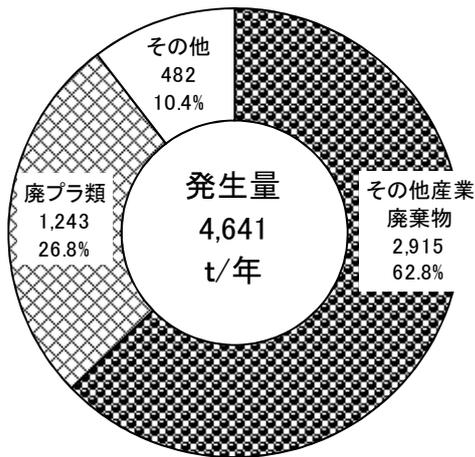


図 3-5-30 種類別の発生量
＜医療、福祉＞

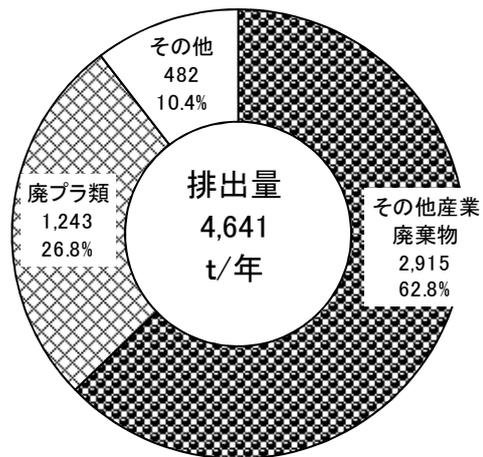


図 3-5-31 種類別の排出量
＜医療、福祉＞

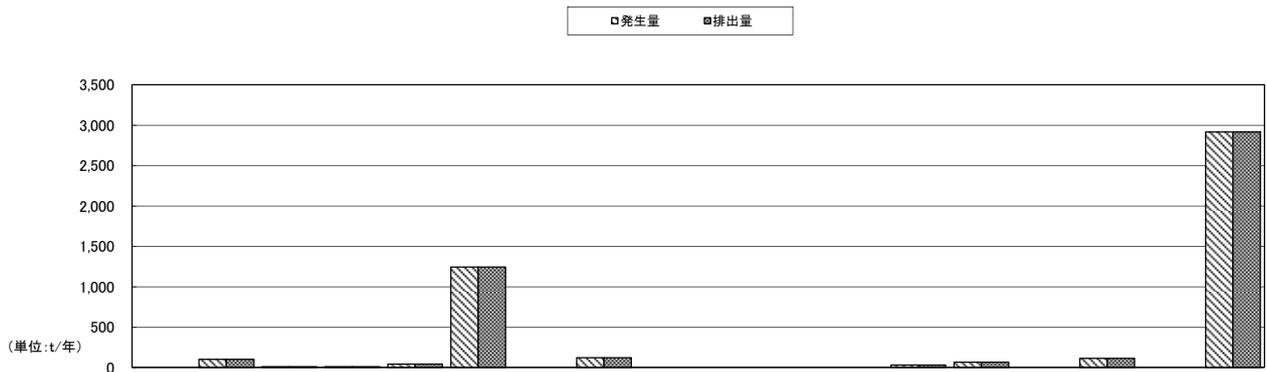


図 3-5-32 種類別の発生量及び排出量＜医療、福祉＞

(2) 処理・処分状況

発生・排出から処理・処分の流れは、図 3-5-33 に示すとおりである。

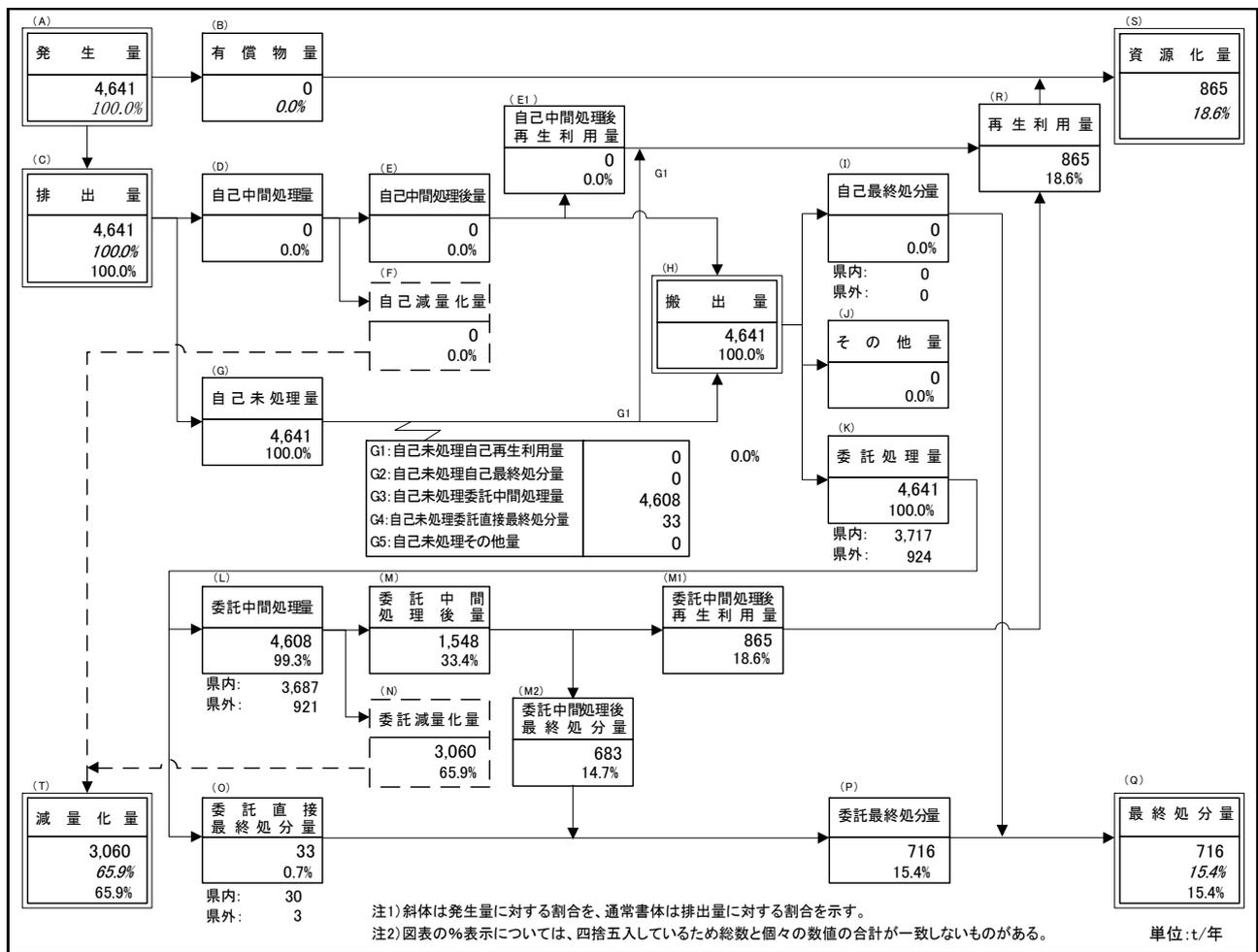


図 3-5-33 発生及び処理・処分状況の流れ図<医療、福祉>

9. サービス業

(1) 種類別の発生・排出状況

サービス業からの発生量・排出量は932トンで、図3-5-34、35に示すように、廃プラ類が380トン(サービス業の発生・排出量の40.8%)で最も多く、次いで、廃油が161トン(同17.2%)、金属くずが144トン(同15.5%)、汚泥が113トン(同12.1%)、その他産業廃棄物が46トン(同4.9%)となっており、これら5種類で90.6%を占めている。

なお、その他産業廃棄物とは、主に混合廃棄物の事である。

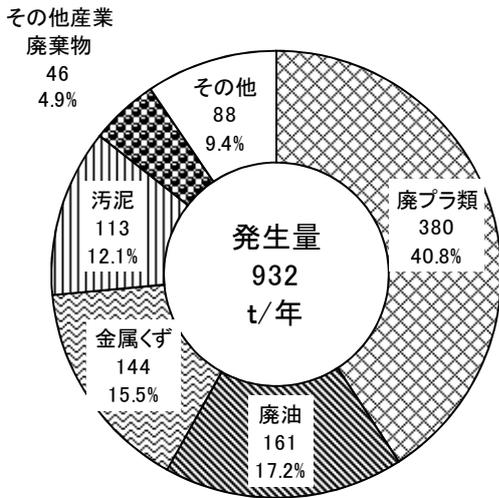


図 3-5-34 種類別の発生量
＜サービス業＞

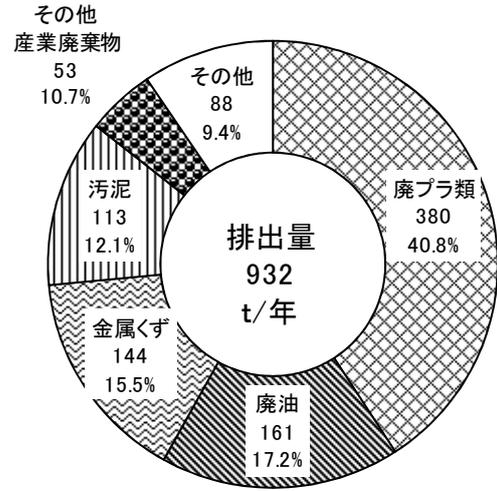


図 3-5-35 種類別の排出量
＜サービス業＞

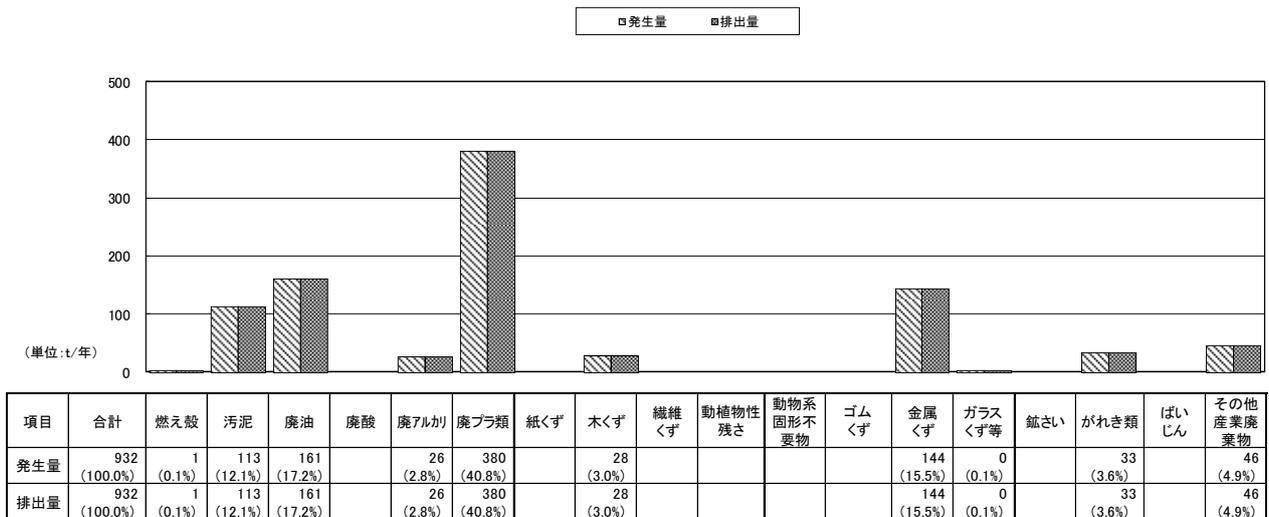


図 3-5-36 種類別の発生量及び排出量＜サービス業＞

10. その他の業種

(1) 種類別の発生・排出状況

その他の業種からの発生・排出量は6,370トンで、図3-5-38、39に示すように、汚泥が1,741トン(その他の業種の発生量・排出量の27.3%)で最も多く、次いで、金属くずが1,427トン(同22.6%)、木くずが920トン(同14.4%)、廃プラ類が898トン(同14.1%)、廃油が530トン(同8.3%)、ガラスくず等が479(同7.5%)トンとなっており、これら6種類で94.3%を占めている。

なお、その他の業種とは、運輸業、金融、保険業、不動産業、専門サービス、宿泊、飲食業、生活サービス、教育、学習業、複合サービス、公務のことである。

また、その他産業廃棄物とは、主に混合廃棄物の事である。

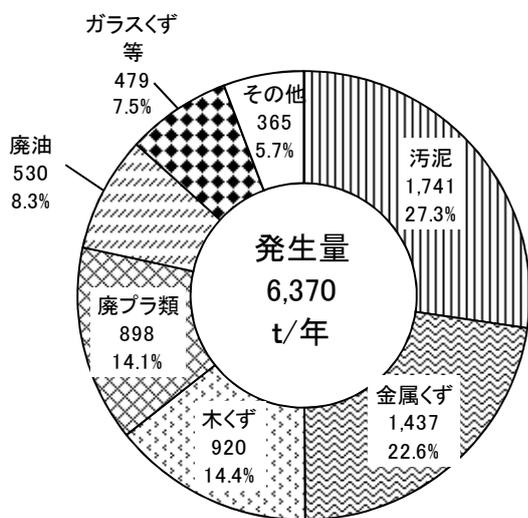


図 3-5-38 種類別の発生量
<その他の業種>

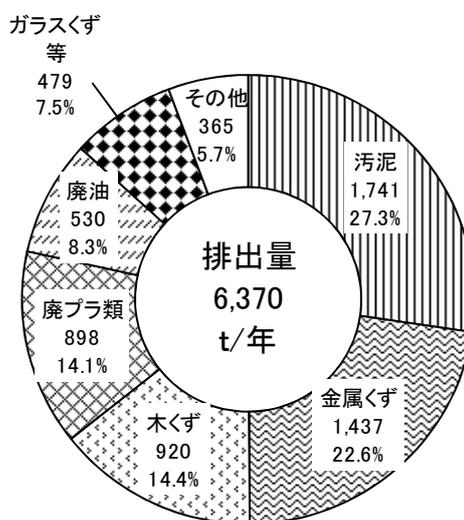
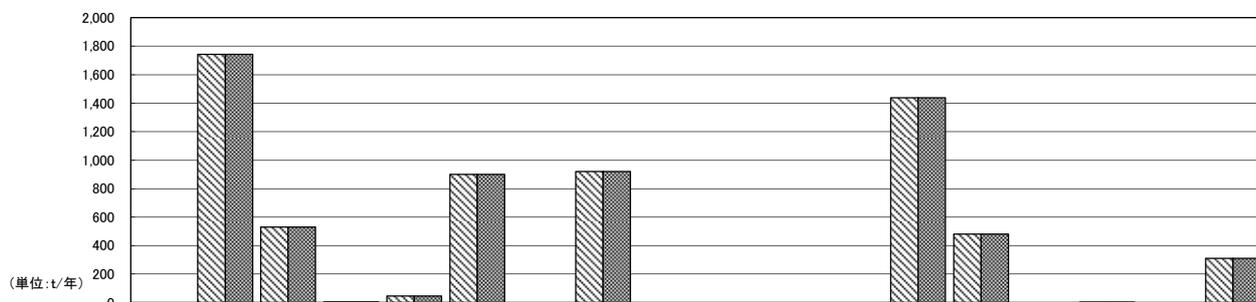


図 3-5-39 種類別の排出量
<その他の業種>

□発生量 □排出量



項目	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	紙くず	木くず	繊維くず	動物植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他産業廃棄物
発生量	6,370 (100.0%)		1,741 (27.3%)	530 (8.3%)	5 (0.1%)	46 (0.7%)	898 (14.1%)		920 (14.4%)					1,437 (22.6%)	479 (7.5%)		2 (0.0%)		311 (4.9%)
排出量	6,370 (100.0%)		1,741 (27.3%)	530 (8.3%)	5 (0.1%)	46 (0.7%)	898 (14.1%)		920 (14.4%)					1,437 (22.6%)	479 (7.5%)		2 (0.0%)		311 (4.9%)

図 3-5-40 種類別の発生量及び排出量 <その他の業種>

(2) 処理・処分状況

発生・排出から処理・処分の流れは、図 3-5-41 に示すとおりである。

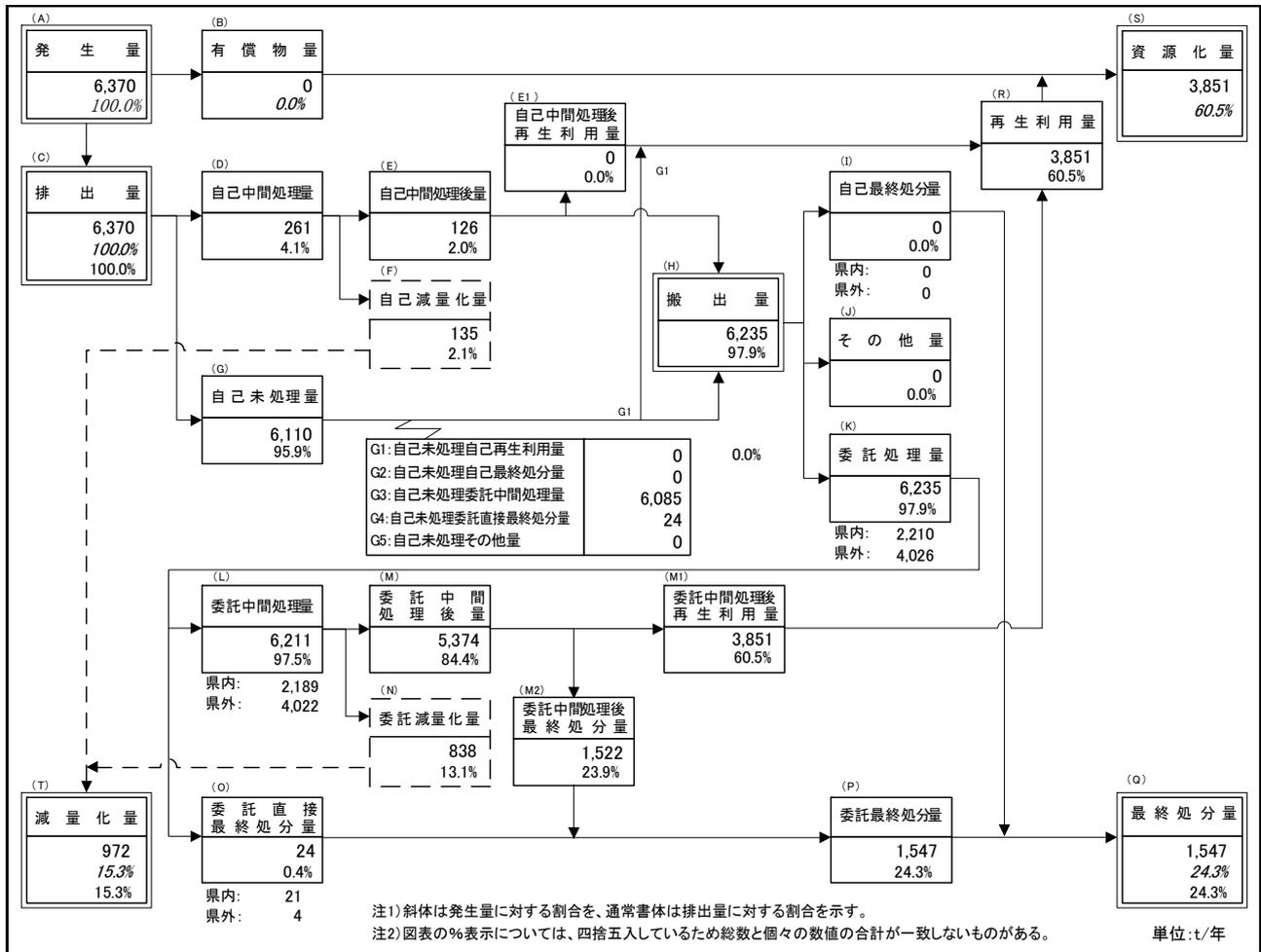


図 3-5-41 発生及び処理・処分状況の流れ図<その他の業種>

第4章 産業廃棄物の推移

第1節 前回調査との比較（第1次産業を除く）

1. 種類別発生・排出状況の比較

種類別発生量を前回調査(平成22年度)と比較すると、図4-1-1~3に示すとおりであり、平成23年度の発生量(587千トン)は、がれき類が30千トン、廃アルカリが15千トン減少し、木くずが16千トン、ガラスくず等が11千トン増加した事で、全体としては29トンの減少となっている。

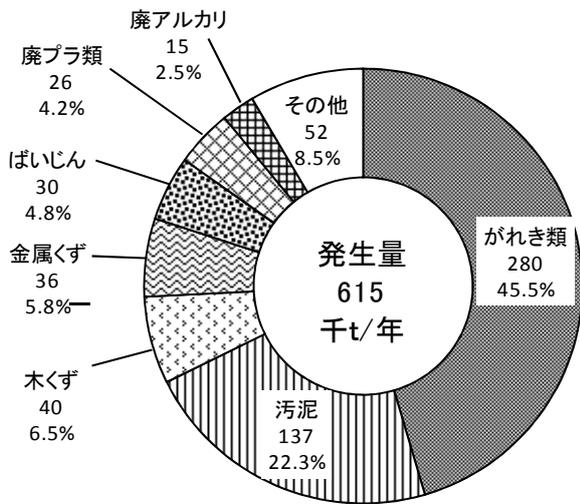


図 4-1-1 種類別の発生量
<平成22年度>

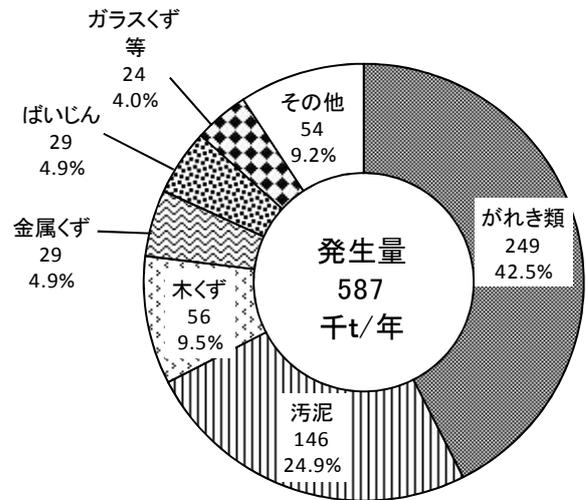
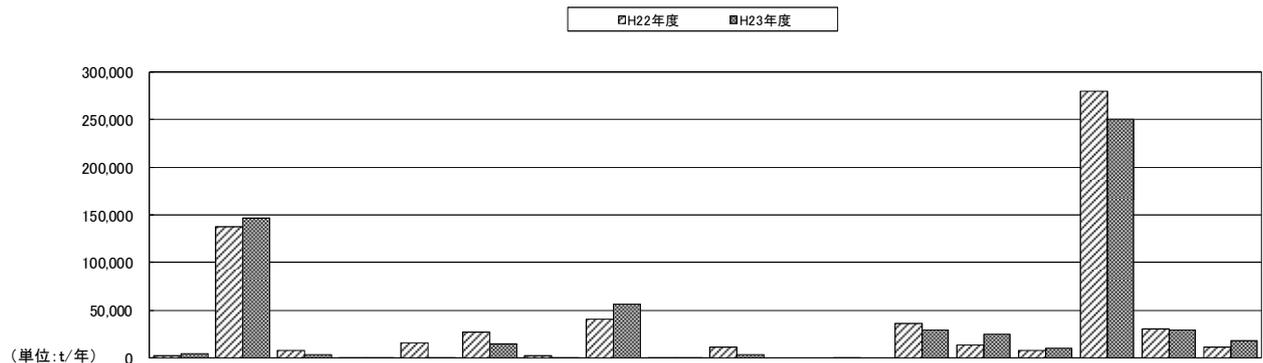


図 4-1-2 種類別の発生量
<平成23年度>



項目	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	鋳さい	がれき類	ばいじん	その他産業廃棄物
H22年度	615,297 (100.0%)	2,254 (0.4%)	136,958 (19.1%)	6,845 (1.0%)	355 (0.5%)	15,086 (2.5%)	26,112 (4.3%)	1,502 (2.8%)	39,964 (7.2%)	143 (0.0%)	10,464 (0.9%)	0 (0.0%)	9 (0.0%)	35,856 (5.6%)	12,597 (2.5%)	6,987 (1.7%)	279,630 (46.3%)	29,643 (3.5%)	10,893 (1.7%)
H23年度	586,566 (100.0%)	3,849 (0.7%)	146,015 (24.9%)	2,341 (0.4%)	1,080 (0.2%)	461 (0.1%)	14,504 (2.5%)	850 (0.1%)	55,631 (9.5%)	658 (0.1%)	3,351 (0.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	29,002 (4.9%)	23,692 (4.0%)	9,873 (1.7%)	249,494 (42.5%)	28,586 (4.9%)	17,180 (2.9%)
増減量	-28,731	1,595	9,057	-4,504	725	-14,625	-11,608	-652	15,667	514	-7,113	0	-9	-6,854	11,095	2,885	-30,136	-1,057	6,287
増減率(%)	-4.7	70.8	6.6	-65.8	204.2	-96.9	-44.5	-43.4	39.2	358.9	-68.0	#DIV/0!	-1.0E+02	-19.1	88.1	41.3	-10.8	-3.6	57.7

図 4-1-3 種類別発生量の比較

種類別排出量を前回調査(平成22年度)と比較すると、図4-1-4~6に示すとおりであり、平成23年度の排出量(568千トン)は、木くずが16千トン、汚泥が14千トン増加し、がれき類が30千トン、廃アルカリが15千トン減少した事で、全体としては15千トンの減少となっている。

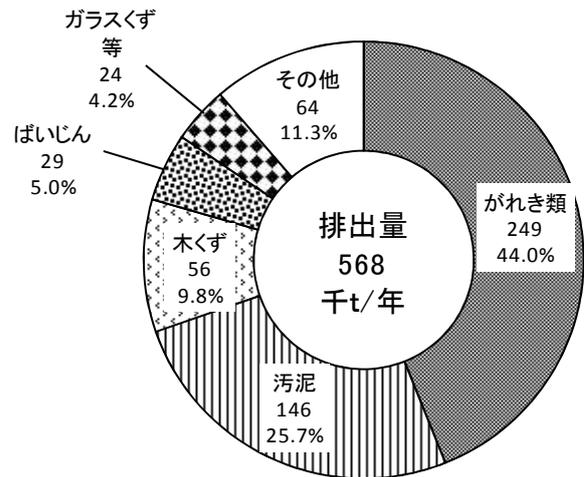
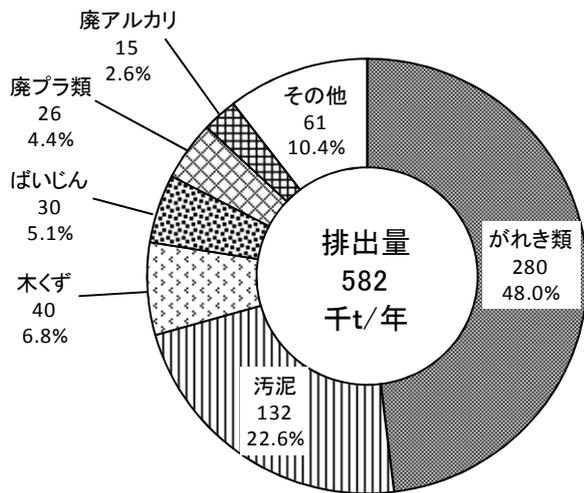


図 4-1-4 種類別の排出量<平成22年度>

図 4-1-5 種類別の排出量<平成23年度>

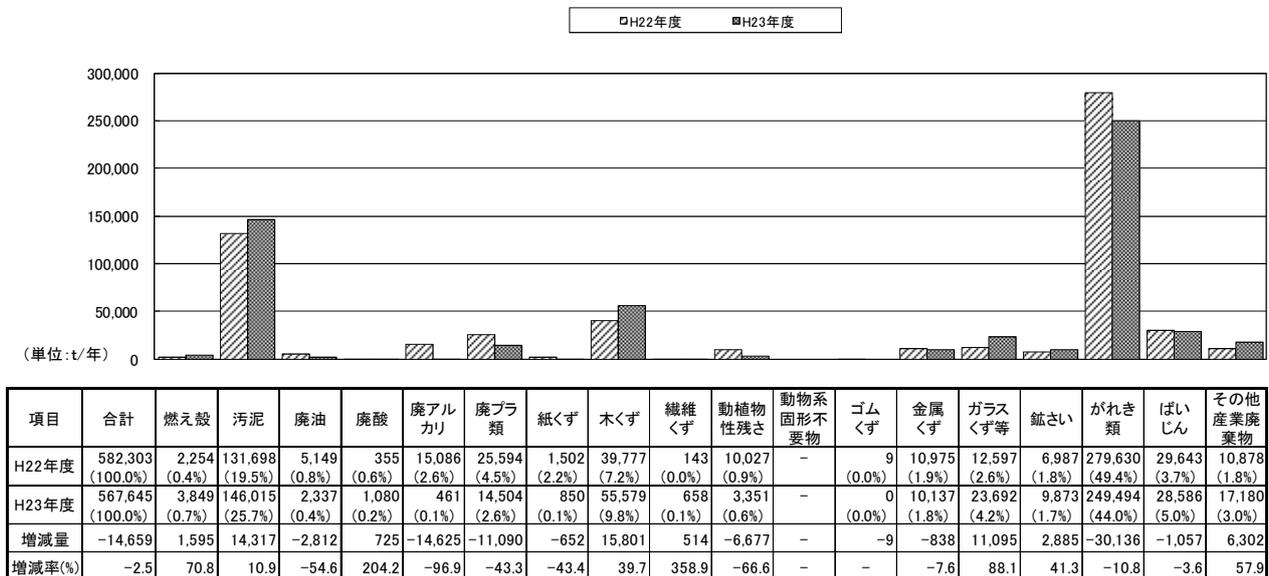


図 4-1-6 種類別排出量の比較

2. 業種別発生・排出状況の比較

業種別発生量を前回調査(平成22年度)と比較すると、図4-1-7～9に示すとおりであり、発生量が増加している業種は、電気・水道業(3千トン)、卸売・小売業(3千トン)と医療、福祉(0.4千トン)、サービス業(0.4千トン)で、他の業種は減少している。

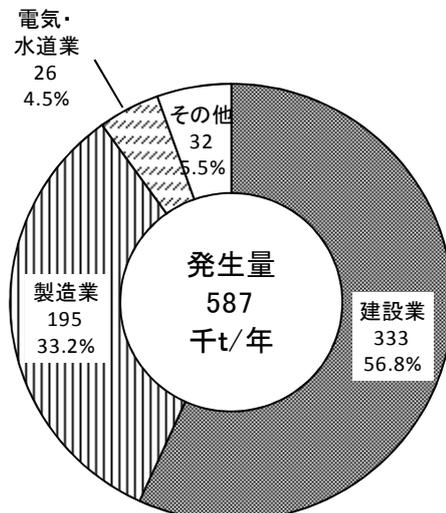
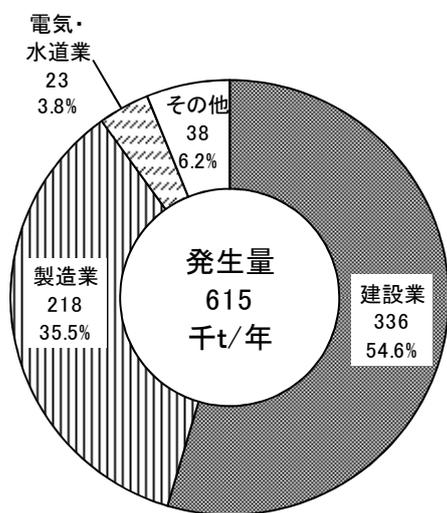


図 4-1-7 業種別の発生量<平成22年度>

図 4-1-8 業種別の発生量<平成23年度>

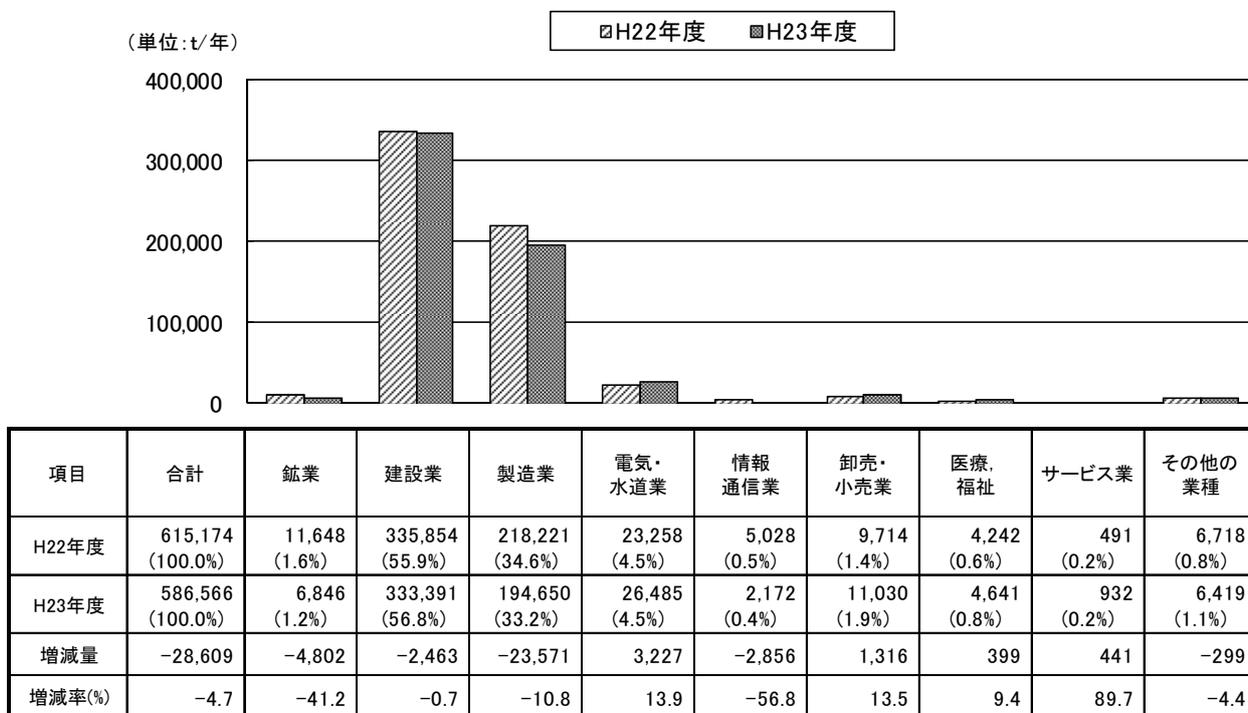


図 4-1-9 業種別発生量の比較

業種別排出量を前回調査(平成 22 年度)と比較すると、図 3-1-10~12 に示すとおりであり、排出量が減少している業種は、建設業 (2 千トン)、製造業 (15 千トン)、情報通信業 (3 千トン) で、他の業種は増加しているが、全体としては先述の様に 11 千トンの減少となっている。

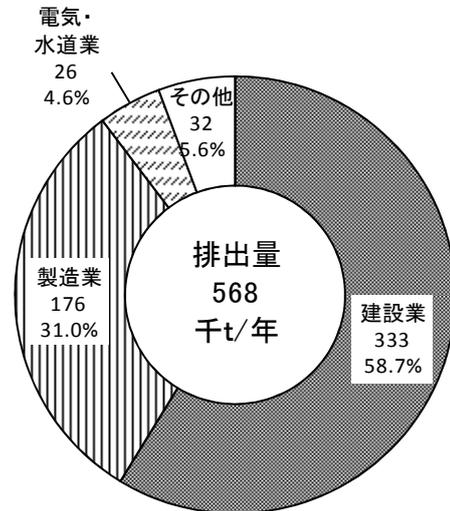
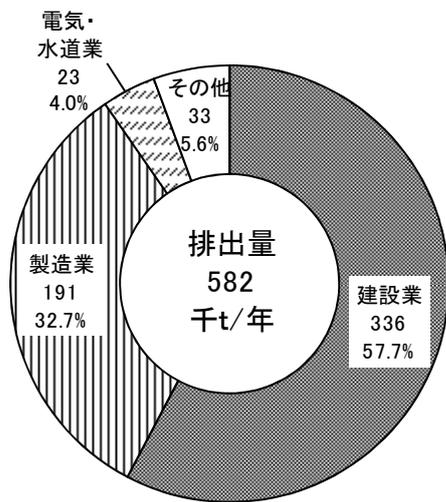
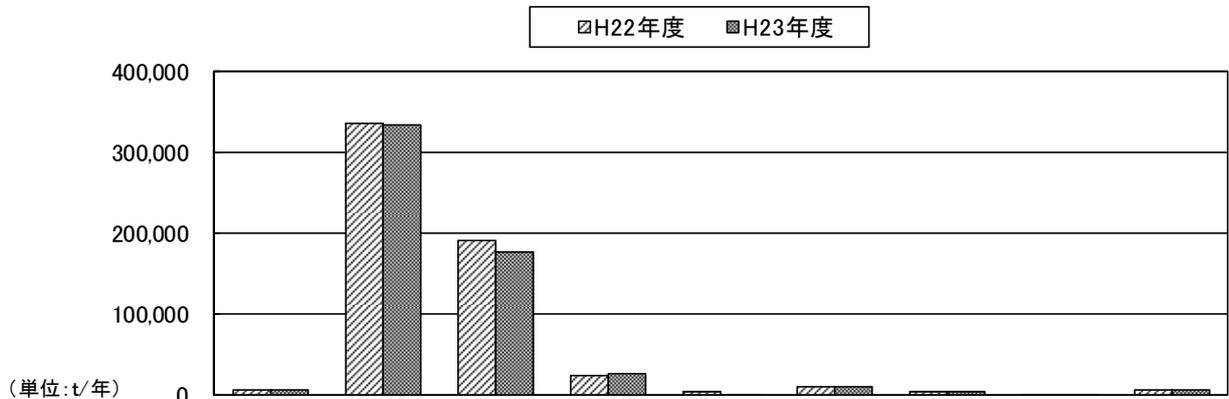


図 4-1-10 業種別の排出量<平成 22 年度> 図 4-1-11 業種別の排出量<平成 23 年度>



項目	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	卸売・小売業	医療・福祉	サービス業	その他の業種
H22年度	582,181 (100.0%)	6,388 (0.7%)	335,850 (59.6%)	190,517 (31.1%)	23,258 (4.8%)	5,028 (0.6%)	9,689 (1.4%)	4,242 (0.6%)	491 (0.2%)	6,718 (0.9%)
H23年度	567,645 (100.0%)	6,846 (1.2%)	333,386 (58.7%)	175,783 (31.0%)	26,485 (4.7%)	2,172 (0.4%)	11,030 (1.9%)	4,641 (0.8%)	932 (0.2%)	6,370 (1.1%)
増減量	-14,536	458	-2,464	-14,734	3,227	-2,856	1,341	399	441	-348
増減率(%)	-2.5	7.2	-0.7	-7.7	13.9	-56.8	13.8	9.4	89.7	-5.2

図 4-1-12 業種別排出量の比較

3. 地域別発生・排出状況の比較

地域別発生量を前回調査(平成22年度)と比較すると、図4-1-13～15に示すとおりであり、全地域で2千トン～15千トン減少している。

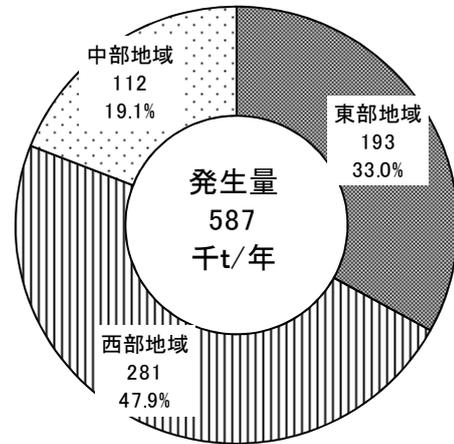
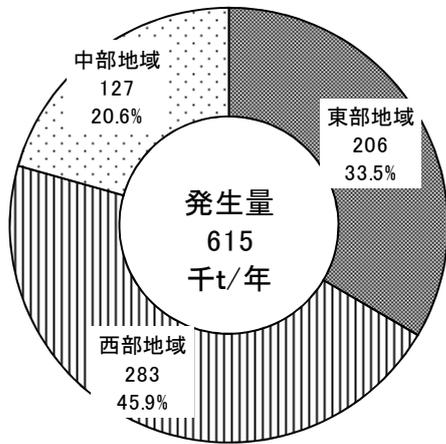
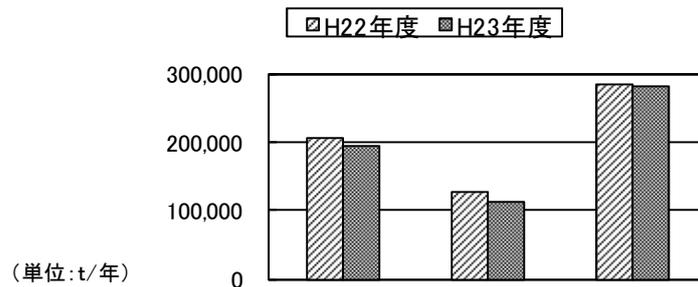


図4-1-13 地域別の発生量＜平成22年度＞ 図4-1-14 地域別の発生量＜平成23年度＞



項目	合計	東部地域	中部地域	西部地域
H22年度	615,174 (100.0%)	205,814 (33.4%)	126,696 (16.9%)	282,665 (44.7%)
H23年度	586,517 (100.0%)	193,481 (33.0%)	112,120 (19.1%)	280,916 (47.9%)
増減量	-28,658	-12,333	-14,576	-1,749
増減率(%)	-4.7	-6.0	-11.5	-0.6

図4-1-15 地域別発生量の比較

排出量を前回調査(平成22年度)と比較すると、図4-1-16～18に示すとおりであり、西部地域は5千トン増加しているが、東部地域、中部地域はそれぞれ9千トン、11千トン減少している。

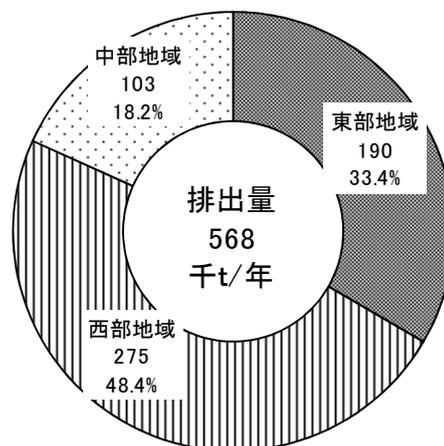
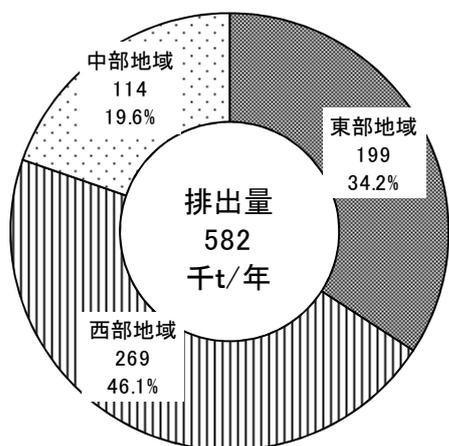
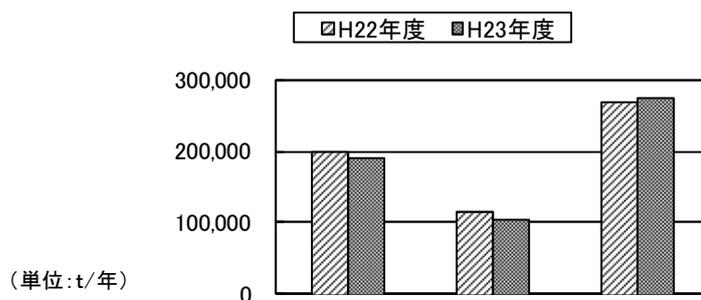


図4-1-16 地域別の排出量<平成22年度> 図4-1-17 地域別の排出量<平成23年度>



項目	合計	東部地域	中部地域	西部地域
H22年度	582,181 (100.0%)	199,170 (39.8%)	114,360 (15.3%)	268,651 (44.9%)
H23年度	567,645 (100.0%)	189,719 (33.4%)	103,355 (18.2%)	274,571 (48.4%)
増減量	-14,536	-9,451	-11,005	5,920
増減率(%)	-2.5	-4.7	-9.6	2.2

図4-1-18 地域別排出量の比較

4. 処理・処分状況の比較

平成23年度の処理・処分状況を前回調査(平成22年度)と比較すると、表4-1-1、図4-1-19に示すとおりであり、平成23年度の排出量は前回に比べ2.5%、再生利用量が3.2%、最終処分量が8.9%減少し、減量化量が1.5%増加している。

これを排出量に対する割合で見ると、再生利用率は75.9%から75.5%へ0.4ポイント、最終処分率は4.4%から4.0%へ0.4ポイント減少し、減量化率は19.7%から20.5%へ0.8ポイント増加している。

表4-1-1 処理・処分状況の比較

(単位：t/年)

項目	H22年度	H23年度	増減量	増減率(%)
発生量	615,174 (100.0%)	586,517 (100.0%)	-28,658	-4.7
有償物量	32,993 (5.4%)	18,872 (3.2%)	-14,121	-42.8
排出量	582,181 (94.6%)	567,645 (96.8%)	-14,536	-2.5
排出量	582,181 (100.0%)	567,645 (100.0%)	-14,536	-2.5
再生利用量	442,036 (75.9%)	428,602 (75.5%)	-13,434	-3.0
減量化量	114,809 (19.7%)	116,474 (20.5%)	1,665	1.5
最終処分量	25,336 (4.4%)	22,558 (4.0%)	-2,777	-11.0

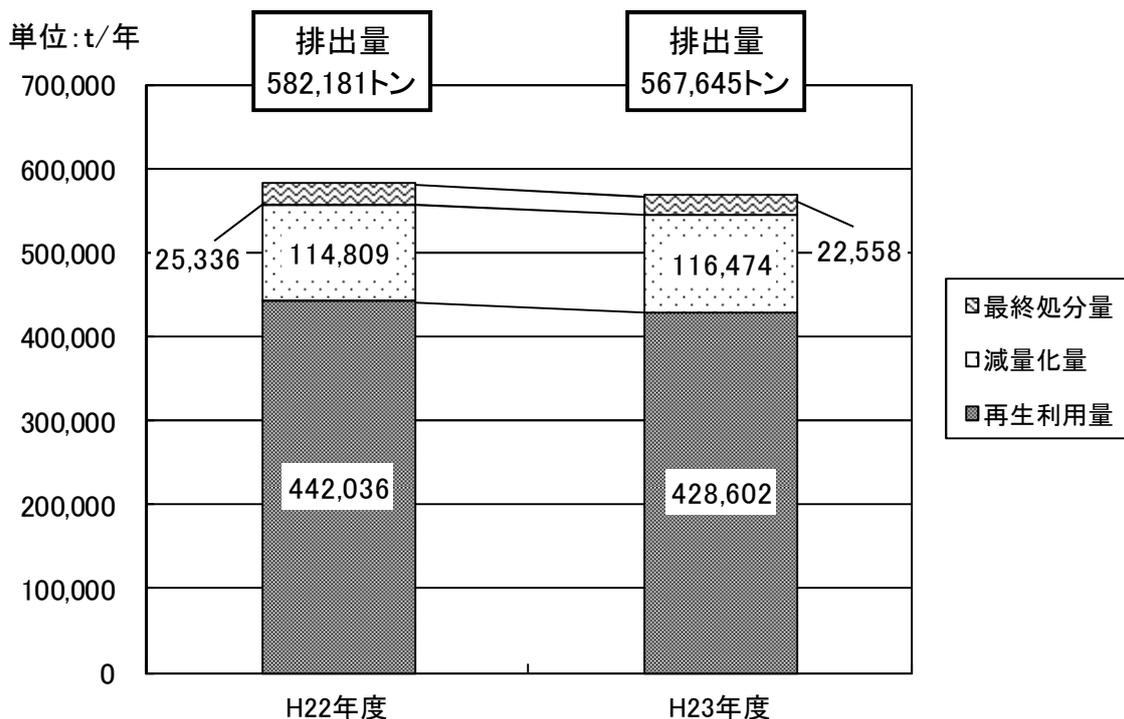


図4-1-19 処理・処分状況の比較

第2節 排出及び処理・処分状況の将来予測（第1次産業を除く）

1. 将来予測の方法

産業廃棄物量の将来予測に当たっては、今後とも「大きな技術革新及び法律上の産業廃棄物の分類に変更がなく、現時点における産業廃棄物の排出状況等と業種ごとの活動量指標との関係は変わらない」とものと仮定して、調査した業種別の母集団（調査対象全体）における将来の活動量指標を用いたC式によって予測することを原則とした。

将来の活動量指標（O''）の予測は、鳥取県経済成長戦略に基づき、潜在成長率として各業種とも0.7%/年での成長とし、戦略的推進分野の業種については更に+0.3%/年の成長を見越して将来予測を行った。

戦略的推進分野については表4-2-1に、各業種の指標値は表4-2-2示すとおりである。

<p style="text-align: center;"> W' : 調査当該年度の推計産業廃棄物量 O'' : 将来年度の母集団の活動量指標 O' : 調査当該年度の母集団の活動量指標 C式 $W'' = \frac{O''}{O'} \times W'$: 将来年度の予測産業廃棄物量 </p>
--

表4-2-1 戦略的推進分野

戦略分野	内 容	対象業種
環境・エネルギー (エコカー・太陽光・リサイクル)	環境・エネルギー（エコカー製造）	輸送機器
	環境・エネルギー（太陽光発電関連産業）	電気機器
	リサイクルビジネス	廃棄物処理業(注.対象外)
バイオ・食品関連産業	食品	食料品
	製薬	化学
次世代デバイス (電機・電子関連産業)	電機・電子	電気機器、電子部品
健康・福祉サービス	美容・健康関連食品（製造業）	その他
	人材派遣	サービス業
まちなかビジネス	小売業	卸売, 小売業
観光ビジネス	飲食業	飲食業
コミュニティビジネス	サービス業	サービス業

表 4-2-2 活動量指標値の出典

業 種	活動量指標値	指標値の出典
(C) 鉱 業	従業者数	「経済センサス基礎調査」
(D) 建設業	元請完成工事高	「建設工事施工統計調査報告」
(E) 製造業	製造品出荷額等	「工業統計調査報告」
(F) 電気・ガス・水道業		
電気・ガス	電力消費量	「エネルギー消費統計」
上水道業	給水人口	「鳥取県の水道の現況」
下水道業	下水道処理人口	「一般廃棄物処理実態調査」
(G) 情報通信業	従業者数	「経済センサス基礎調査」
(H) 運輸業		
(I) 卸売, 小売業		
(J) 金融, 保険業		
(K) 不動産業		
(L) 専門サービス		
(M) 宿泊, 飲食業		
(N) 生活サービス		
(O) 教育, 学習業		
(P) 医療, 福祉 (病院以外)		
(P) 医療, 福祉 (病院)	病床数	
(Q) 複合サービス	従業者数	「経済センサス基礎調査」
(R) サービス業		
(S) 公務	—	(現状維持と設定)

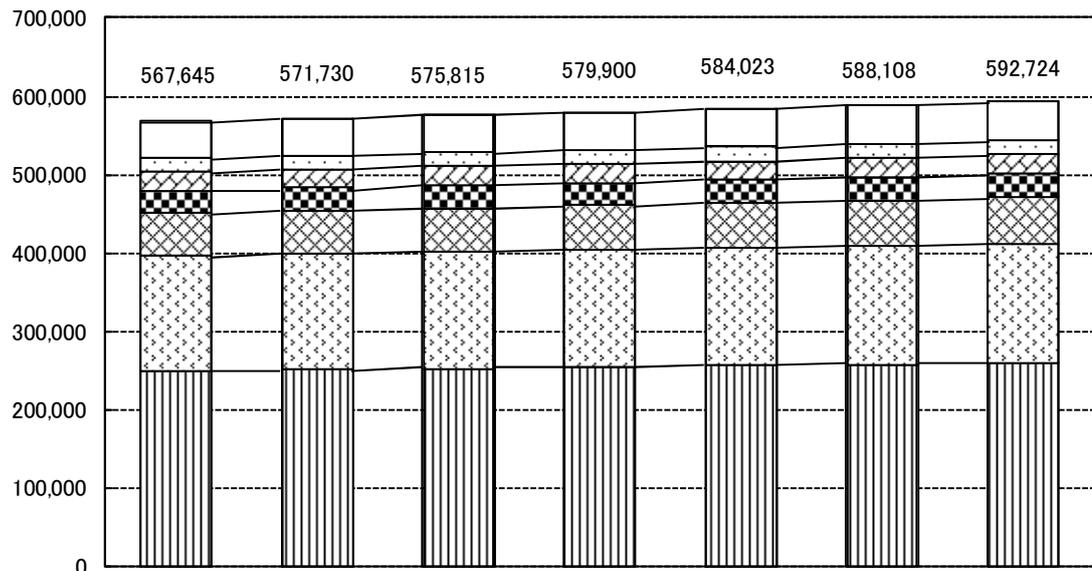
2. 排出量の将来予測

種類別、業種別の将来予測結果は、図 4-2-1、2 に示すとおりである。

各業種とも年 1%近い成長率で推移するため、県全体としても増加傾向で推移し、平成 29 年度の排出量は、平成 23 年度（568 千トン）よりも 25 千トン増加の 593 千トンになると予測される。

(単位:t/年)

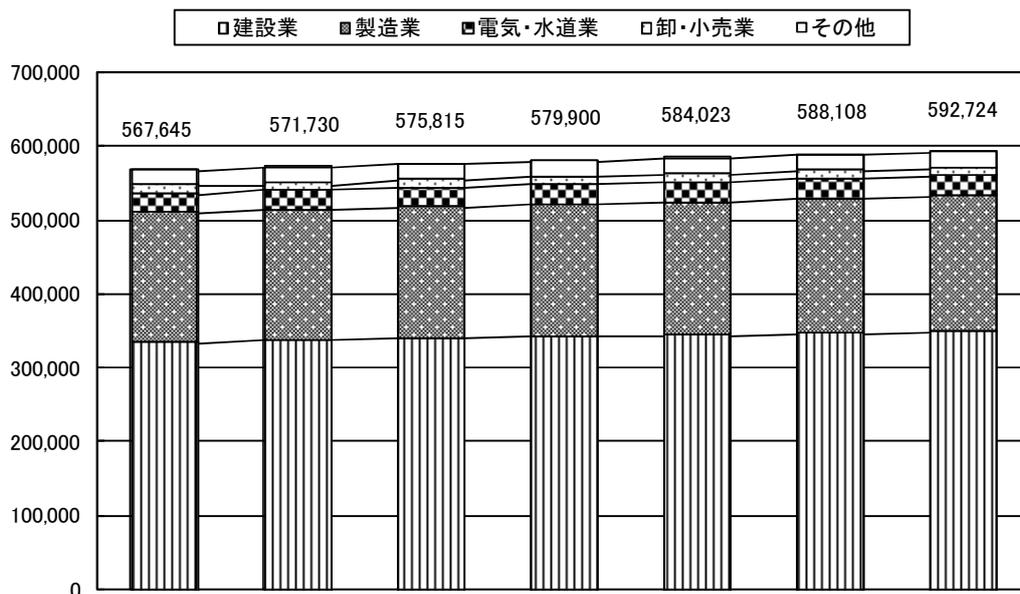
□がれき類 □汚泥 □木くず □ばいじん □ガラスくず等 □その他産業廃棄物 □その他



年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
廃棄物							
合計	567,645	571,730	575,815	579,900	584,023	588,108	592,724
がれき類	249,494	251,240	252,987	254,733	256,480	258,227	260,223
汚泥	146,015	147,102	148,188	149,274	150,382	151,468	152,679
木くず	55,579	55,976	56,373	56,770	57,170	57,568	58,018
ばいじん	28,586	28,786	28,986	29,186	29,386	29,587	29,815
ガラスくず等	23,692	23,858	24,025	24,191	24,358	24,525	24,715
その他産業廃棄物	17,180	17,321	17,462	17,602	17,750	17,891	18,042
その他	47,099	47,447	47,794	48,142	48,496	48,843	49,232
廃プラ類	14,504	14,617	14,729	14,842	14,958	15,071	15,194
金属くず	10,137	10,210	10,282	10,354	10,427	10,500	10,582
鉱さい	9,873	9,942	10,011	10,080	10,149	10,218	10,297
燃え殻	3,849	3,876	3,903	3,931	3,958	3,986	4,017
動植物性残さ	3,351	3,378	3,404	3,431	3,459	3,485	3,514
廃油	2,337	2,355	2,372	2,390	2,408	2,425	2,445
廃酸	1,080	1,088	1,095	1,103	1,111	1,119	1,128
紙くず	850	856	862	868	874	880	887
繊維くず	658	662	667	671	676	681	686
廃アルカリ	461	464	468	471	475	479	483
ゴムくず							

図 4-2-1 種類別排出量の将来予測の結果

(単位:t/年)



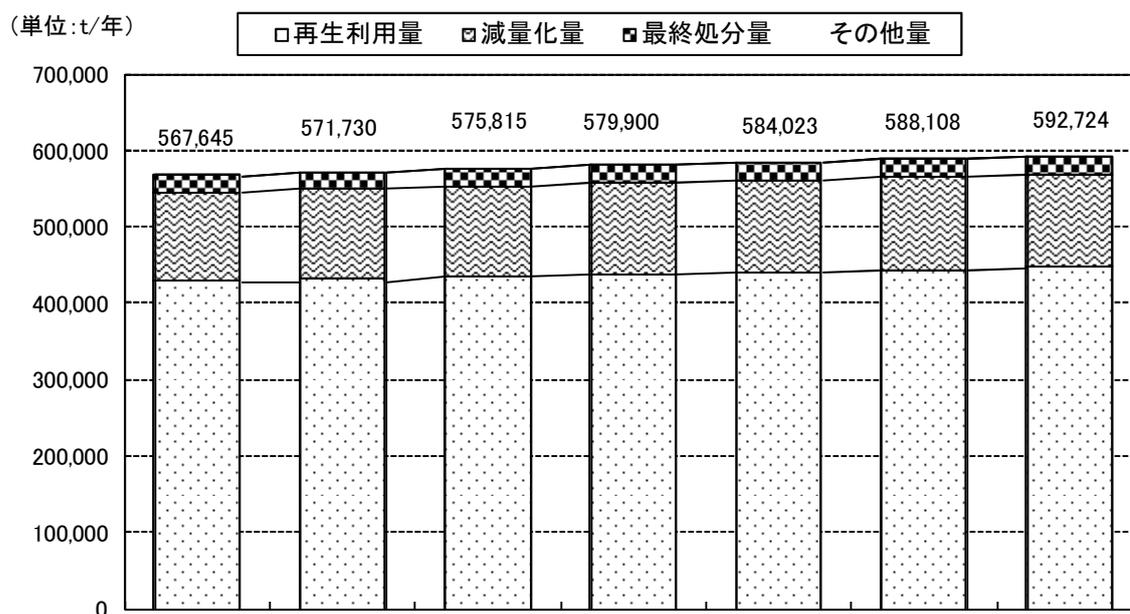
業種 \ 年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
合計	567,645	571,730	575,815	579,900	584,023	588,108	592,724
建設業	333,386	335,720	338,054	340,388	342,721	345,055	347,722
製造業	175,783	177,089	178,396	179,702	181,033	182,340	183,796
電気・水道業	26,485	26,670	26,856	27,041	27,226	27,412	27,624
卸・小売業	11,030	11,141	11,251	11,361	11,482	11,593	11,703
その他	20,960	21,110	21,259	21,409	21,559	21,709	21,879
鋳業	6,846	6,894	6,942	6,990	7,038	7,086	7,140
情報通信業	2,172	2,187	2,202	2,217	2,232	2,248	2,265
医療, 福祉	4,641	4,673	4,706	4,738	4,771	4,803	4,840
運輸業	3,449	3,473	3,497	3,521	3,546	3,570	3,597
専門サービス	565	569	573	577	581	585	589
教育, 学習業	37	37	37	38	38	38	39
サービス業	932	941	950	960	970	979	988
公務	31	31	31	31	31	31	31
金融, 保険業	88	89	89	90	91	91	92
不動産業	887	894	900	906	912	918	925
宿泊, 飲食業	1,245	1,254	1,263	1,272	1,281	1,290	1,301
複合サービス	0	0	0	0	0	0	0
生活サービス	68	68	69	69	69	70	70

図 4-2-2 業種別排出量の将来予測の結果

3. 処理・処分状況の将来予測

将来における処理・処分状況については、産業廃棄物に対する中間処理、再生利用、最終処分等の処理体系が平成23年度実績のまま今後も変わらないものと仮定して推計した。この推計結果は、図4-2-3に示すとおりである。

平成29年度の処理・処分状況は、排出量の増加に伴い各処理量とも増加し、再生利用量が447千トン、中間処理による減量化量は122千トン、最終処分量は24千トンになると予測される。



年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
排出量	567,645	571,730	575,815	579,900	584,023	588,108	592,724
再生利用量	428,602	431,663	434,723	437,783	440,864	443,924	447,393
減量化量	116,474	117,338	118,201	119,065	119,944	120,808	121,772
最終処分量	22,558	22,720	22,881	23,042	23,205	23,367	23,549
その他量	0	0	0	0	0	0	0

図4-2-3 処理・処分状況の将来予測

第5章 その他の調査結果

第1節 産業廃棄物の移動状況（第1次産業を除く）

1. 産業廃棄物の搬出状況

産業廃棄物の排出量 568 千トンのうち、処理・処分を目的として事業場から搬出された産業廃棄物量(以下、搬出量という。)は、465 千トンとなっている。この産業廃棄物の移動状況については、表 5-1-1、図 5-1-1 に示すとおりである。

搬出量 465 千トンのうち、県内で処理・処分された量(自地域と県内他地域への搬出量)は 382 千トン(82.1%)、県外で処理・処分された量は 83 千トン(17.9%)となっている。

表 5-1-1 産業廃棄物の移動状況（搬出量）（単位：t/年）

発生地域		合計	東部地域	中部地域	西部地域
地域名	搬出量	464,645 <100%>	195,279 <100%>	96,147 <100%>	173,219 <100%>
	自己最終処分量	33	3	30	
	委託中間処理量	464,205	195,214	96,100	172,891
	委託直接最終処分量	406	63	17	327
	その他量				
自地域	搬出量	139,665 <30.1%>	62,073 <31.8%>	23,764 <24.7%>	53,828 <31.1%>
	自己最終処分量				
	委託中間処理量	139,396	62,026	23,753	53,616
	委託直接最終処分量	269	47	10	212
	その他量				
県内他地域	搬出量	241,909 <52.1%>	75,621 <38.7%>	63,089 <65.6%>	103,199 <59.6%>
	自己最終処分量	33	3	30	
	委託中間処理量	241,875	75,618	63,058	103,199
	委託直接最終処分量	0	0	0	
	その他量				
県外	搬出量	83,070 <17.9%>	57,585 <29.5%>	9,294 <9.7%>	16,191 <9.3%>
	自己最終処分量				
	委託中間処理量	82,934	57,569	9,288	16,076
	委託直接最終処分量	137	16	6	115
	その他量				

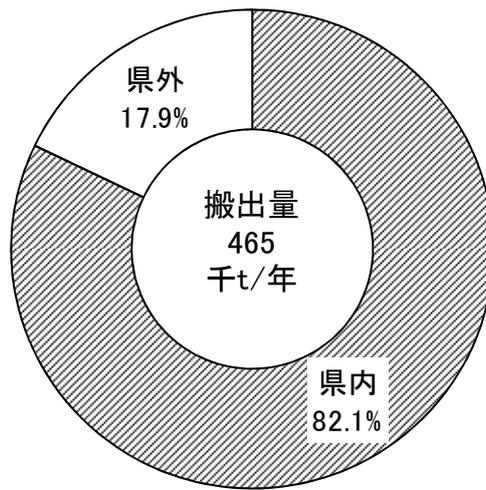


図 5-1-1 県外への移動状況（搬出量）

最終処分量の県外移動状況

最終処分量の県外移動状況は、表 5-1-2、図 5-1-2 に示すとおりである。最終処分量 23 千トンのうち、県内で最終処分された量が 6 千トン (25.8%)、県外で最終処分された量が 17 千トン (74.2%) となっている。

表 5-1-2 県外への移動状況 (最終処分量) (単位: t/年)

区分 \ 地域	合計	県内	県外
最終処分量	22,558 (100.0%)	5,827 (25.8%)	16,731 (74.2%)
自己最終処分量	33 (100.0%)		33 (100.0%)
委託直接最終処分量	406 (100.0%)	137 (33.6%)	270 (66.4%)
委託中間処理後最終処	22,119 (100.0%)	5,691 (25.7%)	16,428 (74.3%)

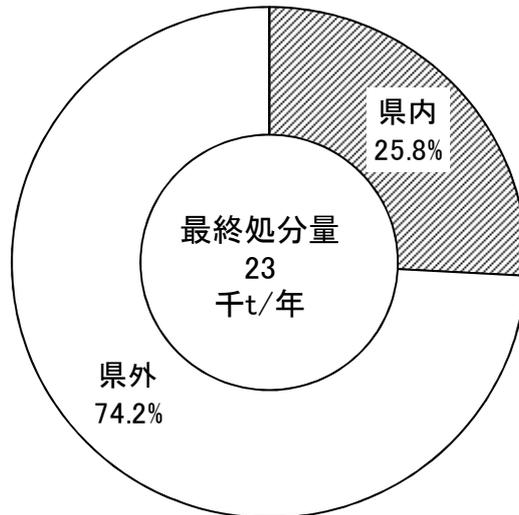


図 5-1-2 県外への移動状況 (最終処分量)

第2節 特別管理産業廃棄物

前節までは、特別管理産業廃棄物を含む産業廃棄物全体の状況をみてきたが、ここでは、特別管理産業廃棄物について、その発生及び処理・処分状況をまとめた。

1. 種類別発生・排出状況

特別管理産業廃棄物の種類別発生・排出状況は、図5-2-1～3に示すとおりである。

発生量(3,618トン)を種類別にみると、感染性産業廃棄物が2,760トン(76.3%)で最も多く、次いで、廃油が530トン(14.6%)、特定有害廃棄物が196トン(5.4%)等となっている。

排出量(3,614トン)を種類別にみると、感染性廃棄物が2,760トン(76.4%)で最も多く、次いで、廃油が530トン(14.7%)、特定有害廃棄物が191トン(5.3%)等となっている。

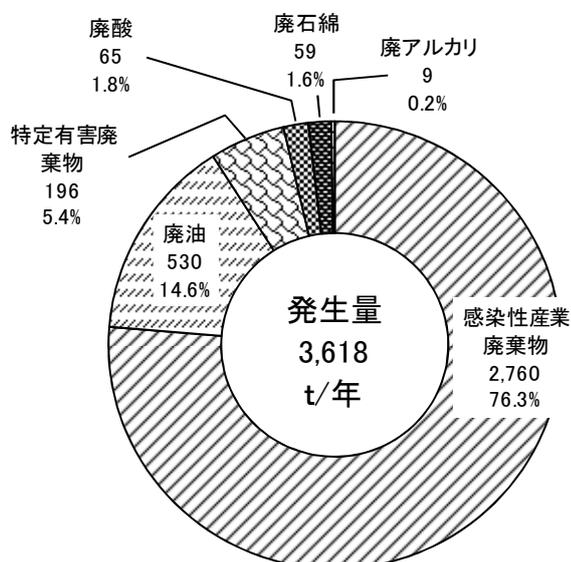


図5-2-1 種類別の発生量
＜特別管理産業廃棄物＞

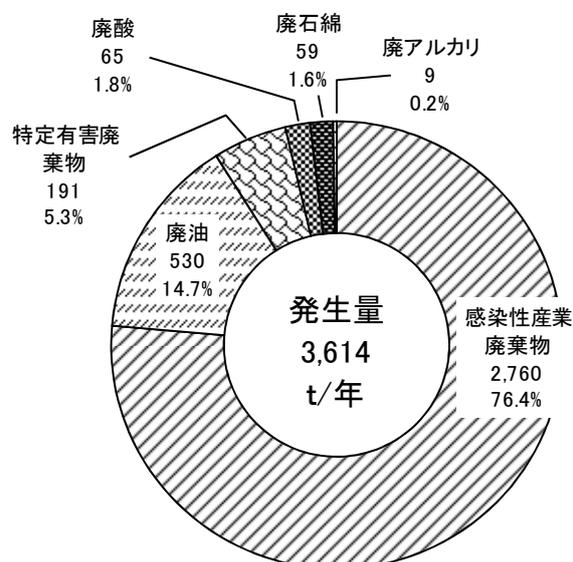


図5-2-2 種類別の排出量
＜特別管理産業廃棄物＞

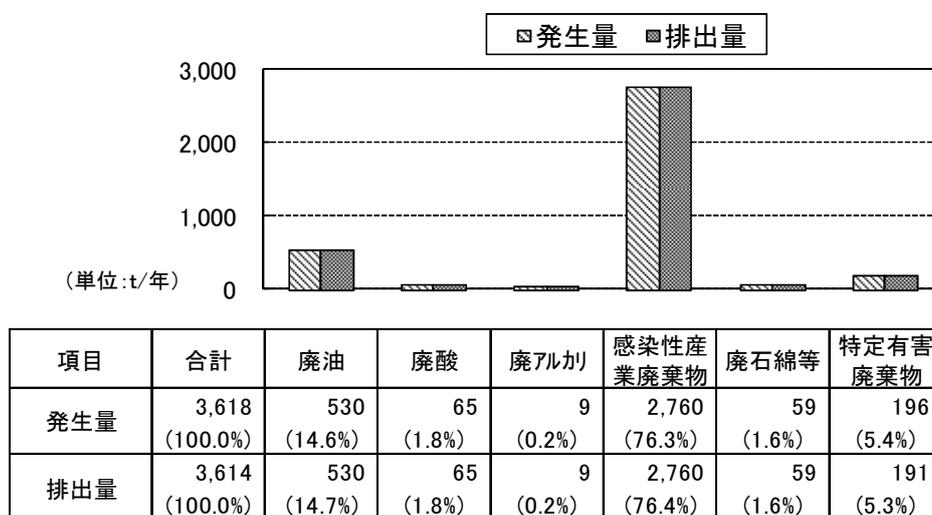


図5-2-3 種類別の発生量、排出量＜特別管理産業廃棄物＞

2. 業種別発生・排出状況

特別管理産業廃棄物の業種別発生・排出状況は、図 5-2-4～6 に示すとおりである。

発生量(3,618 トン)を業種別にみると、医療、福祉(主に病院)が 2,758 トン(発生量の 76.2%)で最も多く、次いで、製造業が 467 トン(同 12.9%)となっている。

排出量(3,614 トン)を業種別にみると、医療、福祉(主に病院)が 2,758 トン(排出量の 76.3%)で最も多く、次いで、製造業が 463 トン(12.8%)となっている。

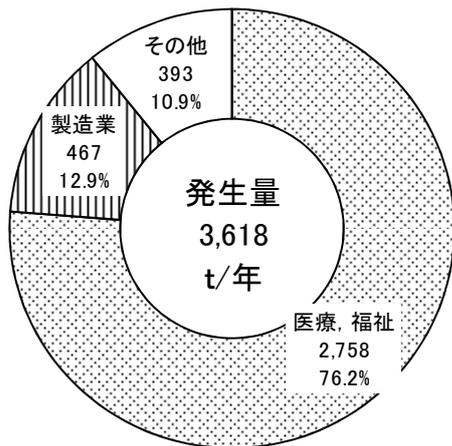


図 5-2-4 業種別の発生量
＜特別管理産業廃棄物＞

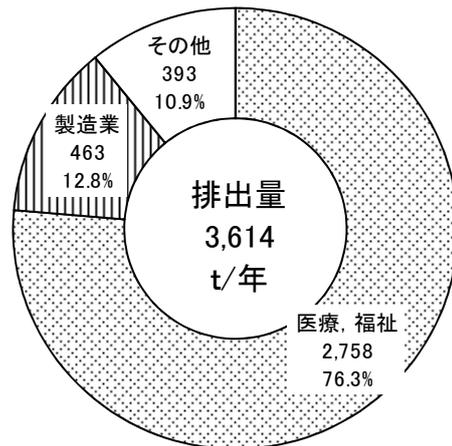


図 5-2-5 業種別の排出量
＜特別管理産業廃棄物＞

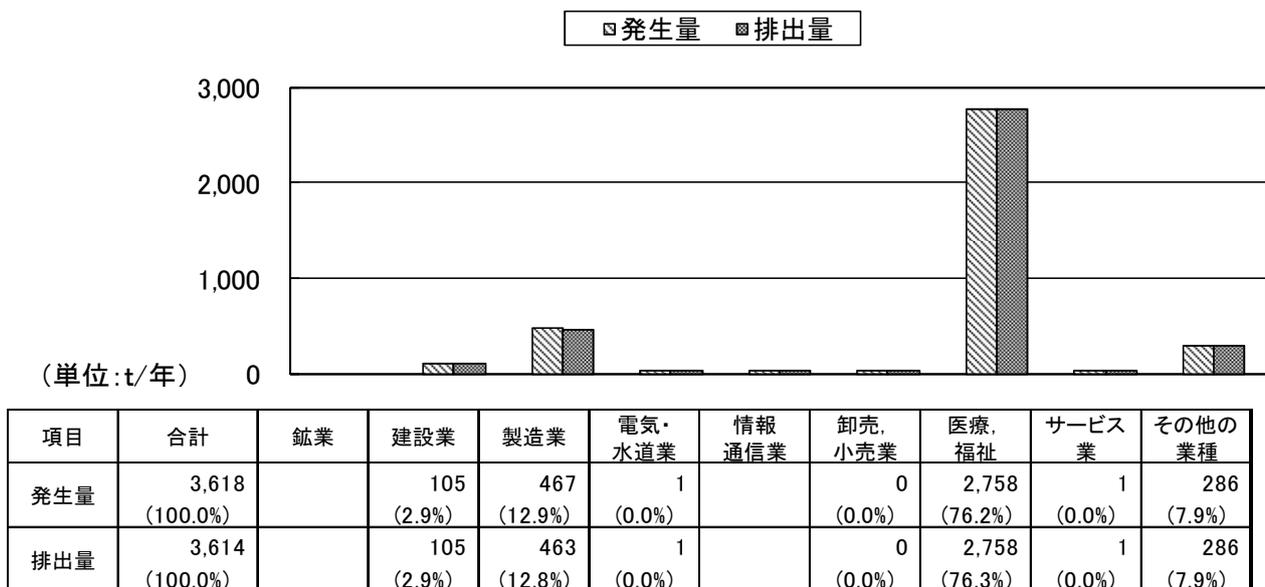


図 5-2-6 業種別の発生量、排出量＜特別管理産業廃棄物＞

3. 処理・処分状況

特別管理産業廃棄物の発生及び処理・処分状況の流れは、図 5-2-7 に示すとおりである。なお、特別管理産業廃棄物のうち、感染性廃棄物についての処理・処分状況は、図 5-2-8 に示すとおりである。

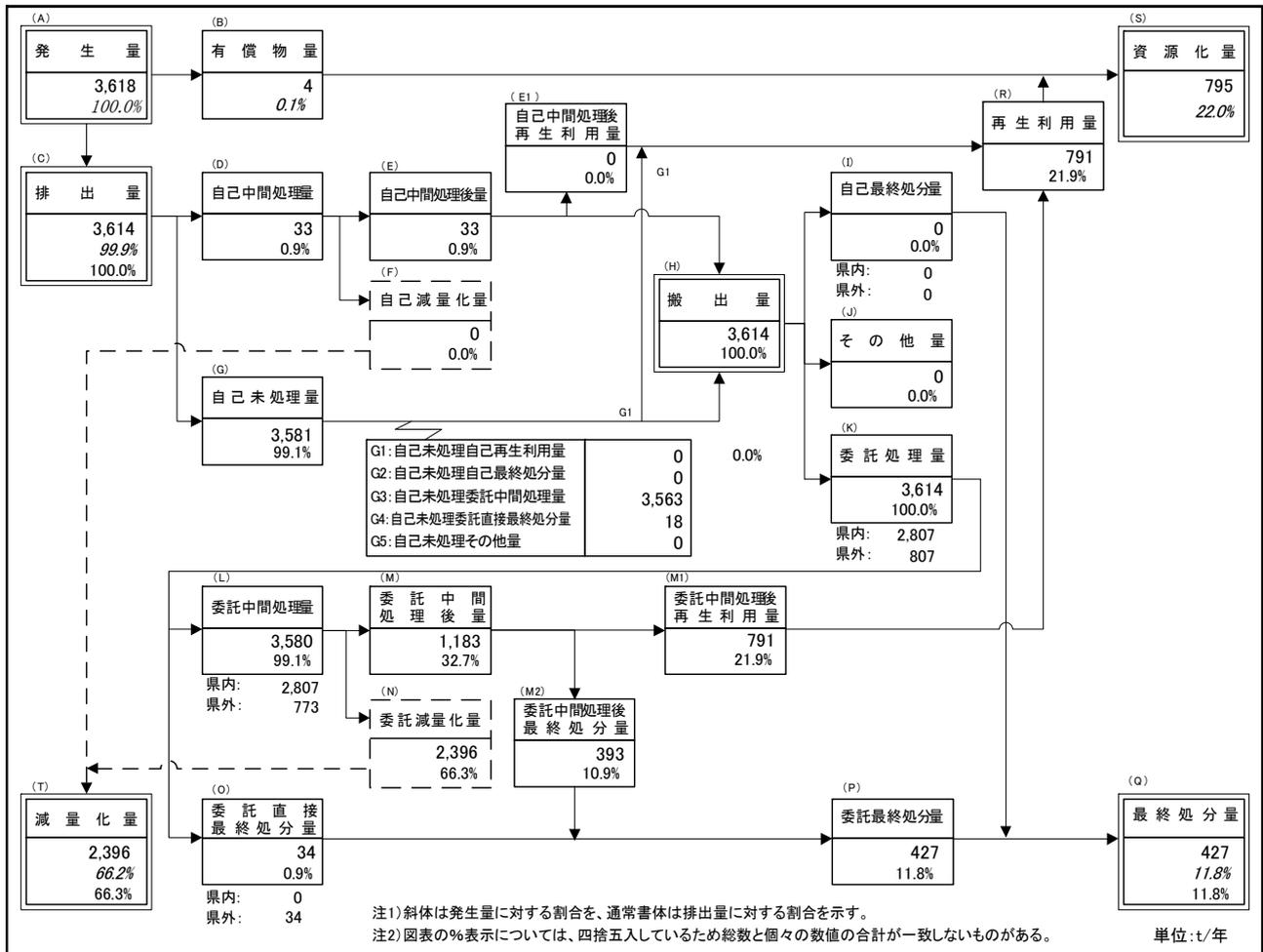


図 5-2-7 特別管理産業廃棄物の発生及び処理・処分の状況

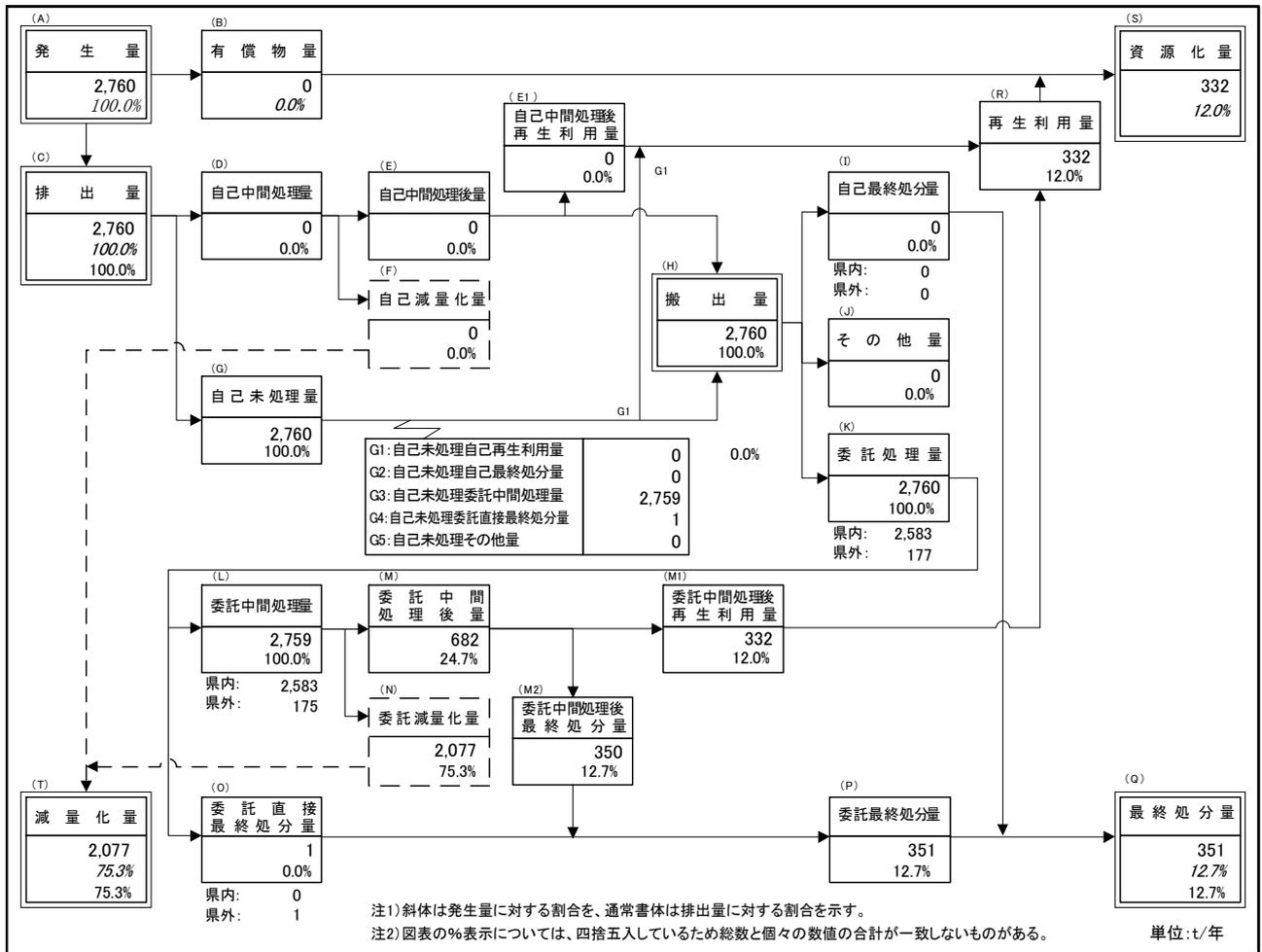


図 5-2-8 感染性廃棄物の発生及び処理・処分の状況

卷 末 資 料

統 計 表

多量排出事業者実施状況報告様式・記載例

廃棄物管理票交付状況報告書様式・記載例

卷末資料 目次

統計表 1	業種別種別発生量	67
統計表 2	業種別処理状況	71
統計表 3	種別別処理状況	73
統計表 4	特別管理産業廃棄物種別別処理状況	81
統計表 5	地域別処理状況	83
	多量排出事業者実施状況報告様式・記載例	89
	廃棄物管理票交付状況報告書様式・記載例	99

統計表1-1 業種別種類別発生量(その1)

(単位: t/年)

種類	合計		農業	鉱業	建設業	製造業	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	ハルブ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	はん用機器	生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報機器	輸送機器	その他
	区分	農業、林業を除く																												
合計	1,279,547	586,517	693,030	6,846	333,391	194,650	12,892	4,239	1,504	12,487	3	100,486	18	491		1,457	107		23,915	13,245	93	977	688	959	27	1,437	11,626	100	7,564	334
燃え殻	3,849	3,849			954	2,744	2			862		1,877								3										
汚泥	146,015	146,015		6,846	13,936	97,193	10,306	659		26		61,778		205		0			13,033		50	92	141	75		1,083	9,692	29	14	9
有機性汚泥	97,429	97,429			23	71,387	10,256	659				60,438															33			
無機性汚泥	48,586	48,586		6,846	13,913	25,807	50	0		26		1,340		205		0			13,033		50	92	141	75		1,083	9,659	29	14	9
廃油	2,341	2,341			232	1,347	72	4	3	52		80	4	5		158	12		1	24	25	606	19	143	10	25	27	8	60	9
一般廃油	2,128	2,128			191	1,259	72	4	3	52		80	4			155	12		1	24	11	543	17	143	10	23	26	8	60	9
廃溶剤	8	8				8								5									1			1				
固形油	33	33			28																									
油でい	33	33			28																									
油付着物	173	173			13	80		0								3					14	63	0			0	0			
廃酸	1,080	1,080			4	1,035		960				0	0	61			0				6		8		0		0			
廃アルカリ	461	461			227	121				5		9	9				0						1				96			
廃プラスチック類	14,542	14,504	38		5,106	5,379	1,254	237	945	109		277	4	219		1,274	94		20	30	2	172	23	108	15	162	259	40	17	117
廃プラスチック	14,182	14,144	38		5,083	5,377	1,254	237	945	109		277	4	219		1,274	94		18	30	2	172	23	108	15	162	259	40	17	117
廃タイヤ	360	360			24	2													2											
紙くず	850	850			831	19						19																		
木くず	55,631	55,582	49		39,473	12,545	57	4	20	11,025	3	1,043				8					7	6	4	226		28	91		19	4
繊維くず	658	658			151	507			507																					
動植物性残さ	3,351	3,351				3,351	1,067	2,284																						
動物系固形不要物																														
ゴムくず																														
金属くず	29,057	29,002	55		7,641	19,479	75	68		3		6,305				9	1		49	3,182		16	441	349	1	71	1,447	10	7,448	3
ガラスくず等	23,692	23,692	0		21,721	1,280	2	17				38							960	3	0	0	0		0	67	0			192
鉱さい	9,873	9,873				9,873														9,873										
がれき類	249,494	249,494			237,350	10,077						107							9,798	130	3	28	10				0			
コンクリート片	151,403	151,403			140,222	9,479						107							9,242	130							0			
廃アスファルト	78,331	78,331			78,305																									
その他の建設廃材	19,760	19,760			18,823	598													557		3	28	10							
動物のふん尿	692,878		692,878																											
動物の死体	10		10																											
ばいじん	28,586	28,586				28,586						28,586																		
その他廃棄物	17,180	17,180	0		5,764	1,113	57	4	29	405		365	0			8			54	0		56	42	58		3	12	14	5	
感染性産業廃棄物	2,760	2,760	0			2	2	0																						
混合廃棄物	14,420	14,420	0		5,764	1,111	55	4	29	405		365	0			8			54	0		56	42	58		3	12	14	5	

統計表1-1 業種別種類別発生量(その2)

(単位: t/年)

種類	区分	電気・水道業					情報通信業	卸売・小売業	医療・福祉	サービス業	その他業種	業種別発生量																
		電気業	ガス業	上水道業	下水道業	電気・水道業						運輸業	金融・保険業	不動産業	学術・専門	宿泊・飲食	生活・娯楽	教育・学習	複合サービス事業	公務								
合計		26,485	288	117	223	25,856	2,172	11,030	4,641	932		3,449	88	887	565	1,245	68	37		31								
燃え殻								149		1																		
汚泥		26,078			222	25,856		7	100	113		1,323			336	81		1		0								
有機性汚泥		25,856				25,856		1	29	101		1			31													
無機性汚泥		222			222			6	71	12		1,322			336	50		1		0								
廃油		4	4		0			58	9	161		526			3	1			0	0								
一般廃油		4	4		0			58	9	161		441			3	1			0	0								
廃溶剤																												
固形油																												
油でい												5																
油付着物												80																
廃酸		0			0			28	1	7					5				0									
廃アルカリ		0			0			0	40	26		45			1					0								
廃プラスチック類		16	15	1	0			134	1,347	1,243	380	474	11	176	21	166	9	36		6								
廃プラスチック		16	15	1	0			134	1,249	1,243	158	461	11	176	21	166	9	35		6								
廃タイヤ								98		222		14						1										
紙くず																												
木くず								2,497	119	28		829	5	11	75	1												
繊維くず																												
動植物性残さ																												
動物系固形不要物																												
ゴムくず																												
金属くず		45	45		0			193	32	29	144	94	54	625	96	560	7			0								
ガラスくず等		1	1	1	0			4	140	66	0	21	2		20	435	2	0		1								
鉱さい																												
がれき類		231	224	7				1,667	21	112	33	2				0												
コンクリート片								1,667	2		33																	
廃アスファルト		7		7				19																				
その他の建設廃材		224	224							112	1	2				0												
動物のふん尿																												
動物の死体																												
ばいじん																												
その他廃棄物		108		108				145	6,778	2,915	46	136	17	75	7	1	50	0		24								
感染性産業廃棄物								0	2,755	1		1		0				0		1								
混合廃棄物		108		108				145	6,777	160	45	135	17	75	7	1	50	0		22								

※その他の業種は、運輸業、金融、保険業、不動産業、専門サービス、宿泊、飲食業、生活サービス、教育、学習業、複合サービス、公務のこと。

統計表1-2 業種別種類別排出量(その1)

(単位: t/年)

種類	合計		農業	鉱業	建設業	製造業	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	ハルブ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	はん用機器	生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報機器	輸送機器	その他		
	区分	農業、林業を除く																														
合計	1,107,670	567,645	540,026	6,846	333,386	175,783	12,892	4,239	1,504	12,487		94,195	18	491		1,457	107		23,866	10,063	93	962	326	752	27	1,437	10,315	100	116	334		
燃え殻	3,849	3,849			954	2,744	2			862		1,877								3												
汚泥	146,015	146,015		6,846	13,936	97,193	10,306	659		26		61,778		205		0			13,033		50	92	141	75		1,083	9,692	29	14	9		
有機性汚泥	97,429	97,429			23	71,387	10,256	659				60,438															33					
無機性汚泥	48,586	48,586		6,846	13,913	25,807	50	0		26		1,340		205		0			13,033		50	92	141	75		1,083	9,659	29	14	9		
廃油	2,337	2,337			232	1,343	72	4	3	52		80	4	5		158	12		1	24	25	606	19	143	10	25	22	8	60	9		
一般廃油	2,123	2,123			191	1,255	72	4	3	52		80	4			155	12		1	24	11	543	17	143	10	23	22	8	60	9		
廃溶剤	8	8				8								5									1			1						
固形油																																
油でい	33	33			28																											
油付着物	173	173			13	80		0								3					14	63	0			0	0					
廃酸	1,080	1,080			4	1,035		960				0	0	61			0				6		8			0						
廃アルカリ	461	461			227	121				5		9	9				0						1							96		
廃プラスチック類	14,542	14,504	38		5,106	5,379	1,254	237	945	109		277	4	219		1,274	94		20	30	2	172	23	108	15	162	259	40	17	117		
廃プラスチック	14,182	14,144	38		5,083	5,377	1,254	237	945	109		277	4	219		1,274	94		18	30	2	172	23	108	15	162	259	40	17	117		
廃タイヤ	360	360			24	2													2													
紙くず	850	850			831	19						19																				
木くず	55,628	55,579	49		39,473	12,542	57	4	20	11,025		1,043				8					7	6	4	226		28	91		19	4		
繊維くず	658	658			151	507			507																							
動植物性残さ	3,351	3,351				3,351	1,067	2,284																								
動物系固形不要物																																
ゴムくず																																
金属くず	10,192	10,137	55		7,636	620	75	68		3		14				9	1					1	80	142	1	71	141	10		3		
ガラスくず等	23,692	23,692	0		21,721	1,280	2	17				38							960	3	0	0	0			0	67	0			192	
鉱さい	9,873	9,873				9,873															9,873											
がれき類	249,494	249,494			237,350	10,077						107							9,798	130	3	28	10				0					
コンクリート片	151,403	151,403			140,222	9,479						107							9,242	130							0					
廃アスファルト	78,331	78,331			78,305																											
その他の建設廃材	19,760	19,760			18,823	598													557		3	28	10									
動物のふん尿	539,874		539,874																													
動物の死体	10		10																													
ばいじん	28,586	28,586				28,586						28,586																				
その他廃棄物	17,180	17,180	0		5,764	1,113	57	4	29	405		365	0			8			54	0		56	42	58		3	12	14		5		
感染性産業廃棄物	2,760	2,760	0			2	2	0																								
混合廃棄物	14,420	14,420	0		5,764	1,111	55	4	29	405		365	0			8			54	0		56	42	58		3	12	14		5		

統計表1-2 業種別種類別排出量(その2)

(単位: t/年)

種類	区分	電気・水道業					情報通信業	卸売・小売業	医療・福祉	サービス業	その他業種	その他の業種																
		電気業	ガス業	上水道業	下水道業	電気・水道業						運輸業	金融・保険業	不動産業	学術・専門	宿泊・飲食	生活・娯楽	教育・学習	複合サービス事業	公務								
合計		26,485	288	117	223	25,856	2,172	11,030	4,641	932	6,370	3,449	88	887	565	1,245	68	37		31								
燃え殻								149		1																		
汚泥		26,078			222	25,856		7	100	113	1,741	1,323			336	81		1		0								
有機性汚泥		25,856				25,856		1	29	101	32	1				31												
無機性汚泥		222			222			6	71	12	1,709	1,322			336	50		1		0								
廃油		4	4		0			58	9	161	530	526			3	1			0	0								
一般廃油		4	4		0			58	9	161	445	441			3	1			0	0								
廃溶剤																												
固形油																												
油でい											5	5																
油付着物											80	80																
廃酸		0			0			28	1	7					5				0									
廃アルカリ		0			0			0	40	26	46	45			1					0								
廃プラスチック類		16	15	1	0			134	1,347	1,243	380	898	474	11	176	21	166	9	36	6								
廃プラスチック		16	15	1	0			134	1,249	1,243	158	884	461	11	176	21	166	9	35	6								
廃タイヤ								98		222	14	14							1									
紙くず																												
木くず								2,497	119	28	920	829	5	11	75	1												
繊維くず																												
動植物性残さ																												
動物系固形不要物																												
ゴムくず																												
金属くず		45	45		0			193	32	29	144	1,437	94	54	625	96	560	7		0								
ガラスくず等		1	1	1	0			4	140	66	0	479	21	2	20	435	2	0		1								
鉱さい																												
がれき類		231	224	7				1,667	21	112	33	2	2			0												
コンクリート片								1,667	2		33																	
廃アスファルト		7		7				19																				
その他の建設廃材		224	224							112	1	2	2			0												
動物のふん尿																												
動物の死体																												
ばいじん																												
その他廃棄物		108		108				145	6,778	2,915	46	311	136	17	75	7	1	50	0	24								
感染性産業廃棄物								0	2,755		1	2	1		0				0	1								
混合廃棄物		108		108				145	6,777	160	45	309	135	17	75	7	1	50	0	22								

※その他の業種は、運輸業、金融、保険業、不動産業、専門サービス、宿泊、飲食業、生活サービス、教育、学習業、複合サービス、公務のこと。

統計表2-1 業種別処理状況(その1)

(単位: t/年)

区分 業種	発生量 (A)	有償物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量					自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)			
				自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)				自己未処理の処理内訳 (G)	(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の内訳)			
					再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)		その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)		委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内	県外
全業種	1,279,547	171,876	1,107,670	146,737	75,174	25,432	3	49,739			960,933	148,391	30	812,134	379	862,285	33	33
農業、林業を除く	586,517	18,872	567,645	146,737	75,174	25,432	3	49,739			420,908	6,005	30	414,494	379	464,645	33	33
農業、林業	693,030	153,004	540,026								540,026	142,385		397,640	0	397,640		
漁業																		
鉱業	6,846		6,846	6,846	6,846	6,846												
建設業	333,391	5	333,386	13,830	12,168	11,170	3	995			319,556	951	30	318,263	312	319,603	33	33
製造業	194,650	18,867	175,783	99,628	29,861	7,176		22,685			76,156	5,054		71,099	3	93,787		
食料品	12,892		12,892	3,557	2,383			2,383			9,335			9,332	3	11,718		
飲料・飼料	4,239		4,239	316	316			316			3,923	54		3,869		4,185		
繊維	1,504		1,504							1,504			1,504		1,504			
木材	12,487		12,487	208	208			208		12,279			12,279		12,487			
家具	3	3																
パルプ・紙	100,486	6,291	94,195	61,154	1,222	505		717		33,040			33,040		33,757			
印刷	18		18							18			18		18			
化学	491		491							491			491		491			
石油・石炭	1,457		1,457							1,457			1,457		1,457			
プラスチック	107		107							107			107		107			
ゴム	23,915	49	23,866	19,077	11,652	6,671		4,981		4,789	500		4,289		9,270			
皮革																		
窯業・土石	23,915	49	23,866	19,077	11,652	6,671		4,981		4,789	500		4,289		9,270			
鉄鋼	13,245	3,182	10,063	4,450	3,250			3,250		5,613	4,500		1,113		4,363			
非鉄金属	93		93							93			93		93			
金属	977	15	962							962			962		962			
はん用機器	688	362	326							326			326		326			
生産用機器	959	207	752							752			752		752			
業務用機器	27		27							27			27		27			
電子部品	1,437		1,437	950	950			950		487			487		1,437			
電気機器	11,626	1,311	10,315	9,718	9,684			9,684		597			597		10,281			
情報通信機器	100		100							100			100		100			
輸送機器	7,564	7,448	116							116			116		116			
その他	334		334	196	196			196		138			138		334			
電気・水道業	26,485		26,485	26,078	26,078	240		25,838		406			406	0	26,245			
電気業	288		288							288			288	0	288			
ガス業	117		117							117			117		117			
熱供給業																		
上水道業	223		223	222	222			222		1			1		223			
下水道業	25,856		25,856	25,856	25,856	240		25,616							25,616			
情報通信業	2,172		2,172							2,172			2,168	4	2,172			
卸売、小売業	11,030		11,030	76	76			76		10,954			10,953	2	11,030			
医療、福祉	4,641		4,641							4,641			4,608	33	4,641			
サービス業	932		932	18	18			18		914			912	1	932			
その他の業種	6,370		6,370	261	126			126		6,110			6,085	24	6,235			

※その他の業種は、運輸業、金融、保険業、不動産業、専門サービス、宿泊、飲食業、生活サービス、教育、学習業、複合サービス、公務のこと。

統計表2-1 業種別処理状況(その2)

(単位: t/年)

区分 業種	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			その他 量 (J)	資源化 量 (S)
		委託直接最終処分量					委託中間処理量						(処理主体の内訳)				
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)			(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)				(処理後の処理内訳)				
		処理業者	自治体	県内	県外	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)		最終 処分量 (M2)	事業者	自治体		
(L)	(M)	(Q1)	(Q2)	(Q3)													
全業種	862,252	406	406	270	137	861,845	861,845	381,907	479,938	623,728	601,605	22,123	775,428	22,563	33	22,529	947,304
農業、林業を除く	464,611	406	406	270	137	464,205	464,205	381,271	82,934	419,284	397,165	22,119	428,602	22,558	33	22,525	447,475
農業、林業	397,640	0	0	0	0	397,640	397,640	636	397,004	204,444	204,440	4	346,825	4		4	499,829
漁業																	
鉱業													6,846				6,846
建設業	319,570	339	339	214	125	319,231	319,231	298,325	20,906	304,580	290,110	14,470	302,231	14,842	33	14,809	302,236
製造業	93,787	3	3	3		93,784	93,784	41,618	52,166	71,203	67,027	4,177	79,257	4,179		4,179	98,124
食品	11,718	3	3	3		11,716	11,716	10,100	1,615	9,336	8,865	471	8,865	473		473	8,865
飲料・飼料	4,185					4,185	4,185	1,803	2,382	2,780	2,665	116	2,719	116		116	2,719
繊維	1,504					1,504	1,504	1,038	466	922	857	65	857	65		65	857
木材	12,487					12,487	12,487	10,718	1,769	10,391	9,789	602	9,789	602		602	9,789
家具																	3
パルプ・紙	33,757					33,757	33,757	3,611	30,146	32,778	32,239	538	32,744	538		538	39,036
印刷	18					18	18	8	10	12	11	1	11	1		1	11
化学	491					491	491	208	282	145	123	22	123	22		22	123
石油・石炭	1,457					1,457	1,457	992	465	255	134	121	134	121		121	134
プラスチック	107					107	107	102	5	17	7	10	7	10		10	7
ゴム	9,270					9,270	9,270	2,692	6,578	7,316	6,513	802	13,684	802		802	13,733
皮革																	
窯業・土石	9,270					9,270	9,270	2,692	6,578	7,316	6,513	802	13,684	802		802	13,733
鉄鋼	4,363					4,363	4,363	161	4,202	4,355	3,340	1,015	7,840	1,015		1,015	11,022
非鉄金属	93					93	93	51	42	20	11	9	11	9		9	11
金属	962					962	962	952	10	573	449	124	449	124		124	464
はん用機器	326					326	326	321	5	206	152	54	152	54		54	514
生産用機器	752					752	752	562	190	505	471	34	471	34		34	678
業務用機器	27					27	27	17	10	25	25	0	25	0		0	25
電子部品	1,437					1,437	1,437	943	494	584	473	112	473	112		112	473
電気機器	10,281					10,281	10,281	7,082	3,199	511	468	43	468	43		43	1,778
情報通信機器	100					100	100	57	43	74	52	22	52	22		22	52
輸送機器	116					116	116	64	52	78	69	10	69	10		10	7,517
その他	334					334	334	135	199	321	315	6	315	6		6	315
電気・水道業	26,245	0	0	0	0	26,244	26,244	22,339	3,905	23,966	23,376	589	23,616	590		590	23,616
電気業	288	0	0	0	0	288	288	62	226	275	273	2	273	2		2	273
ガス業	117					117	117	39	78	117	8	109	8	109		109	8
熱供給業																	
上水道業	223					223	223	223	1	61	1	60	1	60		60	1
下水道業	25,616					25,616	25,616	22,015	3,601	23,513	23,094	418	23,334	418		418	23,334
情報通信業	2,172	4	4	0	4	2,168	2,168	1,978	189	2,068	1,935	133	1,935	137		137	1,935
卸売、小売業	11,030	2	2	2		11,029	11,029	10,592	437	9,946	9,512	433	9,512	435		435	9,512
医療、福祉	4,641	33	33	30	3	4,608	4,608	3,687	921	1,548	865	683	865	716		716	865
サービス業	932	1	1	1	0	931	931	544	387	600	488	112	488	113		113	488
その他の業種	6,235	24	24	21	4	6,211	6,211	2,189	4,022	5,374	3,851	1,522	3,851	1,547		1,547	3,851

※その他の業種は、運輸業、金融、保険業、不動産業、専門サービス、宿泊、飲食業、生活サービス、教育、学習業、複合サービス、公務のこと。

統計表3-1 種類別処理状況(その1)農業, 林業を除く

物質変換を考慮

(単位: t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有償物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量							自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量			
				(D)	自己中間処理後量					(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の内訳)					
					(E)	(自己中間処理後の処理内訳)				(G)	(自己未処理の処理内訳)				(I)		(J)			
						再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)		その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)				委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内
合計	586,517	18,872	567,645	146,737	75,174	25,432	3	49,739		420,908	6,005	30	414,494	379	464,645	33	33			
燃え殻	3,849		3,849	120	120			120		3,728			3,725	3	3,849					
汚泥	146,015		146,015	120,947	56,054	13,591		42,463		25,068	160		24,908		67,371					
有機性汚泥	97,429		97,429	89,990	29,705	745		28,960		7,440			7,440		36,400					
無機性汚泥	48,586		48,586	30,957	26,349	12,846		13,503		17,629	160		17,469		30,971					
廃油	2,341	4	2,337	4	4			4		2,333			2,333		2,337					
一般廃油	2,128	4	2,123	4	4			4		2,119			2,119		2,123					
廃溶剤	8		8							8			8		8					
固形油																				
油でい	33		33							33			33		33					
油付着物	173		173							173			173		173					
廃酸	1,080		1,080							1,080			1,080		1,080					
廃アルカリ	461		461							461			461		461					
廃プラスチック類	14,504		14,504	281	271			271		14,223	20		14,203		14,494	20	20			
廃プラスチック	14,144		14,144	281	271			271		13,862	20		13,842		14,134	20	20			
廃タイヤ	360		360							360			360		360					
紙くず	850		850	19						831			831		831					
木くず	55,582	3	55,579	2,495	1,455	1,452	3			53,083			53,083		53,086	3	3			
繊維くず	658		658							658			658		658					
動植物性残さ	3,351		3,351							3,351	54		3,297		3,297					
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	29,002	18,865	10,137	43	9			9		10,095			10,095		10,103					
ガラスくず等	23,692		23,692	1,225	514			514		22,467	99		22,037	331	22,882					
鋳さい	9,873		9,873	4,450	3,250			3,250		5,423	4,500		923		4,173					
がれき類	249,494		249,494	17,152	13,496	10,389		3,107		232,342	1,193	7	231,099	43	234,257	7	7			
コンクリート片	151,403		151,403	16,111	12,456	9,912		2,544		135,292	1,168	7	134,117		136,668	7	7			
廃アスファルト	78,331		78,331	891	891	328		564		77,440	25		77,415		77,979					
その他の建設廃材	19,760		19,760	150	150	150				19,610			19,567	43	19,610					
動物のふん尿																				
動物の死体	TA	TB	TC	TD	TE	TEa	TEb	TEc	TEd	TEe	TG	TGa	TGb	TGc	TGd	TGe	TH	TI	Tli	Tlo
ばいじん	28,586		28,586								28,586			28,586		28,586				
その他廃棄物	17,180		17,180								17,180		3	17,175	2	17,180	3	3		
感染性産業廃棄物	2,760		2,760								2,760			2,759	1	2,760				
混合廃棄物	14,420		14,420								14,420		3	14,417	0	14,420	3	3		

統計表3-1 種類別処理状況(その2)農業, 林業を除く

物質変換を考慮

(単位: t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			その他 量 (J)	資源化 量 (S)				
		委託直接最終処分量					委託中間処理量						(Q)	(処理主体の内訳)							
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)			(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)					委託中間処理後量				事業者	自治体	処理業者	
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)			Q1	Q2						Q3
(O)					(L)					(M)											
合計	464,611	406	406		270	137	464,205	464,205		381,271	82,934	419,284	397,165	22,119	428,602	22,558	33		22,525		447,475
燃え殻	3,849	3	3		3		3,845	3,845		2,288	1,558	8,059	3,877	4,182	3,877	4,185			4,185		3,877
汚泥	67,371						67,371	67,371		52,813	14,559	40,340	38,651	1,688	52,402	1,688			1,688		52,402
有機性汚泥	36,400						36,400	36,400		31,184	5,216	31,669	30,831	838	31,576	838			838		31,576
無機性汚泥	30,971						30,971	30,971		21,628	9,343	8,671	7,821	850	20,827	850			850		20,827
廃油	2,337						2,337	2,337		1,185	1,152	929	928	1	928	1			1		8,376
一般廃油	2,123						2,123	2,123		1,064	1,059	922	922	0	922	0			0		8,370
廃溶剤	8						8	8		3	5	0		0	0	0			0		
固形油																					
油でい	33						33	33		28	5	6	5	1	5	1			1		5
油付着物	173						173	173		90	82	1	1	0	1	0			0		1
廃酸	1,080						1,080	1,080		815	265	155	155	0	155	0			0		155
廃アルカリ	461						461	461		229	232	24	23	0	23	0			0		23
廃プラスチック類	14,474						14,474	14,474		11,235	3,239	7,344	6,423	921	6,423	941	20		921		6,423
廃プラスチック	14,114						14,114	14,114		11,122	2,992	7,113	6,205	907	6,205	927	20		907		6,205
廃タイヤ	360						360	360		113	248	231	217	14	217	14			14		217
紙くず	831						831	831		784	47	741	731	10	731	10			10		731
木くず	53,083						53,083	53,083		46,644	6,439	46,640	45,647	993	47,098	996	3		993		47,098
繊維くず	658						658	658		581	77	137	103	34	103	34			34		103
動植物性残さ	3,297						3,297	3,297		1,143	2,154	3,120	3,118	2	3,172	2			2		3,172
動物系固形不要物																					
ゴムくず																					
金属くず	10,103						10,103	10,103		8,095	2,009	10,091	8,688	1,403	8,688	1,403			1,403		20,112
ガラスくず等	22,882	348	348		267	81	22,534	22,534		19,421	3,113	22,513	18,861	3,651	18,960	3,999			3,999		18,960
鋳さい	4,173						4,173	4,173			4,173	4,173	3,159	1,013	7,659	1,013			1,013		7,659
がれき類	234,249	43	43			43	234,206	234,206		220,697	13,510	234,206	230,061	4,145	241,643	4,195	7		4,188		241,643
コンクリート片	136,660						136,660	136,660		126,356	10,304	136,660	136,266	394	147,345	402	7		394		147,345
廃アスファルト	77,979						77,979	77,979		76,866	1,113	77,979	76,482	1,497	76,834	1,497			1,497		76,834
その他の建設廃材	19,610	43	43			43	19,567	19,567		17,475	2,092	19,567	17,314	2,254	17,463	2,297			2,297		17,463
動物のふん尿																					
動物の死体	TK	TO	TOc	TOp	TOi	TOo	TL	TLc	TLp	TLi	TL0	TM	TMr	TMd	TR	TQ	TQs	TQp	TQc	TJ	TS
ばいじん	28,586						28,586	28,586			28,586	28,604	28,586	17	28,586	17			17		28,586
その他廃棄物	17,177	13	13			13	17,164	17,164		15,342	1,822	12,210	8,153	4,056	8,153	4,072	3		4,069		8,153
感染性産業廃棄物	2,760	1	1			1	2,759	2,759		2,585	175	628	332	296	332	297			297		332
混合廃棄物	14,417	12	12			12	14,406	14,406		12,759	1,647	11,582	7,821	3,761	7,821	3,775	3		3,772		7,821

統計表3-2 種類別処理状況(その1)全業種

物質変換を考慮

(単位: t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有償物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量 (D)					自己未処理量 (G)					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)				
				自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)				再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)		(処理先地域 の内訳)				
					再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)							その他 量 (E5)	県内	県外		
合計	1,279,547	171,876	1,107,670	146,737	75,174	25,432	3	49,739			960,933	148,391	30	812,134	379		862,285	33	33
燃え殻	3,849		3,849	120	120			120			3,728			3,725	3		3,849		
汚泥	146,015		146,015	120,947	56,054	13,591		42,463			25,068	160		24,908			67,371		
有機性汚泥	97,429		97,429	89,990	29,705	745		28,960			7,440			7,440			36,400		
無機性汚泥	48,586		48,586	30,957	26,349	12,846		13,503			17,629	160		17,469			30,971		
廃油	2,341	4	2,337	4	4			4			2,333			2,333			2,337		
一般廃油	2,128	4	2,123	4	4			4			2,119			2,119			2,123		
廃溶剤	8		8								8			8			8		
固形油																			
油でい	33		33								33			33			33		
油付着物	173		173								173			173			173		
廃酸	1,080		1,080								1,080			1,080			1,080		
廃アルカリ	461		461								461			461			461		
廃プラスチック類	14,542		14,542	281	271			271			14,261		20	14,241			14,532	20	20
廃プラスチック	14,182		14,182	281	271			271			13,900		20	13,880			14,172	20	20
廃タイヤ	360		360								360			360			360		
紙くず	850		850	19							831			831			831		
木くず	55,631	3	55,628	2,495	1,455	1,452	3				53,132			53,132			53,135	3	3
繊維くず	658		658								658			658			658		
動植物性残さ	3,351		3,351								3,351	54		3,297			3,297		
動物系固形不要物																			
ゴムくず																			
金属くず	29,057	18,865	10,192	43	9			9			10,150			10,150			10,158		
ガラスくず等	23,692		23,692	1,225	514			514			22,467	99		22,037	331		22,882		
鋳さい	9,873		9,873	4,450	3,250			3,250			5,423	4,500		923			4,173		
がれき類	249,494		249,494	17,152	13,496	10,389		3,107			232,342	1,193	7	231,099	43		234,257	7	7
コンクリート片	151,403		151,403	16,111	12,456	9,912		2,544			135,292	1,168	7	134,117			136,668	7	7
廃アスファルト	78,331		78,331	891	891	328		564			77,440	25		77,415			77,979		
その他の建設廃材	19,760		19,760	150	150	150					19,610			19,567	43		19,610		
動物のふん尿	692,878	153,004	539,874								539,874	142,385		397,488			397,488		
動物の死体	10		10								10			10			10		
ばいじん	28,586		28,586								28,586			28,586			28,586		
その他廃棄物	17,180		17,180								17,180		3	17,176	2		17,180	3	3
感染性産業廃棄物	2,760		2,760								2,760			2,759	1		2,760		
混合廃棄物	14,420		14,420								14,420		3	14,417	0		14,420	3	3

統計表3-2 種類別処理状況(その2)全業種

物質変換を考慮

(単位: t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			その他 量 (J)	資源化 量 (S)	
		委託直接最終処分量					委託中間処理量						(処理主体の内訳)					
		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)			(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)									
		処理業者	自治体	県内	県外	県外	処理業者	自治体	県内	県外	県外		委託中間処理後量	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)			事業者
(O)					(L)					(M)			(Q)	(Q1)	(Q2)	(Q3)		
合計	862,252	406	406	270	137	861,845	861,845	381,907	479,938	623,728	601,605	22,123	775,428	22,563	33		22,529	947,304
燃え殻	3,849	3	3	3		3,845	3,845	2,288	1,558	8,062	3,877	4,184	3,877	4,187			4,187	3,877
汚泥	67,371					67,371	67,371	52,813	14,559	40,340	38,651	1,688	52,402	1,688			1,688	52,402
有機性汚泥	36,400					36,400	36,400	31,184	5,216	31,669	30,831	838	31,576	838			838	31,576
無機性汚泥	30,971					30,971	30,971	21,628	9,343	8,671	7,821	850	20,827	850			850	20,827
廃油	2,337					2,337	2,337	1,185	1,152	929	928	1	928	1			1	8,376
一般廃油	2,123					2,123	2,123	1,064	1,059	922	922	0	922	0			0	8,370
廃溶剤	8					8	8	3	5	0		0	0	0			0	
固形油																		
油でい	33					33	33	28	5	6	5	1	5	1			1	5
油付着物	173					173	173	90	82	1	1	0	1	0			0	1
廃酸	1,080					1,080	1,080	815	265	155	155	0	155	0			0	155
廃アルカリ	461					461	461	229	232	24	23	0	23	0			0	23
廃プラスチック類	14,512					14,512	14,512	11,273	3,239	7,355	6,433	922	6,433	942	20		922	6,433
廃プラスチック	14,152					14,152	14,152	11,160	2,992	7,124	6,216	908	6,216	928	20		908	6,216
廃タイヤ	360					360	360	113	248	231	217	14	217	14			14	217
紙くず	831					831	831	784	47	741	731	10	731	10			10	731
木くず	53,132					53,132	53,132	46,693	6,439	46,688	45,694	994	47,146	997	3		994	47,146
繊維くず	658					658	658	581	77	137	103	34	103	34			34	103
動植物性残さ	3,297					3,297	3,297	1,143	2,154	3,120	3,118	2	3,172	2			2	3,172
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず	10,158					10,158	10,158	8,149	2,009	10,146	8,743	1,403	8,743	1,403			1,403	20,167
ガラスくず等	22,882	348	348	267	81	22,534	22,534	19,421	3,113	22,513	18,861	3,651	18,960	3,999			3,999	18,960
鋳さい	4,173					4,173	4,173		4,173	4,173	3,159	1,013	7,659	1,013			1,013	7,659
がれき類	234,249	43	43		43	234,206	234,206	220,697	13,510	234,206	230,061	4,145	241,643	4,195	7		4,188	241,643
コンクリート片	136,660					136,660	136,660	126,356	10,304	136,660	136,266	394	147,345	402	7		394	147,345
廃アスファルト	77,979					77,979	77,979	76,866	1,113	77,979	76,482	1,497	76,834	1,497			1,497	76,834
その他の建設廃材	19,610	43	43		43	19,567	19,567	17,475	2,092	19,567	17,314	2,254	17,463	2,297			2,297	17,463
動物のふん尿	397,488					397,488	397,488	495	396,993	204,327	204,327		346,712					499,716
動物の死体	10					10	10		10	1		1		1			1	
ばいじん	28,586					28,586	28,586		28,586	28,604	28,586	17	28,586	17			17	28,586
その他廃棄物	17,177	13	13		13	17,164	17,164	15,342	1,822	12,210	8,153	4,056	8,153	4,072	3		4,069	8,153
感染性産業廃棄物	2,760	1	1		1	2,759	2,759	2,583	175	628	332	296	332	297			297	332
混合廃棄物	14,417	12	12		12	14,406	14,406	12,759	1,647	11,582	7,821	3,761	7,821	3,775	3		3,772	7,821

統計表3-3 種類別処理状況(その1)農業, 林業を除く

物質変換を考慮しない

(単位: t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有償物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量					自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量			
				(D)	自己中間処理後量					(G)	(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の内訳)		
					(E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(G1)	(G2)	(G3)		(G4)	(G5)	県内	県外
						再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)									
合計	586,517	18,872	567,645	146,737	75,174	25,432	3	49,739		420,908	6,005	30	414,494	379	464,645	33	33	
燃え殻	3,849		3,849	120	120			120		3,728			3,725	3	3,849			
汚泥	146,015		146,015	120,947	56,054	13,591		42,463		25,068	160		24,908		67,371			
有機性汚泥	97,429		97,429	89,990	29,705	745		28,960		7,440			7,440		36,400			
無機性汚泥	48,586		48,586	30,957	26,349	12,846		13,503		17,629	160		17,469		30,971			
廃油	2,341	4	2,337	4	4			4		2,333			2,333		2,337			
一般廃油	2,128	4	2,123	4	4			4		2,119			2,119		2,123			
廃溶剤	8		8							8			8		8			
固形油																		
油でい	33		33							33			33		33			
油付着物	173		173							173			173		173			
廃酸	1,080		1,080							1,080			1,080		1,080			
廃アルカリ	461		461							461			461		461			
廃プラスチック類	14,504		14,504	281	271			271		14,223	20		14,203		14,494	20	20	
廃プラスチック	14,144		14,144	281	271			271		13,862	20		13,842		14,134	20	20	
廃タイヤ	360		360							360			360		360			
紙くず	850		850	19						831			831		831			
木くず	55,582	3	55,579	2,495	1,455	1,452	3			53,083			53,083		53,086	3	3	
繊維くず	658		658							658			658		658			
動植物性残さ	3,351		3,351							3,351	54		3,297		3,297			
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず	29,002	18,865	10,137	43	9			9		10,095			10,095		10,103			
ガラスくず等	23,692		23,692	1,225	514			514		22,467	99		22,037	331	22,882			
鋳さい	9,873		9,873	4,450	3,250			3,250		5,423	4,500		923		4,173			
がれき類	249,494		249,494	17,152	13,496	10,389		3,107		232,342	1,193	7	231,099	43	234,257	7	7	
コンクリート片	151,403		151,403	16,111	12,456	9,912		2,544		135,292	1,168	7	134,117		136,668	7	7	
廃アスファルト	78,331		78,331	891	891	328		564		77,440	25		77,415		77,979			
その他の建設廃材	19,760		19,760	150	150	150				19,610			19,567	43	19,610			
動物のふん尿																		
動物の死体																		
ばいじん	28,586		28,586							28,586			28,586		28,586			
その他廃棄物	17,180		17,180							17,180		3	17,175	2	17,180	3	3	
感染性産業廃棄物	2,760		2,760							2,760			2,759	1	2,760			
混合廃棄物	14,420		14,420							14,420		3	14,417	0	14,420	3	3	

統計表3-3 種類別処理状況(その2)農業, 林業を除く

物質変換を考慮しない

(単位: t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			その他 量 (J)	資源化 量 (S)		
		委託直接最終処分量					委託中間処理量						(Q)	(処理主体の内訳)					
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(L)	(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		委託中間処理後量			(Q1)	(Q2)			(Q3)	
		処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量								最終 処分量
(O)									(M)	(M1)	(M2)	(Q)	(Q1)	(Q2)	(Q3)	(J)	(S)		
合計	464,611	406	406	270	137	464,205	464,205	381,271	82,934	419,284	397,165	22,119	428,602	22,558	33		22,525		447,475
燃え殻	3,849	3	3	3		3,845	3,845	2,288	1,558	3,845	2,607	1,239	2,607	1,242			1,242		2,607
汚泥	67,371					67,371	67,371	52,813	14,559	40,639	38,740	1,899	52,491	1,899			1,899		52,491
有機性汚泥	36,400					36,400	36,400	31,184	5,216	31,735	30,875	861	31,620	861			861		31,620
無機性汚泥	30,971					30,971	30,971	21,628	9,343	8,904	7,865	1,039	20,871	1,039			1,039		20,871
廃油	2,337					2,337	2,337	1,185	1,152	1,554	1,539	15	1,539	15			15		1,543
一般廃油	2,123					2,123	2,123	1,064	1,059	1,542	1,533	9	1,533	9			9		1,537
廃溶剤	8					8	8	3	5	0		0		0			0		
固形油																			
油でい	33					33	33	28	5	6	5	1	5	1			1		5
油付着物	173					173	173	90	82	6	1	5	1	5			5		1
廃酸	1,080					1,080	1,080	815	265	157	155	2	155	2			2		155
廃アルカリ	461					461	461	229	232	25	23	1	23	1			1		23
廃プラスチック類	14,474					14,474	14,474	11,235	3,239	7,680	6,423	1,257	6,423	1,277	20		1,257		6,423
廃プラスチック	14,114					14,114	14,114	11,122	2,992	7,448	6,206	1,242	6,206	1,262	20		1,242		6,206
廃タイヤ	360					360	360	113	248	232	217	15	217	15			15		217
紙くず	831					831	831	784	47	754	731	22	731	22			22		731
木くず	53,083					53,083	53,083	46,644	6,439	46,745	45,694	1,051	47,146	1,054	3		1,051		47,148
繊維くず	658					658	658	581	77	137	103	34	103	34			34		103
動植物性残さ	3,297					3,297	3,297	1,143	2,154	3,122	3,120	2	3,174	2			2		3,174
動物系固形不要物																			
ゴムくず																			
金属くず	10,103					10,103	10,103	8,095	2,009	10,103	8,693	1,410	8,693	1,410			1,410		27,558
ガラスくず等	22,882	348	348	267	81	22,534	22,534	19,421	3,113	22,518	18,864	3,654	18,963	4,001			4,001		18,963
鋳さい	4,173					4,173	4,173		4,173	4,173	3,159	1,013	7,659	1,013			1,013		7,659
がれき類	234,249	43	43		43	234,206	234,206	220,697	13,510	234,206	230,061	4,145	241,643	4,195	7		4,188		241,643
コンクリート片	136,660					136,660	136,660	126,356	10,304	136,660	136,266	394	147,345	402	7		394		147,345
廃アスファルト	77,979					77,979	77,979	76,866	1,113	77,979	76,482	1,497	76,834	1,497			1,497		76,834
その他の建設廃材	19,610	43	43		43	19,567	19,567	17,475	2,092	19,567	17,314	2,254	17,463	2,297			2,297		17,463
動物のふん尿																			
動物の死体																			
ばいじん	28,586					28,586	28,586		28,586	28,586	28,586		28,586						28,586
その他廃棄物	17,177	13	13		13	17,164	17,164	15,342	1,822	15,039	8,667	6,372	8,667	6,388	3		6,385		8,667
感染性産業廃棄物	2,760	1	1		1	2,759	2,759	2,585	175	682	332	350	332	351			351		332
混合廃棄物	14,417	12	12		12	14,406	14,406	12,759	1,647	14,358	8,335	6,022	8,335	6,037	3		6,034		8,335

統計表3-4 種類別処理状況(その1)全業種

物質変換を考慮しない

(単位: t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有償物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量 (D)					自己未処理量 (G)					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)		
				自己中間処理後量 (E)					自己未処理の処理内訳 (G)						(処理先地域の内訳)		
				(自己中間処理後の処理内訳)					(自己未処理の処理内訳)								
				再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)		県内	県外	
合計	1,279,547	171,876	1,107,670	146,737	75,174	25,432	3	49,739		960,933	148,391	30	812,134	379	862,285	33	33
燃え殻	3,849		3,849	120	120			120		3,728			3,725	3	3,849		
汚泥	146,015		146,015	120,947	56,054	13,591		42,463		25,068	160		24,908		67,371		
有機性汚泥	97,429		97,429	89,990	29,705	745		28,960		7,440			7,440		36,400		
無機性汚泥	48,586		48,586	30,957	26,349	12,846		13,503		17,629	160		17,469		30,971		
廃油	2,341	4	2,337	4	4			4		2,333			2,333		2,337		
一般廃油	2,128	4	2,123	4	4			4		2,119			2,119		2,123		
廃溶剤	8		8							8			8		8		
固形油																	
油でい	33		33							33			33		33		
油付着物	173		173							173			173		173		
廃酸	1,080		1,080							1,080			1,080		1,080		
廃アルカリ	461		461							461			461		461		
廃プラスチック類	14,542		14,542	281	271			271		14,261		20	14,241		14,532	20	20
廃プラスチック	14,182		14,182	281	271			271		13,900		20	13,880		14,172	20	20
廃タイヤ	360		360							360			360		360		
紙くず	850		850	19						831			831		831		
木くず	55,631	3	55,628	2,495	1,455	1,452	3			53,132			53,132		53,135	3	3
繊維くず	658		658							658			658		658		
動植物性残さ	3,351		3,351							3,351	54		3,297		3,297		
動物系固形不要物																	
ゴムくず																	
金属くず	29,057	18,865	10,192	43	9			9		10,150			10,150		10,158		
ガラスくず等	23,692		23,692	1,225	514			514		22,467	99		22,037	331	22,882		
鋳さい	9,873		9,873	4,450	3,250			3,250		5,423	4,500		923		4,173		
がれき類	249,494		249,494	17,152	13,496	10,389		3,107		232,342	1,193	7	231,099	43	234,257	7	7
コンクリート片	151,403		151,403	16,111	12,456	9,912		2,544		135,292	1,168	7	134,117		136,668	7	7
廃アスファルト	78,331		78,331	891	891	328		564		77,440	25		77,415		77,979		
その他の建設廃材	19,760		19,760	150	150	150				19,610			19,567	43	19,610		
動物のふん尿	692,878	153,004	539,874							539,874	142,385		397,488		397,488		
動物の死体				10						10			10		10		
ばいじん	28,586		28,586							28,586			28,586		28,586		
その他廃棄物	17,180		17,180							17,180		3	17,176	2	17,180	3	3
感染性産業廃棄物	2,760		2,760							2,760			2,759	1	2,760		
混合廃棄物	14,420		14,420							14,420		3	14,417	0	14,420	3	3

統計表3-5 種類別処理状況(その2)全業種

物質変換を考慮しない

(単位: t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			その他 量 (J)	資源化 量 (S)		
		委託直接最終処分量					委託中間処理量						(Q)	(処理主体の内訳)					
		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		委託中間処理後量			(Q1)	(Q2)			(Q3)	
		処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)								最終 処分量 (M2)
(O)																			
合計	862,252	406	406	270	137	861,845	861,845	381,907	479,938	623,728	601,605	22,123	775,428	22,563	33		22,529	947,304	
燃え殻	3,849	3	3	3		3,845	3,845	2,288	1,558	3,845	2,607	1,239	2,607	1,242			1,242	2,607	
汚泥	67,371					67,371	67,371	52,813	14,559	40,639	38,740	1,899	52,491	1,899			1,899	52,491	
有機性汚泥	36,400					36,400	36,400	31,184	5,216	31,735	30,875	861	31,620	861			861	31,620	
無機性汚泥	30,971					30,971	30,971	21,628	9,343	8,904	7,865	1,039	20,871	1,039			1,039	20,871	
廃油	2,337					2,337	2,337	1,185	1,152	1,554	1,539	15	1,539	15			15	1,543	
一般廃油	2,123					2,123	2,123	1,064	1,059	1,542	1,533	9	1,533	9			9	1,537	
廃溶剤	8					8	8	3	5	0		0	0	0			0		
固形油																			
油でい	33					33	33	28	5	6	5	1	5	1			1	5	
油付着物	173					173	173	90	82	6	1	5	1	5			5	1	
廃酸	1,080					1,080	1,080	815	265	157	155	2	155	2			2	155	
廃アルカリ	461					461	461	229	232	25	23	1	23	1			1	23	
廃プラスチック類	14,512					14,512	14,512	11,273	3,239	7,694	6,433	1,261	6,433	1,281	20		1,261	6,433	
廃プラスチック	14,152					14,152	14,152	11,160	2,992	7,462	6,216	1,246	6,216	1,266	20		1,246	6,216	
廃タイヤ	360					360	360	113	248	232	217	15	217	15			15	217	
紙くず	831					831	831	784	47	754	731	22	731	22			22	731	
木くず	53,132					53,132	53,132	46,693	6,439	46,793	45,741	1,051	47,193	1,054	3		1,051	47,196	
繊維くず	658					658	658	581	77	137	103	34	103	34			34	103	
動植物性残さ	3,297					3,297	3,297	1,143	2,154	3,122	3,120	2	3,174	2			2	3,174	
動物系固形不要物																			
ゴムくず																			
金属くず	10,158					10,158	10,158	8,149	2,009	10,158	8,748	1,410	8,748	1,410			1,410	27,613	
ガラスくず等	22,882	348	348	267	81	22,534	22,534	19,421	3,113	22,518	18,864	3,654	18,963	4,002			4,002	18,963	
鋳さい	4,173					4,173	4,173		4,173	4,173	3,159	1,013	7,659	1,013			1,013	7,659	
がれき類	234,249	43	43		43	234,206	234,206	220,697	13,510	234,206	230,061	4,145	241,643	4,195	7		4,188	241,643	
コンクリート片	136,660					136,660	136,660	126,356	10,304	136,660	136,266	394	147,345	402	7		394	147,345	
廃アスファルト	77,979					77,979	77,979	76,866	1,113	77,979	76,482	1,497	76,834	1,497			1,497	76,834	
その他の建設廃材	19,610	43	43		43	19,567	19,567	17,475	2,092	19,567	17,314	2,254	17,463	2,297			2,297	17,463	
動物のふん尿	397,488					397,488	397,488	495	396,993	204,327	204,327		346,712					499,716	
動物の死体	10					10	10		10			1		1			1		
ばいじん	28,586					28,586	28,586		28,586	28,586	28,586		28,586					28,586	
その他廃棄物	17,177	13	13		13	17,164	17,164	15,342	1,822	15,039	8,667	6,372	8,667	6,388	3		6,385	8,667	
感染性産業廃棄物	2,760	1	1		1	2,759	2,759	2,583	175	682	332	350	332	351			351	332	
混合廃棄物	14,417	12	12		12	14,406	14,406	12,759	1,647	14,358	8,335	6,022	8,335	6,037	3		6,034	8,335	

統計表4-1 特別管理産業廃棄物 種類別処理状況(その1)農業、林業を除く

物質変換を考慮しない

(単位: t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有償物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量 (D)					自己未処理量 (G)					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)				
				自己中間処理後量 (E)					自己未処理の処理内訳 (G1-G5)						(処理先地域の内訳)				
				再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)		県内	県外			
合計	586,517	18,872	567,645	146,737	75,174	25,432	3	49,739			420,908	6,005	30	414,494	379		464,645	33	33
燃え殻	3,849		3,849	120	120			120			3,728			3,725	3		3,849		
汚泥	145,960		145,960	120,914	56,021	13,591		42,430			25,046	160		24,886			67,317		
廃油	1,770		1,770	4	4			4			1,766			1,766			1,770		
廃酸	1,005		1,005								1,005			1,005			1,005		
廃アルカリ	363		363								363			363			363		
廃プラスチック類	14,504		14,504	281	271			271			14,223		20	14,203			14,494	20	20
紙くず	850		850	19							831			831			831		
木くず	55,582	3	55,579	2,495	1,455	1,452	3				53,083			53,083			53,086	3	3
繊維くず	658		658								658			658			658		
動植物性残さ	3,351		3,351								3,351	54		3,297			3,297		
動物系固形不要物																			
ゴムくず																			
金属くず	29,002	18,865	10,137	43	9			9			10,095			10,095			10,103		
ガラスくず等	23,633		23,633	1,225	514			514			22,408	99		21,994	315		22,823		
鋳さい	9,873		9,873	4,450	3,250			3,250			5,423	4,500		923			4,173		
がれき類	249,494		249,494	17,152	13,496	10,389		3,107			232,342	1,193	7	231,099	43		234,257	7	7
動物のふん尿																			
動物の死体																			
ばいじん	28,586		28,586								28,586			28,586			28,586		
その他廃棄物(混廃)	14,420		14,420								14,420		3	14,417	0		14,420	3	3
特別管理産業廃棄物	3,618	4	3,614	33	33			33			3,581			3,563	18		3,614		
廃油	530		530								530			530			530		
廃酸	65		65								65			65			65		
廃アルカリ	9		9								9			9			9		
感染性産業廃棄物	2,760		2,760								2,760			2,759	1		2,760		
廃石綿	59		59								59			43	16		59		
特定有害産業廃棄物	196	4	191	33	33			33			158			158			191		
特定有害鋳さい																			
特定有害燃え殻																			
特定有害廃油	41	4	37								37			37			37		
特定有害汚泥	55		55	33	33			33			22			22			55		
特定有害廃酸	11		11								11			11			11		
特定有害廃アルカリ	89		89								89			89			89		
特定有害ばいじん																			
特定有害その他																			

統計表4-1 特別管理産業廃棄物 種類別処理状況(その2) 農業, 林業を除く

物質変換を考慮しない

(単位: t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳						委託中間処理量 (L)	委託中間処理後量 (M)	再生 利用率 (R)	最終処分量			再生 利用率 (R)	最終処分量 (Q)	(処理主体の内訳)			その他 量 (J)	資源化 量 (S)	
		委託直接最終処分量				委託中間処理量					委託中間処理後量		事業者			自治体	処理業者				
		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)					(処理先地域の内訳)							再生 利用率 (M1)			最終 処分量 (M2)
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体				県内	県外									
(O)	(O1)	(O2)	(O3)	(O4)	(O5)	(O6)	(O7)	(O8)	(O9)	(O10)	(O11)	(O12)									
合計	464,611	406	406	270	137	464,205	464,205	381,271	82,934	419,284	397,165	22,119	428,602	22,558	33	22,525		447,475			
燃え殻	3,849	3	3	3		3,845	3,845	2,288	1,558	3,845	2,607	1,239	2,607	1,242		1,242		2,607			
汚泥	67,317					67,317	67,317	52,813	14,504	40,624	38,740	1,884	52,491	1,884		1,884		52,491			
廃油	1,770					1,770	1,770	971	800	1,160	1,145	15	1,145	15		15		1,145			
廃酸	1,005					1,005	1,005	814	190	92	90	2	90	2		2		90			
廃アルカリ	363					363	363	220	143	24	23	1	23	1		1		23			
廃プラスチック類	14,474					14,474	14,474	11,235	3,239	7,680	6,423	1,257	6,423	1,277	20	1,257		6,423			
紙くず	831					831	831	784	47	754	731	22	731	22		22		731			
木くず	53,083					53,083	53,083	46,644	6,439	46,745	45,694	1,051	47,146	1,054	3	1,051		47,148			
繊維くず	658					658	658	581	77	137	103	34	103	34		34		103			
動植物性残さ	3,297					3,297	3,297	1,143	2,154	3,122	3,120	2	3,174	2		2		3,174			
動物系固形不要物																					
ゴムくず																					
金属くず	10,103					10,103	10,103	8,095	2,009	10,103	8,693	1,410	8,693	1,410		1,410		27,558			
ガラスくず等	22,823	315	315	267	48	22,508	22,508	19,421	3,087	22,492	18,864	3,627	18,963	3,942		3,942		18,963			
鋳さい	4,173					4,173	4,173	4,173	4,173	4,173	3,159	1,013	7,659	1,013		1,013		7,659			
がれき類	234,249	43	43		43	234,206	234,206	220,697	13,510	234,206	230,061	4,145	241,643	4,195	7	4,188		241,643			
動物のふん尿																					
動物の死体																					
ばいじん	28,586					28,586	28,586	28,586	28,586	28,586	28,586		28,586					28,586			
その他廃棄物(混廃)	14,417	12	12		12	14,406	14,406	12,759	1,647	14,358	8,335	6,022	8,335	6,037	3	6,034		8,335			
特別管理産業廃棄物	3,614	34	34		34	3,579	3,579	2,807	773	1,183	791	393	791	427		427		795			
廃油	530					530	530	215	315	369	368	0	368	0		0		368			
廃酸	65					65	65	0	65	64	64	0	64	0		0		64			
廃アルカリ	9					9	9	9		0		0	0			0		0			
感染性産業廃棄物	2,760	1	1		1	2,759	2,759	2,583	175	682	332	350	332	351		351		332			
廃石綿	59	33	33		33	26	26		26	26		26	59			59		59			
特定有害産業廃棄物	191					191	191		191	42	26	16	26	16		16		30			
特定有害鋳さい																					
特定有害燃え殻																					
特定有害廃油	37					37	37		37	25	25	0	25	0		0		29			
特定有害汚泥	55					55	55		55	16	0	16	0	16		16		0			
特定有害廃酸	11					11	11		11	0	0	0	0	0		0		0			
特定有害廃アルカリ	89					89	89		89	1	1	0	1	0		0		1			
特定有害ばいじん																					
特定有害その他																					

統計表5-1 種類別処理状況(その1) 東部地域 農業, 林業を除く

物質変換を考慮

(単位: t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有償物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量					自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量				
				自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)				再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最 終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)		(処理先地域 の内訳)				
					再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最 終 処分量 (E4)							その他 量 (E5)	県内	県外		
																		(I)	
合計	193,481	3,762	189,719	40,032	33,283	9,091		24,192			149,687	660		148,717	310		173,219		
燃え殻	13		13								13			13			13		
汚泥	30,576		30,576	27,663	23,298			23,298			2,913	160		2,753			26,052		
有機性汚泥	11,853		11,853	11,831	11,831			11,831			22			22			11,853		
無機性汚泥	18,723		18,723	15,831	11,467			11,467			2,891	160		2,731			14,199		
廃油	394		394								394			394			394		
一般廃油	382		382								382			382			382		
廃溶剤	7		7								7			7			7		
固形油																			
油でい	5		5								5			5			5		
油付着物	0		0								0			0			0		
廃酸	95		95								95			95			95		
廃アルカリ	324		324								324			324			324		
廃プラスチック類	5,852		5,852	1	1			1			5,851			5,851			5,852		
廃プラスチック	5,704		5,704	1	1			1			5,703			5,703			5,704		
廃タイヤ	149		149								149			149			149		
紙くず	384		384								384			384			384		
木くず	19,053		19,053	1,453	1,452	1,452					17,600			17,600			17,600		
繊維くず	121		121								121			121			121		
動植物性残さ	6		6								6			6			6		
動物系固形不要物																			
ゴムくず																			
金属くず	9,550	3,762	5,788	43	9			9			5,745			5,745			5,754		
ガラスくず等	5,083		5,083	5	5			5			5,078			4,811	267		5,083		
鉱さい																			
がれき類	110,766		110,766	10,868	8,518	7,639		879			99,898	500		99,355	43		100,277		
コンクリート片	77,755		77,755	10,608	8,258	7,379		879			67,147	500		66,647			67,526		
廃アスファルト	22,340		22,340	111	111	111					22,229			22,229			22,229		
その他の建設廃材	10,671		10,671	150	150	150					10,522			10,479	43		10,522		
動物のふん尿																			
動物の死体																			
ばいじん																			
その他廃棄物	11,264		11,264								11,264			11,264	0		11,264		
感染性産業廃棄物	718		718								718			718			718		
混合廃棄物	10,546		10,546								10,546			10,546	0		10,546		

統計表5-1 種類別処理状況(その2) 東部地域 農業, 林業を除く

物質変換を考慮

(単位: t/年)

種類	区分	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳								再生 利用量 (R)	最終処分量			その他 量 (J)	資源化 量 (S)			
			委託直接最終処分量				委託中間処理量					(Q)	(処理主体の内訳)						
			(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)				委託中間処理後量				事業者	自治体	処理業者
			処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外			(処理後の処理内訳)	再生 利用量 (M1)					
(O)				(L)				(M)			(Q1)	(Q2)	(Q3)						
合計		173,219	327	327	212	115	172,891	172,891	156,815	16,076	155,141	148,973	6,168	158,724	6,495		6,495		162,487
燃え殻		13					13	13	13	0	2,592	700	1,892	700	1,892		1,892		700
汚泥		26,052					26,052	26,052	20,091	5,960	13,863	13,353	510	13,513	510		510		13,513
有機性汚泥		11,853					11,853	11,853	10,140	1,713	11,210	11,052	158	11,052	158		158		11,052
無機性汚泥		14,199					14,199	14,199	9,951	4,247	2,654	2,302	352	2,462	352		352		2,462
廃油		394					394	394	108	286	269	269	0	269	0		0		269
一般廃油		382					382	382	107	275	264	264	0	264	0		0		264
廃溶剤		7					7	7	1	5	0	0	0	0	0		0		0
固形油		0					0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
油でい		5					5	5	5	5	5	5	0	5	0		0		5
油付着物		0					0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
廃酸		95					95	95	28	67	62	62	0	62	0		0		62
廃アルカリ		324					324	324	160	164	10	10	0	10	0		0		10
廃プラスチック類		5,852					5,852	5,852	5,109	744	3,559	3,029	530	3,029	530		530		3,029
廃プラスチック		5,704					5,704	5,704	5,098	606	3,444	2,917	527	2,917	527		527		2,917
廃タイヤ		149					149	149	11	138	115	112	3	112	3		3		112
紙くず		384					384	384	373	11	363	356	7	356	7		7		356
木くず		17,600					17,600	17,600	16,308	1,291	15,135	14,681	454	16,133	454		454		16,133
繊維くず		121					121	121	45	76	92	90	2	90	2		2		90
動植物性残さ		6					6	6	6	0	6	6	0	6	0		0		6
動物系固形不要物																			
ゴムくず																			
金属くず		5,754					5,754	5,754	4,693	1,060	5,748	5,130	619	5,130	619		619		8,892
ガラスくず等		5,083	281	281	212	69	4,802	4,802	3,133	1,669	4,795	4,084	711	4,084	992		992		4,084
鉱さい																			
がれき類		100,277	43	43	43		100,234	100,234	96,187	4,047	100,234	100,061	173	108,201	216		216		108,201
コンクリート片		67,526					67,526	67,526	64,797	2,729	67,526	67,524	2	75,403	2		2		75,403
廃アスファルト		22,229					22,229	22,229	21,450	779	22,229	22,229	0	22,340	0		0		22,340
その他の建設廃材		10,522	43	43	43		10,479	10,479	9,940	539	10,479	10,308	171	10,458	214		214		10,458
動物のふん尿																			
動物の死体																			
ばいじん											1	0	1	0	1		1		0
その他廃棄物		11,264	4	4	4		11,261	11,261	10,560	700	8,411	7,142	1,269	7,142	1,273		1,273		7,142
感染性産業廃棄物		718					718	718	675	43	159	73	86	73	86		86		73
混合廃棄物		10,546	4	4	4		10,543	10,543	9,885	657	8,252	7,069	1,183	7,069	1,187		1,187		7,069

統計表5-2 種類別処理状況(その1)中部地域 農業, 林業を除く

物質変換を考慮

(単位: t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有償物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量 (D)					自己未処理量 (G)					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)				
				自己中間処理後量 (E)					(自己未処理の処理内訳) (G1-G5)						(処理先地域の内訳) (I1-I2)				
				(自己中間処理後の処理内訳) (E1-E5)					再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最 終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)		県内	県外			
				再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最 終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)											
合計	112,120	8,765	103,355	14,482	12,619	4,500		8,119			88,873	845	30	87,982	15		96,147	30	30
燃え殻	1,091		1,091								1,091			1,091			1,091		
汚泥	18,816		18,816	12,417	11,366	4,500		6,866			6,400			6,400			13,266		
有機性汚泥	13,834		13,834	7,904	6,864			6,864			5,930			5,930			12,794		
無機性汚泥	4,982		4,982	4,513	4,502	4,500		2			469			469			472		
廃油	589	4	584								584			584			584		
一般廃油	519	4	514								514			514			514		
廃溶剤																			
固形油																			
油でい	28		28								28			28			28		
油付着物	42		42								42			42			42		
廃酸	683		683								683			683			683		
廃アルカリ	19		19								19			19			19		
廃プラスチック類	3,530		3,530	22	22			22			3,508	20	3,489				3,530	20	20
廃プラスチック	3,471		3,471	22	22			22			3,449	20	3,430				3,471	20	20
廃タイヤ	59		59								59		59				59		
紙くず	227		227								227			227			227		
木くず	11,308	3	11,305	72							11,233			11,233			11,233		
繊維くず	531		531								531			531			531		
動植物性残さ	363		363								363	54		309			309		
動物系固形不要物																			
ゴムくず																			
金属くず	10,418	8,758	1,661								1,661			1,661			1,661		
ガラスくず等	7,901		7,901								7,901	99		7,789	14		7,802		
鋳さい																			
がれき類	54,962		54,962	1,971	1,231			1,231			52,990	693	7	52,290			53,529	7	7
コンクリート片	33,757		33,757	1,971	1,231			1,231			31,786	668	7	31,111			32,349	7	7
廃アスファルト	15,410		15,410								15,410	25		15,385			15,385		
その他の建設廃材	5,794		5,794								5,794			5,794			5,794		
動物のふん尿																			
動物の死体																			
ばいじん																			
その他廃棄物	1,681		1,681								1,681		3	1,677	1		1,681	3	3
感染性産業廃棄物	803		803								803			801	1		803		
混合廃棄物	878		878								878		3	875			878	3	3

統計表5-2 種類別処理状況(その2)中部地域 農業, 林業を除く

物質変換を考慮

(単位: t/年)

種類	区分	委託処理量 (K)	委託処理量の内訳				委託中間処理量						再生 利用量 (R)	最終処分量			その他 量 (J)	資源化 量 (S)
			委託直接最終処分量				委託中間処理量							(処理主体の内訳)				
			(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		委託中間処理後量			事業者	自治体	処理業者		
			処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)						
(O)				(L)								(Q)						
合計		96,116	17	17	11	6	96,100	96,100	86,812	9,288	89,596	86,274	3,322	91,619	3,368	30	3,338	100,384
燃え殻		1,091					1,091	1,091		1,091	1,686	307	1,379	307	1,379		1,379	307
汚泥		13,266					13,266	13,266	11,472	1,794	11,540	11,277	262	15,777	262		262	15,777
有機性汚泥		12,794					12,794	12,794	11,004	1,790	11,275	11,015	260	11,015	260		260	11,015
無機性汚泥		472					472	472	467	4	265	262	3	4,762	3		3	4,762
廃油		584					584	584	503	81	88	87	1	87	1		1	7,535
一般廃油		514					514	514	436	78	87	87		87				7,535
廃溶剤																		
固形油																		
油でい		28					28	28	28		1		1	1			1	
油付着物		42					42	42	39	3								
廃酸		683					683	683	581	102	10	10	0	10	0		0	10
廃アルカリ		19					19	19	7	13	13	13	0	13	0		0	13
廃プラスチック類		3,511					3,511	3,511	2,082	1,428	1,035	978	57	978	77	20	57	978
廃プラスチック		3,452					3,452	3,452	2,082	1,369	981	924	57	924	77	20	57	924
廃タイヤ		59					59	59	59	55	54	0	54	0			0	54
紙くず		227					227	227	215	13	202	201	1	201	1		1	201
木くず		11,233					11,233	11,233	10,550	683	10,759	10,611	148	10,611	148		148	10,611
繊維くず		531					531	531	530	1	40	9	32	9	32		32	9
動植物性残さ		309					309	309	309		280	279	0	333	0		0	333
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず		1,661					1,661	1,661	1,529	132	1,660	1,626	34	1,626	34		34	2,942
ガラスくず等		7,802	15	15	11	5	7,787	7,787	7,688	99	7,783	7,707	76	7,806	91		91	7,806
鉱さい																		
がれき類		53,521					53,521	53,521	49,827	3,694	53,521	52,933	588	53,626	595	7	588	53,626
コンクリート片		32,342					32,342	32,342	29,150	3,192	32,342	32,309	33	32,977	40	7	33	32,977
廃アスファルト		15,385					15,385	15,385	15,241	144	15,385	15,385		15,410				15,410
その他の建設廃材		5,794					5,794	5,794	5,437	358	5,794	5,239	555	5,239	555		555	5,239
動物のふん尿																		
動物の死体																		
ばいじん										2		2		2			2	
その他廃棄物		1,678	1	1		1	1,677	1,677	1,519	158	977	236	741	236	745	3	742	236
感染性産業廃棄物		803	1	1		1	801	801	791	10	102	45	57	45	58		58	45
混合廃棄物		875					875	875	728	148	875	192	684	192	687	3	684	192

統計表5-3 種類別処理状況(その1)西部地域 農業, 林業を除く

物質変換を考慮

(単位: t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有償物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量 (D)					自己未処理量 (G)					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)			
				自己中間処理後量 (E)					自己未処理の処理内訳 (G)						(処理先地域の内訳)			
				(自己中間処理後の処理内訳)					(自己未処理の処理内訳)									
				再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最 終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最 終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)		県内	県外		
合計	280,916	6,345	274,571	92,223	29,272	11,841	3	17,428			182,348	4,500		177,794	54	195,279	3	3
燃え殻	2,745		2,745	120	120			120			2,624			2,621	3	2,745		
汚泥	96,623		96,623	80,868	21,390	9,091		12,299			15,755			15,755		28,054		
有機性汚泥	71,742		71,742	70,255	11,011	7,451		10,266			1,487			1,487		11,753		
無機性汚泥	24,881		24,881	10,613	10,379	8,346		2,033			14,268			14,268		16,301		
廃油	1,359		1,359	4	4			4			1,354			1,354		1,359		
一般廃油	1,227		1,227	4	4			4			1,222			1,222		1,227		
廃溶剤	1		1								1			1		1		
固形油																		
油でい																		
油付着物	131		131								131			131		131		
廃酸	302		302								302			302		302		
廃アルカリ	118		118								118			118		118		
廃プラスチック類	5,121		5,121	258	248			248			4,863			4,863		5,111		
廃プラスチック	4,969		4,969	258	248			248			4,710			4,710		4,959		
廃タイヤ	153		153								153			153		153		
紙くず	239		239	19							220			220		220		
木くず	25,221		25,221	971	3			3			24,250			24,250		24,253	3	3
繊維くず	6		6								6			6		6		
動植物性残さ	2,981		2,981								2,981			2,981		2,981		
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず	9,034	6,345	2,689								2,689			2,689		2,689		
ガラスくず等	10,708		10,708	1,220	509			509			9,488			9,438	51	9,997		
鋸さい	9,873		9,873	4,450	3,250			3,250			5,423	4,500		923		4,173		
がれき類	83,766		83,766	4,312	3,747	2,750		997			79,454			79,454		80,451		
コンクリート片	39,890		39,890	3,532	2,967	2,533		434			36,359			36,359		36,792		
廃アスファルト	40,582		40,582	781	781	217		564			39,801			39,801		40,365		
その他の建設廃材	3,294		3,294								3,294			3,294		3,294		
動物のふん尿																		
動物の死体																		
ばいじん	28,586		28,586								28,586			28,586		28,586		
その他廃棄物	4,235		4,235								4,235			4,235		4,235		
感染性産業廃棄物	1,240		1,240								1,240			1,240		1,240		
混合廃棄物	2,995		2,995								2,995			2,995		2,995		

統計表5-3 種類別処理状況(その2)西部地域 農業, 林業を除く

物質変換を考慮

(単位: t/年)

種類	区分	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳								再生 利用量 (R)	最終処分量			その他 量 (J)	資源化 量 (S)				
			委託直接最終処分量				委託中間処理量					(Q)	(処理主体の内訳)							
			(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)				(処理後の処理内訳)							
			処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外			再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)			事業者	自治体	処理業者	
(O)				(L)				(M)			(Q1)	(Q2)	(Q3)							
合計		195,276	63	63	47	16	195,214	195,214	137,645	57,569	174,547	161,918	12,629	178,259	12,695	3		12,692		184,603
燃え殻		2,745	3	3	3		2,742	2,742	2,275	467	3,781	2,871	911	2,871	914			914		2,871
汚泥		28,054					28,054	28,054	21,250	6,804	14,937	14,021	916	23,112	916			916		23,112
有機性汚泥		11,753					11,753	11,753	10,040	1,713	9,184	8,764	420	9,509	420			420		9,509
無機性汚泥		16,301					16,301	16,301	11,209	5,092	5,752	5,257	496	13,603	496			496		13,603
廃油		1,359					1,359	1,359	574	785	572	571	0	571	0			0		571
一般廃油		1,227					1,227	1,227	522	705	571	570	0	570	0			0		570
廃溶剤		1					1	1	1											
固形油																				
油でい																				
油付着物		131					131	131	51	80	1	1		1						1
廃酸		302					302	302	206	96	83	83	0	83	0			0		83
廃アルカリ		118					118	118	63	55	1	1	0	1	0			0		1
廃プラスチック類		5,111					5,111	5,111	4,044	1,068	2,749	2,416	333	2,416	333			333		2,416
廃プラスチック		4,959					4,959	4,959	3,942	1,017	2,688	2,365	323	2,365	323			323		2,365
廃タイヤ		153					153	153	102	51	61	51	10	51	10			10		51
紙くず		220					220	220	196	24	176	174	2	174	2			2		174
木くず		24,250					24,250	24,250	19,786	4,464	20,746	20,355	391	20,355	394	3		391		20,355
繊維くず		6					6	6	6	0	4	4	0	4	0			0		4
動植物性残さ		2,981					2,981	2,981	827	2,154	2,834	2,832	2	2,832	2			2		2,832
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず		2,689					2,689	2,689	1,872	817	2,683	1,933	750	1,933	750			750		8,278
ガラスくず等		9,997	52	52	44	8	9,946	9,946	8,601	1,345	9,935	7,070	2,865	7,070	2,916			2,916		7,070
鋳さい		4,173					4,173	4,173		4,173	4,173	3,159	1,013	7,659	1,013			1,013		7,659
がれき類		80,451					80,451	80,451	74,683	5,768	80,451	77,066	3,385	79,816	3,385			3,385		79,816
コンクリート片		36,792					36,792	36,792	32,409	4,384	36,792	36,432	360	38,965	360			360		38,965
廃アスファルト		40,365					40,365	40,365	40,175	189	40,365	38,868	1,497	39,085	1,497			1,497		39,085
その他の建設廃材		3,294					3,294	3,294	2,099	1,195	3,294	1,766	1,528	1,766	1,528			1,528		1,766
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん		28,586					28,586	28,586		28,586	28,601	28,586	15	28,586	15			15		28,586
その他廃棄物		4,235	8	8		8	4,227	4,227	3,263	964	2,821	775	2,047	775	2,054			2,054		775
感染性産業廃棄物		1,240					1,240	1,240	1,117	122	367	214	153	214	153			153		214
混合廃棄物		2,995	8	8		8	2,987	2,987	2,146	842	2,455	561	1,894	561	1,902			1,902		561

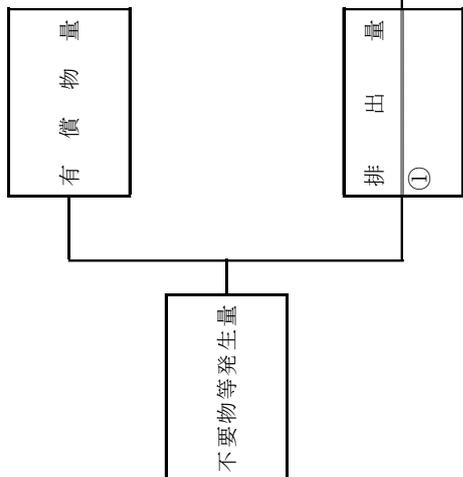
様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

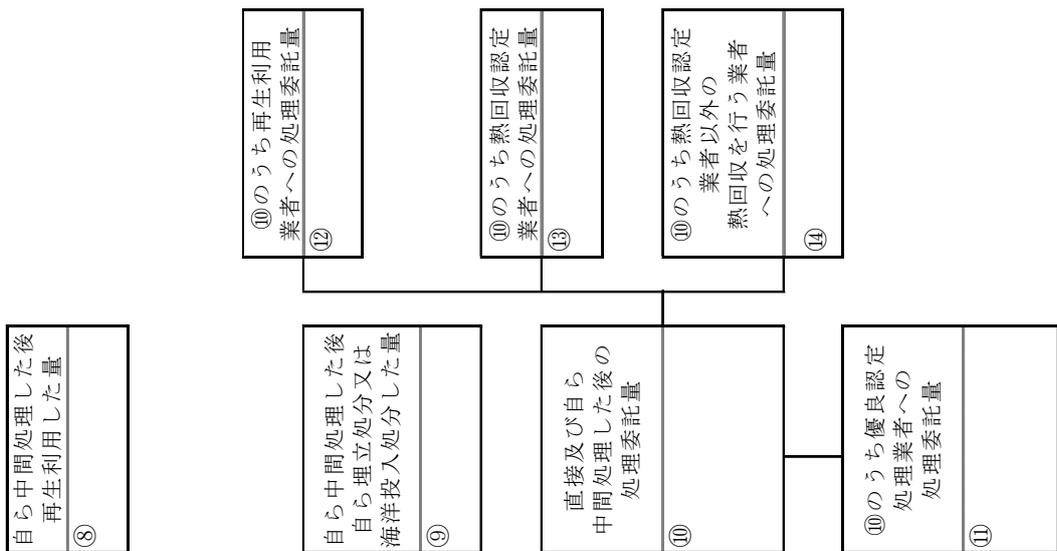
産業廃棄物処理計画実施状況報告書 <div style="text-align: right; margin-right: 50px;">年 月 日</div> 鳥取県知事 様 <div style="text-align: center;"> 提出者 住 所 氏 名 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 </div> 産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、 年度の産業廃棄物 処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称			
事業場の所在地			
事業の種類			
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間			
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	t	全 処 理 委 託 量	t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類)



項目	実績値
①排出量	
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	



備考

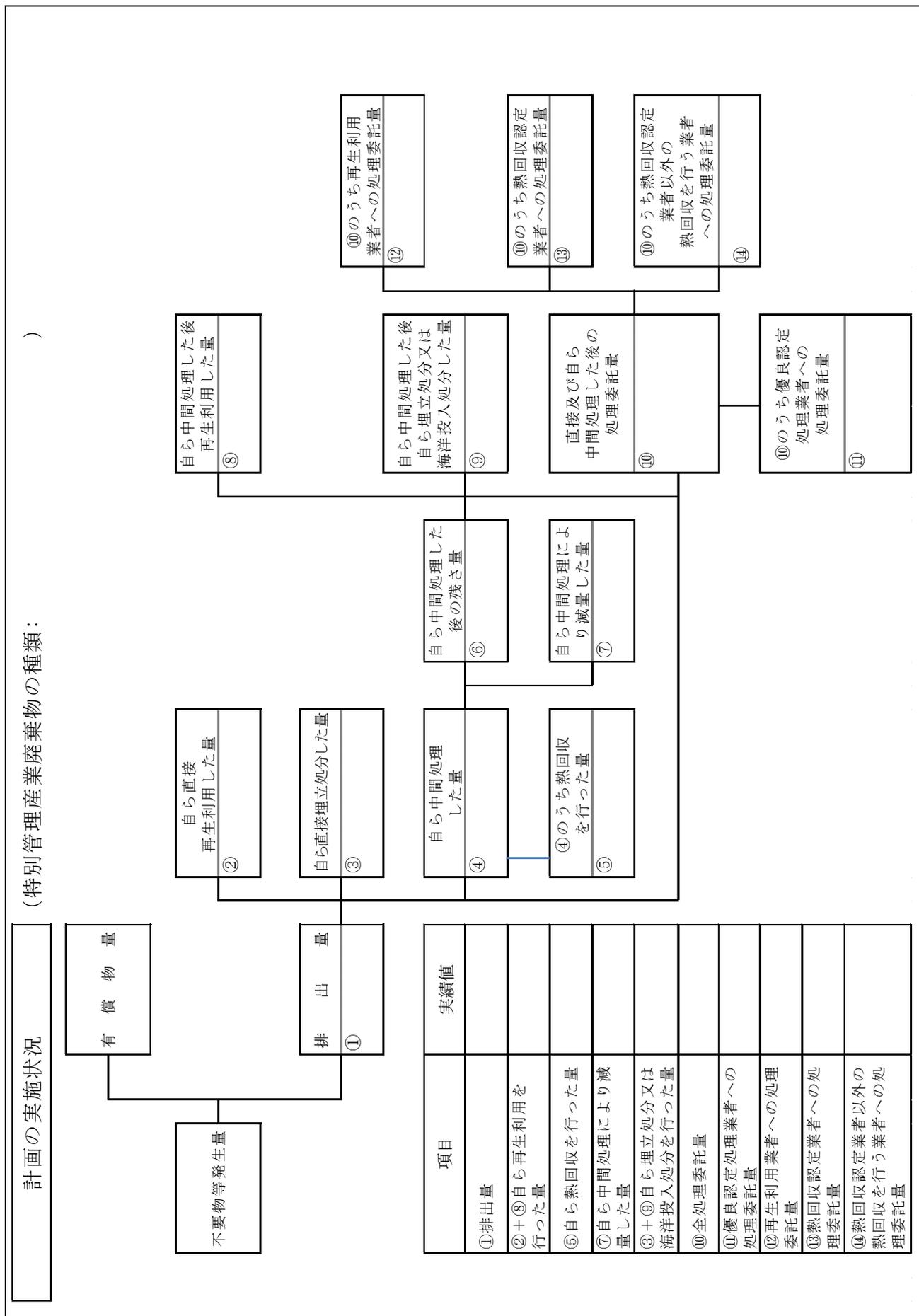
- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の十四(第八条の十七の三関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
			年 月 日
鳥取県知事 様			
提出者 住 所 氏 名 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、 年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称			
事業場の所在地			
事業の種類			
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間			
特別管理産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	t	全処理委託量	t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)



(第3面)

備考

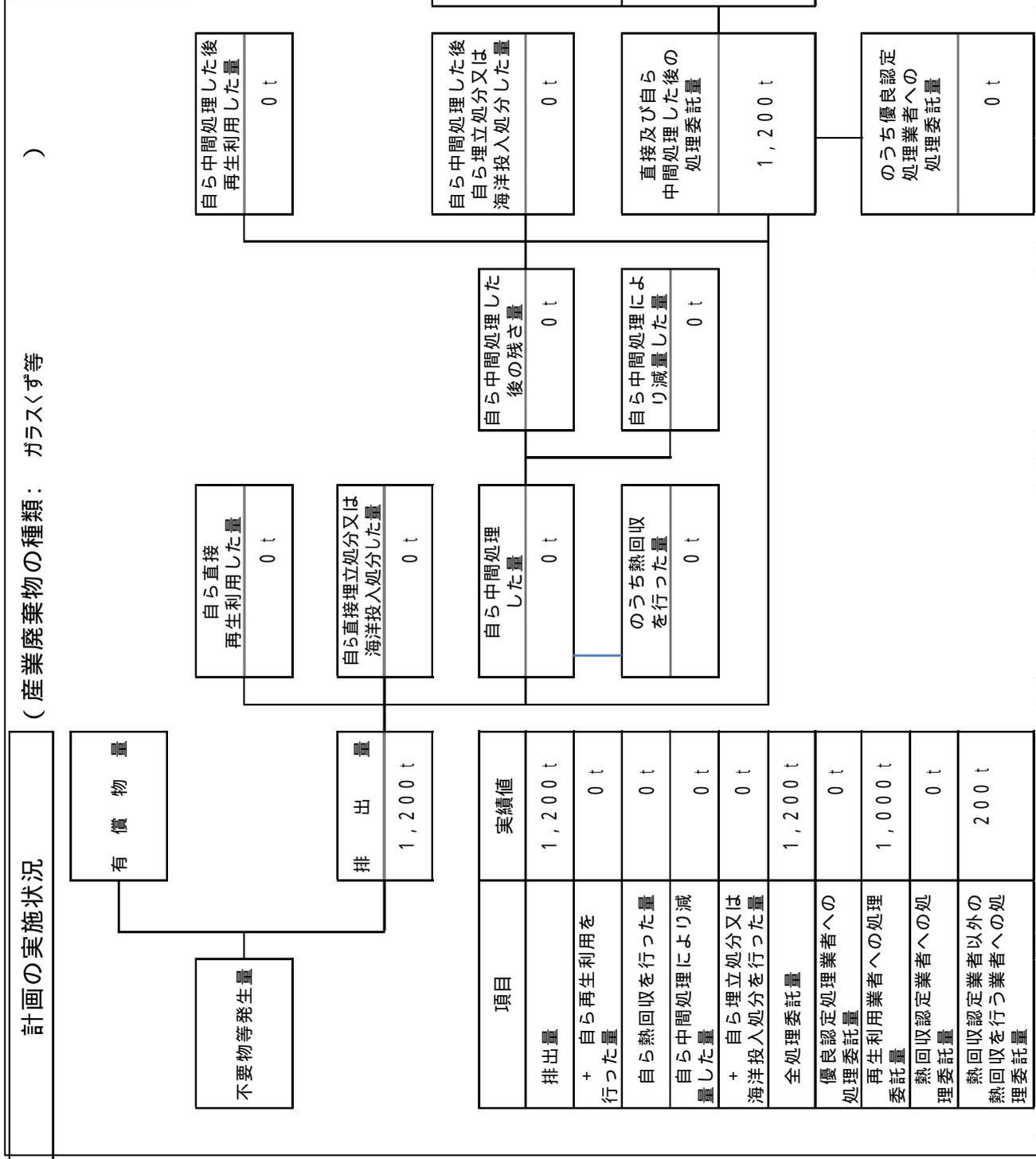
- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(第1面)

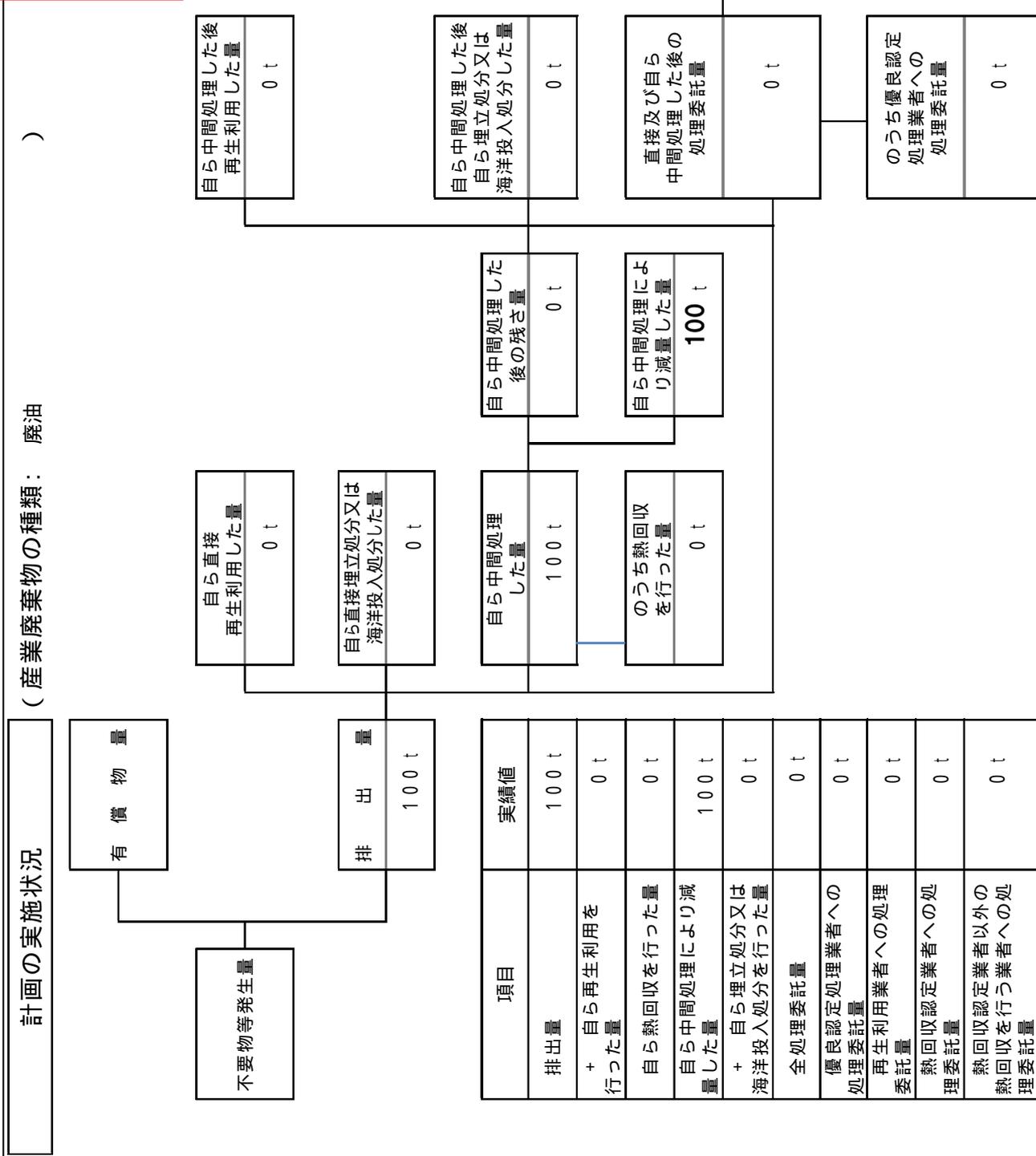
産業廃棄物処理計画実施状況報告書		平成23年6月15日	
鳥取県知事 様			
提出者			
住所 米子市 町1-1			
氏名 (株)減量とっとり 米子工場 工場長			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 0859-			
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、平成22年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。</p>			
事業場の名称	(株)減量とっとり 米子工場		
事業場の所在地	米子市 町1-1		
事業の種類	業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	平成22年4月1日～平成23年3月31日		
<p style="text-align: right;">日本標準産業分類の区分を記入してください。</p> <p style="text-align: right;">当初年度等のため、目標値を設定していない場合は、「-」としてください。</p>			
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,400 t	全処理委託量	1,300 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	1,000 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	100 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

○産業廃棄物の種類ごとにこの表を作成すること。
 ○優良認定処理業者と再生利用業者又は認定熱回収業者が重複する場合は、それぞれ該当箇所に計上し、重複内容を注書きすること。



○産業廃棄物の種類ごとにこの表を作成すること。
 ○優良認定処理業者と再生利用業者又は認定熱回収業者が重複する場合は、それぞれ該当箇所に計上し、重複内容を注書きすること。



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、～の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) 欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) 欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) 欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) 欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) 欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) 欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) 欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) 欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) 欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) 欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) 欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) 欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) 欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) 欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 欄は記入しないこと。

様式第3号(第8条の27関係)

産業廃棄物管理票交付等状況報告書(平成21年度)

鳥取県東部総合事務所長 様

報告者 氏名 (法人にあっては名称及び代表者名) 電話番号

報告者の住所

報告者の電話番号

資料2の産業廃棄物一覧表の種類を記入してください。

石綿を含む場合は「含」を記入してください。

事業場ごとに報告書を作成してください。

資料1の分類一覧の中分類を記入してください。

処理を委託する前に、自社で中間処理した場合は、処理前の発生量を記入してください。

委託先の最終処分方法に該当する番号を記入してください。(例:脱水の場合) B:脱水、C:天日乾燥、D:機械乾燥、E:焼却処分、F:中和、G:溶融、H:分級、I:圧縮、J:溶融、K:切断、L:焼成(40℃以上)、M:堆肥化(発酵)、N:菌回収、O:カウチン処理、P:乾熱処理、Q:煮沸(15分以上)、R:オートクレーブ、S:薬物消毒、T:金属(鉄)回収、U:非鉄金属回収、V:濃縮、W:油化、X:遠紅固化・灌漑固化、Y:解体、Z:その他

委託先の最終処分方法に該当する番号を記入してください。(例:脱水の場合) 1:埋立処分した、2:海まで投入した、3:再資源化(売却含む)した場合は、以下の番号を記入してください。(10:鉄屑原料、20:非鉄金属等原料、30:燃料、31:木炭、炭化物、41:飼料、42:肥料、43:土壌改良材、50:土木・建設資材、51:再生木材、合版、52:再生骨材、再生路盤材、60:パルプ・紙原料、70:ガラス原料、81:再生タイヤ、80:セメント原料、91:再生油、再生溶剤、92:中和剤、93:高炉還元、98:その他)

産業廃棄物の種類	事業場の名称	事業場の住所	管理票の交付枚数	排出量(t)	運搬受託者の氏名又は名称	運搬先の住所	運搬受託者の氏名又は名称	運搬受託者の許可番号	運搬先の住所	処分場の住所	処分場の名称	委託先の最終処分方法※	委託先の中間処理方法※	委託先の最終処分方法※
1 有機性汚泥	鳥取県東部総合事務所	鳥取市東町1丁目220	100	100	〇〇市〇〇	〇〇市〇〇	〇〇市〇〇	〇〇市〇〇	〇〇市〇〇	〇〇市〇〇	〇〇処理施設	A	A	90
2 感染性廃棄物	〇〇株式会社	〇〇市〇〇	0.7	12	〇〇市〇〇	〇〇市〇〇	〇〇市〇〇	〇〇市〇〇	〇〇市〇〇	〇〇市〇〇	〇〇株式会社	A	A	1
3 レンガ破片など	〇〇株式会社	〇〇市〇〇	2	1	〇〇市〇〇	〇〇市〇〇	〇〇市〇〇	〇〇市〇〇	〇〇市〇〇	〇〇市〇〇	〇〇株式会社	A	A	1
4 焼却灰	〇〇株式会社	〇〇市〇〇	5	2	〇〇市〇〇	〇〇市〇〇	〇〇市〇〇	〇〇市〇〇	〇〇市〇〇	〇〇市〇〇	〇〇処理場	A	JH	52

備考

1 この報告書は、前年4月1日から3月31日までに交付した産業廃棄物管理票について6月30日までに提出すること。

2 同一の都道府県(政令市)の区域内に、設置が短期間であり、又は所在地が一定しない事業場が2以上ある場合には、これらの事業場を1事業場としてまとめた上で提出すること。

3 産業廃棄物の種類及び委託先ごとに記入すること。

4 業種には日本標準産業分類の中分類を記入すること。

5 運搬又は処分を委託した産業廃棄物に石綿含有産業廃棄物が含まれる場合は、「産業廃棄物の種類」の欄にその旨を記載するとともに、各事項について石綿含有産業廃棄物に係るものを明らかにすること。

6 処分場の住所は、運搬先と同じである場合には記入する必要はないこと。

7 区間を区切って運搬を委託した場合は、運搬先又は委託者が再委託を行った場合には、区間ごとの運搬受託者又は再委託者についてすべて記入すること。(日本工業規格 A列4号)

8 ※の項目及び以下の「事業の概要※」については、法により義務づけられたものではありませんが、県の産業廃棄物実態調査に利用するために必要な事項になりますので、記入していただきますようお願いいたします。

事業の概要※

共通事項	従業員数	120人
建設業の場合	元請完成工事高	2000万円
製造業の場合	製造品出荷額	2000万円
医療機関の場合	病床数	100床

※鳥取県内工事の出荷額を記入してください。

記入例1

- 活性汚泥が1000t発生し、自社で脱水した量が100tであった。
- 汚泥は、〇〇運搬会社に運搬を委託し、マニフェストを20枚交付した。
- その後、〇〇処理施設で焼却して、せむら原料としてリサイクルされた。

記入例2

- 感染性廃棄物が年間700kg発生した。
- それを〇〇有限会社に運搬を委託し、マニフェストを12枚交付した。
- その後、〇〇株式会社で焼却して、△△処分場に埋立処分された。

記入例3

- 石綿を含む断熱材が2t発生した。
- それを1区間目の運搬を〇〇有限会社、2区間目の運搬を△△運搬会社に委託し、マニフェストを1枚交付した。
- その後、〇〇株式会社に埋立処分された。

記入例4

- 腐プラスチックが年間30t発生した。
- 自社で焼却処分し、5tの焼却灰が発生したので、〇〇運搬会社に委託し、マニフェストを2枚交付した。
- 焼却灰は、〇〇処理場で溶融、分級され、路盤材としてリサイクルされた。